

平成16年度老人保健健康増進等事業

「外部評価結果公開に係る標準的な評価結果内容及び
評価判定に係る円滑な評価実施手法等に関する普及事業」

平成17年3月

社会福祉法人 浴 風 会

認知症介護研究・研修東京センター

(旧 高齢者痴呆介護研究・研修東京センター)

目次

I. 事業概要	1
1. 本事業の目的	1
2. 事業内容	1
II. 事業の実施	2
1. サービス評価結果のデータ分析、活用	2
1) ねらい	2
2) 対象と分析方法	3
3) サービス評価結果分析結果	6
4) 考察	10
2. 標準的なサービス評価結果内容	12
1) ねらい	12
2) 対象と分析方法	12
3) 外部評価項目の「達成」「要改善」「特記事項」の記述例	13
データ集	
データマップ	49

I. 事業概要

1. 本事業の目的

認知症高齢者グループホームは、認知症高齢者の増加に伴い、著しく増加しており、ゴールドプラン21における当初の見込み数である3,200か所を大幅に上回り、10月末現在で5,815か所となっている。

当センターにおいては、これまで外部評価を実施してきた中で、蓄えてきた評価実施のノウハウを、評価調査員養成テキストやビデオなどの普及啓発媒体、シンポジウムや会議等を通じ、各道府県に伝達してきた。

本事業において、これまで蓄えてきたノウハウを活かし、平成17年度以降の各道府県の完全実施に向けて、公開を行う際の評価結果内容を分析・検証し、速やかにこれを公開することにより、各道府県に対し、標準的な評価結果内容の普及を図ることとする。

2. 事業内容

本事業においては、平成16年12月末に公開が終了した1995か所のグループホームを対象に、自己評価、外部評価それぞれの項目毎の達成率についてデータとして集約、分析・検証を行う。さらに、道府県別に同様の分析を実施し、今後、道府県が評価を推進するにあたっての基礎資料とする。

また、評価結果の公開に向けて、評価結果内容を集中的に集約・分析を行い、分析された評価結果内容を検証部会において、検証し、標準的な評価結果内容を作成する。

これらを評価判定に係る評価実施手法として取りまとめ、各道府県担当者、外部評価機関（予定）者、事業者を対象に伝達会議を実施する。

II. 事業の実施

1. サービス評価結果のデータ分析、活用

1) ねらい

本事業では、認知症高齢者グループホームの良質なサービス水準の確保・向上のための基礎的な現状把握として、自己評価と外部評価結果とを比較し総合的に分析する。これらを通して、グループホームが現在達成できているケアサービス状況を明らかにすると同時に、グループホームが有している課題を検討した。

また、全国的の評価結果データのみでなく、道府県別の評価結果データを分析、検討することを通して、評価結果の標準化をはかることも目的としている。これらのデータの活かし方として、道府県ごとの「グループホームのサービスの質の向上に向けた重点課題の明確化」が可能となると考えられる。

なお、サービス評価の目的は、「各グループホームが評価作業の一連の過程に主体的に取り組み、評価結果を基に具体的な改善や情報公開等に生かすことをとおして、良質なサービス水準を確保し、向上を図っていくことである」を掲げている。具体的には、外部評価を実施する前に行った自己評価結果と外部評価結果を対比してそれらを考察した上で、グループホームの総括的な評価を行うことを通じてサービスの質の改善を図ることを目的としている。

さらに外部評価の目的としては、外部者が定期的に訪問し、一定の評価項目に基づいてケアサービスの提供に関する実態を調査点検し、事業者と改善点を明らかにすることを通じて、以下6点が挙げられている¹。

- ①改善点を明確にし、改善に向けた関係者の自発的努力と体制作りを誘導する
- ②ケアサービス水準を一定以上に維持する
- ③利用者および家族の安心と満足の確保をはかる（よりより選択と利用にむけて）
- ④継続的に評価を行うことを通じて、向上を促す教育的効果をねらう
- ⑤見出された改善点を、行政等による指導や研修内容に活かす
- ⑥グループホームに対する社会的信頼を高める

また、これらは都道府県の行政監査や市町村の立ち入り調査とは目的を異とする。行政監査等は介護保険の指定基準水準（運営基準）が遵守されているかどうかを確認する目的で行われる一方で、サービス評価は運営基準で定める範囲よりも広範かつ高い水準に引き上げていくことを目的としている。

¹認知症介護研究・研修東京センター、『認知症高齢者グループホーム評価調査員テキスト～外部評価にむけて～』2004, p17

2) 対象と分析方法

(1) 対象

平成 14 年度の外部評価実施開始から各地域で評価体制が整備されるまでの移行期間である 16 年度末までの間に 44 道府県²（神奈川県のみ平成 14 年度のみ）より評価機関として依頼を受けている認知症介護研究・研修東京センター（以下、東京センター）において実施されたサービス評価結果のデータを用いる。平成 16 年 12 月時点で外部評価結果が公開されている 1995 グループホームを対象とする³。

本研究の主題であるサービス評価は、厚生労働省が示した標準の評価方法および項目に準拠しており、その概要は以下のとおりである。

ホームのサービス評価は自己評価を主軸にそれを補完する役割として外部評価が実施されている。平成 12 年度に実施されたモデル事業時に、ホームのサービスの質として何が大切か、ホーム事業者を中心に議論が積み上げられ、法的根拠を踏まえてホームの利用者の権利・倫理綱領が策定された。それらをもとに、3 カ年のモデル事業を通して、サービスの質に関する国内外の考え方も加味しながら、13 の要素「①安らかさ、心地よさ②身体の安全③プライバシーの保護④触れあい・交流⑤力の発揮・自立⑥生き方の継続⑦自己決定。自由⑧達成感のある暮らし⑨尊厳・誇り⑩家族との交流・協働⑪家族の力の伸長⑫地域との交流・協働⑬地域認知症ケア向上への貢献性」を抽出し、これら 13 の質の要素を実際のサービス場面にそって確認していくために、評価項目が設定された^{4,5}。具体的には、表 1 の様に質を点検するための評価の大領域として「運営理念」「生活空間づくり」「ケアサービス」「運営体制」の 4 大領域と 23 詳細領域が設定されている。自己評価は 134 項目、外部評価はそのうち第三者により点検可能な項目として 71 項目が設定されており、ケアサービスのプロセスに関する内容を網羅した形となっている。

評価方法は、自己評価はホームの職員全員の意見を取り入れながら管理者が中心となって「できている」「要改善」「評価困難」という 3 つのカテゴリのいずれに該当するかを判断し、「判断した理由や根拠」を記入する様式である。外部評価は、研修を受けた訪問調査員 2 名がホームを 1 日単位（日中、昼食の時間帯をはさんで約 5 時間半）訪

² 神奈川県については、平成 14 年度のみ依頼であったため、平成 15 年度以降は 43 道府県からの依頼となっている。

³ ただし、本分析においては 1 ホームのみデータの種類が異なったため、1994 ホームを対象としている。

⁴ 横浜市福祉局長寿社会課：痴呆性高齢者グループホームサービスの質保証モデル検討事業報告書(2000)

⁵ 高齢者痴呆介護研究・研修東京センター：痴呆対応型共同生活介護サービスの質の評価の取り組み並びに調査員の研修方法の指針の策定に関する報告書(2001)

⁶ 全国痴呆性高齢者グループホーム協会：痴呆対応型共同生活介護のサービスの質の評価・普及および啓発事業等に関する研究事業に関する研究報告書(2002)

問し、上記のカテゴリーのいずれに該当するかを判断し、それぞれの「判断した理由や根拠」を記入した調査結果を評価機関で審査し、評価結果とする様式である。

表1 サービス評価項目体系

領域	詳細領域	自己評価 項目計数	外部評価 項目計数
I. 運営理念	1. 運営理念の明確化	4	3
	2. 運営理念の啓発	1	1
II. 生活空間づくり	1. 家庭的な生活空間づくり	5	4
	2. 心身の状態にあわせた生活空間づくり	8	6
III. ケアサービス	1. ケアマネジメント	8	7
	2. ホーム内でのくらしの支援	63	29
	(1) 介護の基本の実行	13	8
	(2) 日常生活行為の支援	22	10
	1) 食事	(8)	(4)
	2) 排泄	(4)	(2)
	3) 入浴	(3)	(1)
	4) 整容	(5)	(2)
	5) 睡眠・休息	(2)	(1)
	(3) 生活支援	4	1
	(4) ホーム内生活拡充支援	2	1
	(5) 医療機関の受診等の支援	7	3
	(6) 心身の機能回復に向けた支援	2	1
	(7) 入居者同士の交流支援	2	1
	(8) 健康管理	11	4
	3. 入居者の地域での生活の支援	4	1
4. 入居者と家族との交流支援	2	1	
IV. 運営体制	1. 事業の統合性	5	2
	2. 職員の確保・育成	6	3
	3. 入居時および退居時の対応方針	4	2
	4. 衛生・安全管理	6	3
	5. 情報の開示・提供	2	1
	6. 相談・苦情への対応	3	1
	7. ホームと家族との交流	5	3
	8. ホームと地域との交流	8	4
	合計	134	71

(2) 分析方法

自己評価と外部評価の項目の達成率をホーム別および項目別に集計し分析を行う。なお、達成率とは上記3つのカテゴリーの中で「できている」とつけられた項目数の合計を全体項目数で割った割合を指す。

なお、自己評価に関しては複数ユニットある場合にはユニットごとに評価を実施し、それぞれの評価結果が示されているが、外部評価に関しては全ユニットを統合し1つの事業所の結果として示されている。そのため、自己評価結果と外部評価結果の比較分析を行うにあたり、ホーム別の集計に関しては自己評価結果の達成率では平均値をとることとした。

サービス評価結果を研究目的にデータとして使用することについては東京センターとホームにて契約を交わしており、ホームが特定されることのないよう、全て匿名化して分析を行った。なお、それぞれの分析のねらいは表2、表3に示した概要の通りである。

表2 ホーム別達成率分析のねらい

	ホーム別達成率	分析のねらい
自己評価（134項目）	1995 ホーム	1995 ホームの自己評価結果の達成率がどのように分布しているのかを明らかにする。また、現在のグループホームの標準的な達成率を確認する。
自己評価と外部評価（共通71項目）	1995 ホーム	1995 ホームの自己評価と外部評価の共通する項目の評価結果の達成率がどのように分布しているかを明らかにする。自己評価とが外部評価結果の差の検討を行う。

表3 項目別達成率

	項目別達成率	分析のねらい
自己評価（134項目）	2878 ユニット	自己評価結果に関して、グループホームが現在達成できているケアサービス状況を明らかにすると同時に、グループホームが有している課題を検討する。
自己評価と外部評価（共通71項目）	自己 2878 ユニット 外部 1995 ホーム	自己評価と外部評価のうち、共通の項目に関して、グループホームが現在達成できているケアサービス状況を明らかにすると同時に、グループホームが有している課題を検討する。また、自己評価と外部評価結果を比較することを通して、それぞれの視点の違いを明らかにする。

3) サービス評価結果分析結果

(1) 全国の状況

① ホーム別達成率の比較

1) 自己評価全数、自己評価共通、外部評価のホーム別達成率比較 (N=1994)

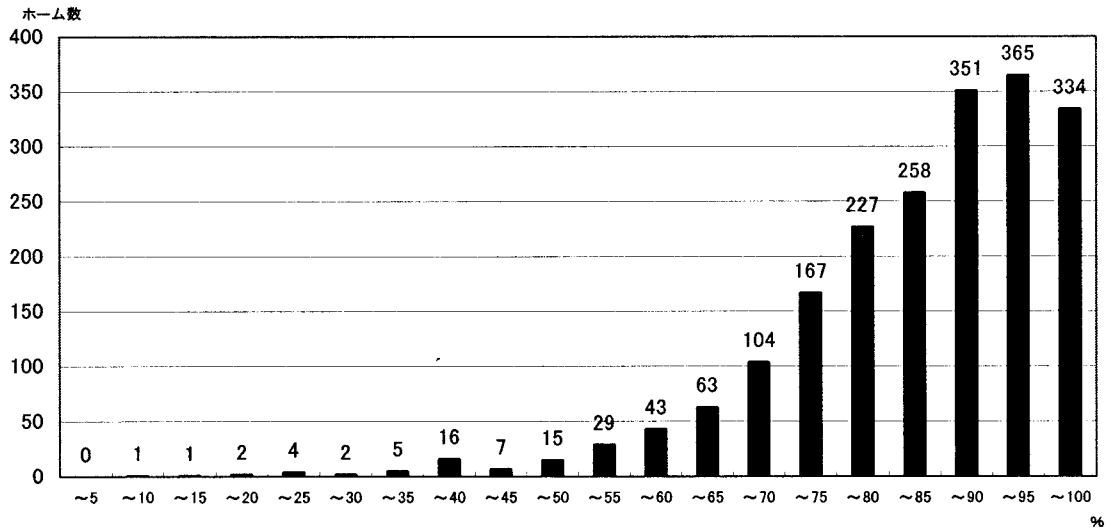


図1 ホーム別達成率分布 (全国)

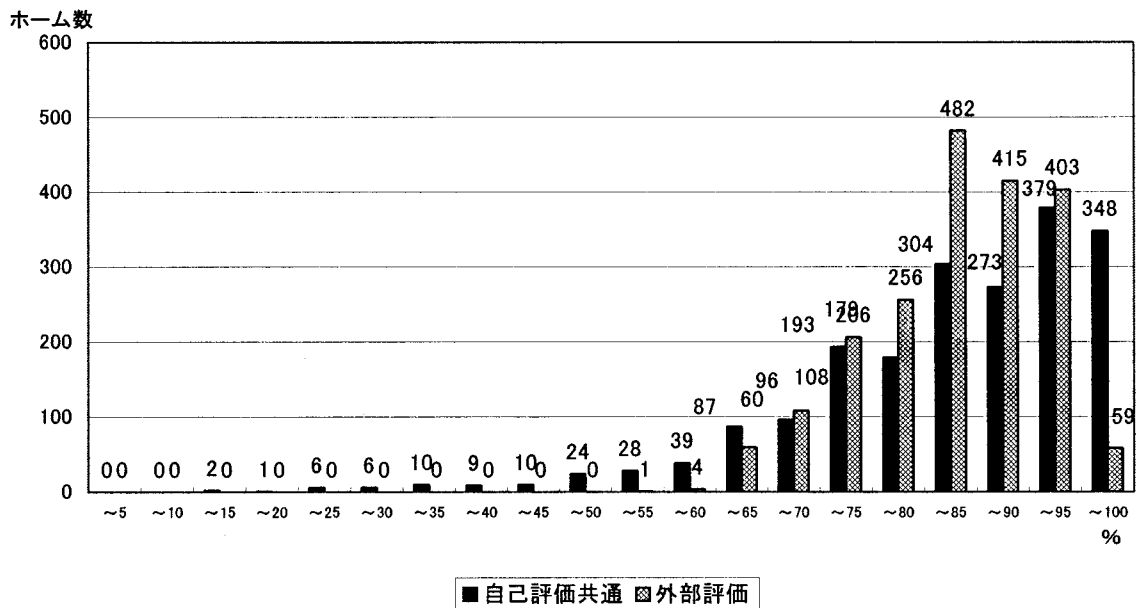


図2 自己評価共通、外部評価ホーム別達成率分布 (全国)

表4 自己評価全数、自己評価共通と外部評価の達成率の基本統計

	自己評価全数	自己評価共通	外部評価
100%のホーム数	46 ホーム	82 ホーム	0 ホーム
平均値	82.8%	82.3%	82.7%
中央値	85.8%	85.3%	84.5%
最大値	100%	100%	98.6%
最低値	9.7%	12.7%	53.5%
標準偏差	13.4	14.1	8.4

自己評価全数のホーム別達成率のヒストグラムは図1のようになっており、自己評価は90%以上95%未満のホームが最も多く、全体として幅広い分布を示している。また、自己評価共通と外部評価のホーム別達成率のヒストグラムは図2のようになっており、自己評価共通は90%以上100%以下と80%以上85%未満のホームが多く、全体として幅広い分布を示しているが、外部評価は80%以上85%未満のホームが最も多く、70%以上95%未満に集中する一峰性の分布を示している。表4の様に、自己評価全数の平均値は82.8%、自己評価共通は82.3%、外部評価は82.7%となっており、全体としてほぼ同じ平均値を示している。自己評価全数、自己評価共通の場合は、各ホームの目標水準の設定により判断のバラツキが見られる傾向にあり、一方、外部評価に関しては標準化をめざした検討が行われていることもあり、バラツキが比較的小さい結果が得られている。なお、外部評価では皆無であった達成率100%のホームが自己評価全数では46ホーム、自己評価共通では82ホーム存在する特徴がみられた。

また、道府県別の自己評価共通と外部評価の平均値は図3の通りである。自己評価共通の平均値の最大値は千葉県の87.7%であり、最小値は沖縄県の64.4%である。また、外部評価の平均値の最大値は山形県の89.0%であり、最小値は沖縄県の74.8%である。外部評価よりも自己評価共通の方がばらつきが比較的小さい傾向が見られる。

② 領域別達成率

1) 4大領域別結果

「Ⅰ運営理念」「Ⅱ生活空間づくり」「Ⅲケアサービス」「Ⅳ運営体制」の4大領域の自己評価、外部評価の達成率は図4のとおりである。自己評価全数の達成率は「生活空間づくり>ケアサービス>運営体制>運営理念」の順である。また、自己評価共通の達成率も同様であり、外部評価の達成率は、「ケアサービス>生活空間づくり>運営体制>運営理念」の順である。また、自己評価共通と外部評価の達成率を比較すると、生活空間づくり、運営体制は平均値がほぼ同じであるが、運営理念に関しては自己評価共通よりも外部評価の方が低く、ケアサービスに関しては外部評価よりも自己評価共通の方が低い傾向が見られた。

なお、自己評価、外部評価ともに運営理念の達成率が最も低くなっているが、この領域は項目の数そのものが少なく、次節で検討する様に個別項目の達成率において「運営理念の地域啓発」の項目の達成率が低くそれらの影響がみられた。

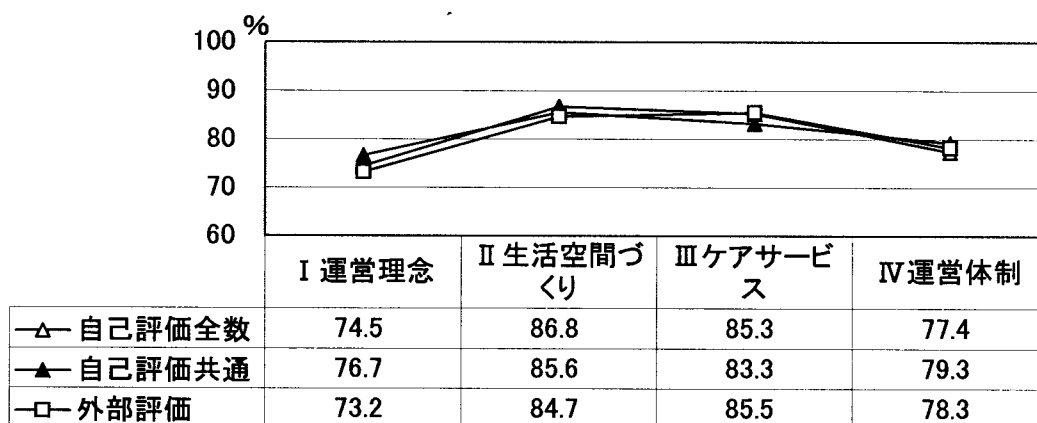


図4 4大領域別達成率比較

③ 項目別達成率の検討

1) 項目別達成率上位項目結果

自己評価全数の中で達成率が高い上位10項目としては表5のとおり、Ⅲケアサービス領域とⅣ運営体制領域の項目が挙がっている。自己評価共通の中で達成率が高い10項目としては、Ⅲケアサービス領域とⅣ運営体制領域の項目以外にもⅡ生活空間づくりが挙がっている。外部評価項目の中で達成率が高い項目は、「調査等の訪問に対する対応」「ホーム内の衛生管理」以外はⅢケアサービス領域に集中し日常生活行為の支援が主である。

2) 項目別達成率の下位項目結果

自己評価全数の中で達成率が低い10項目としては表6のとおりⅡ生活空間づくり領域は挙がっておらず、主にⅣ運営体制領域が挙がっている。また、項目内容の対象者で分類すると、家族、地域、市区町村に関連する項目が主に挙がっている。具体的に見てみると、「家族の第三者への相談機会の確保」「介護計画への入居者・家族の意見の反映」「家族同士の交流促進」といった家族との連携およびエンパワメントに関連する項目、「地域への運営理念の啓発」「地域との連携」「地域の人達との交流の促進」「生活の拡充を支える近隣住民等への働きかけ」といった地域との交流や啓発に関連する項目、「市町村との関わり」といった市区町村との連携に関する項目である。また、「緊急時の手当て」といった緊急時に対する体制作りの達成率も低い傾向がみられる。

自己評価共通も同様な傾向が見られるが、さらに、Ⅳ運営体制領域においては「職員の継続的な研修の確保」「ストレスの解消策の実施」といった職員に関連する項目が挙がっており、職員に対するサポートの充実が図られることの必要性が示唆される結果であった。また、外部評価達成率が低い項目としては、自己評価全数、共通同様にⅡ生活空間づくり領域は上がっておらず、Ⅲケアサービス領域およびⅣ運営体制領域が主に挙がっている。項目内容は多様であり、家族、地域、市区町村に関連する項目の他、理念の明示や感染症対策や緊急時の手当て等が挙がっている。

④ 自己評価と外部評価の項目別達成率の差からみたホーム側と評価の課題

自己評価共通と外部評価の項目別達成率の比較をした場合に、達成率の差が大きいものは以下のとおりであった。

1) 自己評価より外部評価の達成率が高い項目

自己評価より外部評価達成率が高い項目は表7のとおりである。「職員の穏やかな態度」「入居者一人ひとりの尊重」「入居者のペースの尊重」「入居者一人ひとりの過去の経験を活かしたケア」「一人でできることへの配慮」という入居者の日々での暮らしの中における尊重に関する項目が多く挙がっている。

2) 外部評価より自己評価の達成率が高い項目

外部評価より自己評価達成率が高い項目は表7のとおりである。内容としては「運営理念の明示」「注意の必要な物品の保管・管理」「入居者一人ひとりの希望にあわせた入浴支援」など様々な項目が挙がっている。

4) 考察

(1) ホームの質の確保の達成状況

自己評価、外部評価の達成率がともに平均8割を超えており、評価の期待水準に照らしてみると、大半のホームがおおむね質を確保している実態が確認された。一方、ホームが有している課題に関しては、項目別達成率結果からいくつかの傾向が見られる。

傾向としては、入居者が地域で暮らしていくための地域との関わりの支援が弱いことが伺える。さらに、項目別達成率結果からは、「市町村との関わり」が自己評価、外部評価とも達成率が非常に低い。これらはホームからの働きかけだけでは取り組めることなく、市町村との密な連携のもと、地域の認知症ケアに貢献していく取り組みがホーム側、行政側双方で求められていることが示唆されているといえる。

(2) 自己評価と外部評価の達成率の差の検討

：グループホームの課題と多面的評価の必要性

自己評価と外部評価の達成率の差が大きな項目の主な理由は、外部評価では「第三者として場面を見る事で判断」する視点が優先される一方、自己評価では「入居者の日々変わる状態象の中で長期的な視点に立つことにより判断」する視点が優先されている点が考えられる。

自己評価より外部評価の達成率が高い項目に挙げられている「入居者に関連する項目」においては、マニュアルや体制に関するのではなく、「職員」の個々の資質に関わりが強いものであることが考えられる。これらの項目は、自分のみで必ずしも達成できる内容ではなく、対人関係に依拠し、相性や感性に影響される要素が含まれている。ここから、単なる職業としてのケアだけでなく、共に喜び、悲しむといった感情を共有できるといったホームに適した人材⁷が必ずしも現在のホームの中で育っていないという自己点検がなされているとも考えられる。外部評価においては「場面を見て判断する」ことが基本となるが、これらの項目に対してホーム側がどのような姿勢で取り組んでいるかについての深い問いかけと話し合いを通して共有に取り組む中で気づきを伝えられる技術も今後、調査員の質の向上において必要な課題と考えられる。

一方、外部評価より自己評価の達成率が高い項目に挙げられている項目としては、「入浴」や「食事」「玄関周りの配慮」といった日常生活において、ホームの都合や職員の都合によってその限界や水準を作り、それを入居者に当てはめていないかという、利用者家族の代弁者としての視点が含まれていることが伺える。

また、具体的な項目として「入居者の状態に応じた職員の確保」に関しては、評価の根拠として記述された内容によると、介護保険制度上指定基準水準を満たしていることで十分だと判断しているホーム側の認識や、その中で現場職員が十分な休憩や有給休暇

⁷ 中島紀恵子編：グループホームケア 痴呆の人々のケアが生きる場所. 日本看護協会出版会(2001)

がとれていない、サービス残業など生活をおある程度犠牲にしながら精一杯取り組んでいる部分で成り立っている現実的条件の枠内で「できている」といった認識も考えられる。一方、外部評価では「入居者の状態や生活の流れを支援するため」には、なじみの関係やきめ細やかなケアを継続していく視点を交え、組織内の異動や離職に関して「要改善」としている場合が多い。法人独自の組織論の中には、認知症ケアを学ばせたいという法人側の意図、組織的論理としての人事異動が見受けられるケースがあるが、法人組織の中でのホームの位置付けなど根本的な部分が論じられなければならない状況があり、ホームの努力だけでは改善できない改善課題が存在する様子が伺える。また、上記のホーム側の厳しい条件の中での努力を認めるからこそ、その努力を持続させる職員配置等の改善を求める外部評価結果により、自己評価と外部評価では立場によって改善点のあらわれ方が違うことが浮きぼりになったといえる。

これら自己評価と外部評価から見た視点の差を検討することを通して、ホームにおける質の確保・向上に向けた重層的な検討が可能となると考えられる。評価の継続的な実施を通して、各ホームがこれらの結果を家族や地域に示しながら、確実にホームで有する課題の再点検と改善に向けて取り組むことができるよう事業者や行政による評価の活用が求められる。

なお、道府県ごとの「グループホームのサービスの質の向上に向けた重点課題」が明確化されたが、これらの課題については、以下の活用が今後、考えられる。

- ①研修テーマとして取り扱う
- ②事業者連絡会等での改善に向けた情報交換の素材として取り扱う
- ③様々な関係機関に呼びかけ相互支援の素材として取り扱う

2. 標準的なサービス評価結果内容の作成

1) ねらい

サービス評価のスタンスは、「入居されている当事者の立場に立ってみると」という視点である。判断の基準を求める声は少なくないが、一定の水準値の設定は、高すぎれば負担感が増し、低ければ低いレベルへの誘導となる危険性をはらむ。また、個々の生活に尺度や基準の線引きを求めることは困難であると同時に、画一化への疑念も挙げられる。基準の細則にもとづく判断ではなく、現場や利用者の様子を評価調査員の目や耳で確かめていくことが重要である。これらを踏まえて東京センターでは、サービス評価ガイド集（2004年度版）を発行し、評価項目そのもののねらいを明らかにし、個々の価値観に頼らず、どういうことを根拠として判断していったらいいのか、指標を提示してきた。

本事業では、公開済みの評価結果から標準的な達成または要改善とした「判断した理由や根拠」、ならびに要改善とした場合の「改善すべき点等」を検討、集約することにより、判断の指標を示すこととした。

これにより、17年度以降、各道府県の評価機関が評価の公開を実施する上で、利用者の選択に資する評価結果内容の具体的な判断材料にするとともに、今後の評価機関の均質化の基礎的なデータとして汎用していくことが期待される。

2) 対象と集約方法

平成14年度の外部評価実施開始から各地域で評価体制が整備されるまでの移行期間である16年度末までの間に44道府県（神奈川県のみ平成14年度のみ）より評価機関として依頼を受けている東京センターにおいて実施された評価報告書詳細版の記述データを用いる。平成16年12月時点で外部評価結果が公開されている1995グループホームを対象とする。

なお、平成17年3月28日現在、3,103か所の評価結果の公開を終了し、最終的に9月末までに4,895か所の公開予定である。

3) 外部評価項目の「達成」「要改善」「特記事項」の記述例

●達成（できている）・要改善の判断根拠および特記例（項目ごとと上段①②等は「達成」の記述例、下段A B等は「要改善」の記述例）

項目番号	項目	判断した理由や根拠例	マーク	改善すべき点等の特記事項例
1	I 運営理念 ○理念の具体化及び運営理念の共有 1. 運営理念の明確化 管理者は、痴呆性高齢者グループホーム（以下「グループホーム」という。）に関わる法令の意旨を理解しており、これを自らが所属するグループホーム（以下「ホーム」という。）の運営上の方針や目標等に具体化し、介護従業者に日常的に話している。	① 管理者はグループホームの意旨を踏まえて、ホームの理念を具体的なかつ日常的に職員に話している。	①	
		② 管理者は理念をもとにした具体的な運営方針について、都度話しており、浸透と共有化を図っている。	②	
		③ ホーム長（管理者）は、法令を理解しており、理念を具体的な方針にして示し、都度介護従業者に話している。	③	
		A 明確な理念やそれを具体化した方針や目標が定まっていなかった。また、職員間での共有が十分ではない。	A	ケアの原点となる理念が暗唱ではなく、理解、浸透するように、この機会に現場職員全員で、理念、運営方針について話し合ってもらってほしい。形式ではなく、現場から自分たちの言葉として作り上げていくことも検討してみたい。
		B 運営上の方針の源泉となる「理念」について、しっかりと共有されておらず、運営方針が日常的に話しているとはいえない。	B	理念とは、貴グループホームが運営を実践していく上で、よりどころにしている大切なもの、立ち戻る基本的な考え方であり、今後も入居者の実情にあわせて生きてきた方針や目標として理念を具体化し、常に職員に語り、牽引していくことを期待したい。
		C 法人全体の理念は明確にあるが、ホーム独自の理念として運営方針や目標として生きてきた形で具体化されておらず、また特に話し合うこともない。	C	母体施設の理念を基礎として、居宅メニューの一つの介護保険事業者として、ホームの運営を実践していく上で立ち戻る基本的な考え方を独自の理念として創り、理念を入居者の実情にあわせて生きてきた方針や目標として具体化し、職員に語り、牽引していくことを期待したい。
2	○運営理念の明示 ホームの運営理念を利用案内時の説明文書及びホームの見やすいところに明示し、かつ、入居者及びその家族等に分かりやすく説明している。	① 理念については、パンフレットや利用契約書等に示し、十分説明がなされている。また、ご家族、来訪者に分かりやすく、ホームにも掲示されていた。	①	
		② 運営理念は入居時の契約書に詳しく明記されており、家族にも十分説明している。	②	
		A ホーム側の考えとして、家庭に掲示物は合わないのではないかと言う意図がある。しかし、グループホームは家庭的であっても家庭ではなく、公的サービスの事業者として、このホームは何を目標としているのか、複数の利用契約者（ご家族）、地域に対して、伝えていくことが求められる。	A	グループホームの理念を常に刻んでいくためにも、家庭的雰囲気を感じず、理念の中心に据えられた言葉を抽出した掲示内容や掲示方法、場所の検討が望まれる。
		B 運営理念がホーム内や職員の集まる場所に提示されていなかった。	B	ご家族、来訪者に対して、理念を表現等工夫し分かりやすく見やすい場所に明示してほしい。また、入居者にもここはどのようなところで、どう過ごしていただけるのか、痴呆の方だとあらかじめ理念を伝えていくことが望まれる。

3	4	○権利・義務の明示	① 入居者の権利、義務は契約書において明示しており、契約時にきちんとご本人、ご家族に説明している。		
			② 重要事項説明書、契約書等に入居者の権利、義務がわかりやすく明示されており、ご家族の同意が得られている。		
	A	利用者の権利・義務を利用案内時の説明文書及び契約書に分かりやすく示し、かつ、入居者及びその家族等に説明し同意を得ている。	契約書、重要事項説明書に入居者の金銭の支払いや退居要件等の義務は記載されているが、提供されるサービスの具体的な内容等の権利の記載はない。	ア	利用開始に際しては、運営規程の他に介護従業者の勤務体制その他のサービスの選択に資する重要事項を記した文書を交付し説明のうえ、同意を得ることが基準としても求められ、具体的な権利、義務を明記し、説明してほしい。
	B		運営規定の内容が変わっているが、古いまま、重要事項説明書の内容と一致していない。また、重要事項説明書の文字が小さく、入居者ご家族にとって読みにくいとうかがわれる。	イ	運営規定の変更修正とともに、利用する立場に立って理解しやすく、見やすい重要事項の説明書の作成が望まれる。なお、入居者の義務としての費用条項について、料金改定等の際、十分話し合い納得頂いているか、再度確認されたい。
4	5	2. 運営理念の啓発			
		○運営理念の啓発	① 痴呆の方であってもその人らしく、普通の暮らしをされていることを地域に対してアピールしていく努力をしている。		
			② グループホームの意義や役割について、伝えていこうという取り組みがなされている。		
			③ グループホームの意義や役割について、説明会や広報誌の発行など積極的に地域に対する啓発や広報を行っている。		
	A	ホームの運営理念や役割が地域に理解されるよう、地域に対する運営理念の啓発・広報に取り組んでいる。(ホームの啓発、ホーム便り等)	周辺地域へは入居者のプライバシーもあり、積極的には取り組んでいない。	ア	プライバシーについては、ご本人の地域生活の拡充のために、また「痴呆であっても当たり前の暮らしができる」ことを地域に知らせ痴呆ケアの向上に貢献していくためにも、ご家族らと十分話し合い、配慮しながら試みてほしい。
	B		法人全体としては広報紙配布するなど啓発をしているが、グループホーム独自の取り組みはほとんど行われていない。	イ	さらに、グループホームの意義や役割を広報していくための、独自の取り組みも発展的に進めてほしい。
	C		普段より口頭にての地域への働きかけは行っているが、ホーム便りや説明会等、具体的な啓発や広報活動は行っていない。	ウ	グループホームの意義や役割を積極的に広めていくために、説明会やホーム独自の便りの発行などに取り組んでほしい。

5	II 生活空間づくり	1. 家庭的な生活空間
6	○気軽に入れる玄関まわり等の配慮	<p>① 建物のまわりも手入れが行き届いて気持ちが良い、玄関周りには花などが植えられており、工夫や配慮がなされている。</p> <p>② 建物は街並みにとけ込んでおり、違和感や威圧感はない。入居者、ご家族、近隣の方にとっては住み慣れた自宅に代わる家というイメージがある。</p> <p>③ 玄関まわりに草花を置いたり、親しみやすい表札などで家庭的で親しみやすい雰囲気であった。</p>
6	<p>違和感や威圧感を感じさせず、入居者や家族が入りやすく、近隣の住民も訪ねやすいよう、玄関まわりや建物の周囲に、家庭的な雰囲気づくりの配慮をしている。(玄関まわりに草花を植える、親しみやすい表札をかける等)</p>	<p>A 併設施設とつながっている部分があり、玄関らしさが見られない。職員間で検討しているところなので、今後に期待したい。</p>
7	○家庭的な共用空間づくり	<p>B 玄関周りは植栽等が少なく、殺風景で家庭的なあたたかみに欠けている。グループホームは住み慣れた自宅に代わる居宅サービスマである。玄関はホームの象徴でもあるので、常に手入れをし、工夫を重ねていってほしい。</p> <p>C 病院の玄関と隣接しているため、家庭的とは言いにくい面もあるが、草花を植えたりベンチを置くなど、親しみやすい雰囲気作りに配慮している。</p>
6	<p>共用の生活空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、いずれも家庭的な雰囲気を有しており、調度や設備、物品や装飾も家庭的である。</p>	<p>ウ グループホームは住み慣れた自宅に代わる居宅サービスマであり、入居者、ご家族、近隣の方にとっても違和感なく入れられるかどうか、玄関はホームの象徴でもあるので、あきらめずにさらに工夫をかせがねていってほしい。</p>
6	<p>共用空間については、墨間を作る等の工夫ができないか。この機会に職員で話し合ってみてほしい。</p>	<p>ア 共用空間について、墨間を作る等の工夫ができないか。この機会に職員で話し合ってみてほしい。</p>
6	<p>ユニフォームについては、グループホームは、職員と共に普通に暮らすという視点から、また、ケアする側、される側の側のような壁になっていないか等、職員一同で話し合ってみてほしい。</p>	<p>イ ユニフォームについては、グループホームは、職員と共に普通に暮らすという視点から、また、ケアする側、される側の側のような壁になっていないか等、職員一同で話し合ってみてほしい。</p>

7	8	○共用空間における居場所の確保	① それぞれの人が自分の居場所を確保し、思い思いに居心地よく過ごされている。		
			② 居間の椅子テーブルや奥には畳スペースが設置しており、入居者が一人になったり分散して過ごせる居場所を作っている。		
			③ 椅子の配置や居間の過ごしやすい工夫など、入居者がその時々にあわせて一人になったり、数人で過ごすなど思い思いの場所で、居心地よく過ごせる居場所が確保されている。		
			A リビングはとでもゆったりと明るいスペースで椅子やソファアーム、畳コーナー等が配置されていた。ただ、1つのスペースなので、自分の居室の他に一人になったり、数人でくつろいだり、それぞれ少し離れて過ごせる居場所の確保にさらなる工夫が求められる。	ア	小規模と言っても集団であり、疲労やストレスを避けるためにも人の気配が感じる空間の中で、一人になれるちよつとした空間や皆からはなれて座れるベンチなどの設置を工夫してほしい。
			B ハードの面でスペースがあまりなく、入居者の居場所は1か所に限られてしまっている。一人になったり、分散して過ごすなど思い思いの場所で、居心地よく過ごせる居場所の確保が望まれる。	イ	入居者の状態や動きを重視して、小スペースの家具を採り入れたり、配置の工夫等職員でアイデアを出し合いながらハードの条件をカバーする取り組みを重ねてほしい。
			C 居間が団欒の場になっており、それぞれ思い思いに過ごしているが、ほっと一人になったり、時々数人で過ごせる居場所は確保できていない。	ウ	限られたスペースではあるが、椅子の配置や落ち着くコーナーづくりなど、さらに工夫してみてほしい。
8	9	○入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり	① 使い慣れた家具などが置かれ、今までの暮らしを連想できるような居室になっており、安心して生活を楽しんでいる様子がうかがわれた。		
			② 居室には個性が見られた。入居者本意の様子であった。		
			③ 馴染みの持ち込み品や装飾などそれぞれ個性がうかがえ、ご自身が落ち着いて過ごせるスペースとして配慮がみられた。		
			A その人らしさが表現できるような生活の臭いを感じさせる個別の調度品が少ない。	ア	家族へなじみの品を持ち込んでもらうなど動きかけをすとも、ホームでもリサイクル品や写真等で飾るなど、ご本人の落ち着ける空間づくりに工夫してみてほしい。
			B 病院や施設からの入居者の方が多く、居室には家具や日用品の持ち込み品等がなく、一人ひとりが安心して落ち着ける居室空間とはなっていない。	イ	ご家族へ理解・協力を促す他、以前のご自宅に一緒にうかがい思い出しの品々を探するなど、またご本人が作った作品を飾ったり、リサイクル品を入居者とともに選んでみるなど、ホーム側でもその人らしい空間づくりに工夫をしてみたい。

11	○音の大きさや光の強さに対する配慮	① 静かな環境の中で、採光も調節され、入居者が落ち着ける配慮がされている。			
		② 会話のトーンはやさしく配慮がなされている。自然採光や照明も工夫され、入居者が落ち着いて過ごせるよう配慮がされている。			
		③ 室内照明は、まぶしさや暗さに留意しており、また食事時間はテレビの音量を絞るなど配慮がなされている。			
	入居者が落ち着いて暮らせるように、音の大きさや光の強さに配慮している。(テレビ、職員の会話のトーン、照明の強度、まぶしさ、日射し等)	A スペースによって暗い場所もある。共有スペースから洗濯機、乾燥機の音が聞こえ、少し気になる。	ア		空間の明るさ、音など、入居者が安心や落ち着いて暮らせるような工夫をしてほしい。
		B 個別性に合わせた工夫、配慮はうかがえなかった。何気ない光や音などの刺激が不安や混乱の引き金になり、集中力が低下して行動の失敗を誘発しやすいという痴呆の特徴があるので、きめ細やかな対応が求められる。	イ		また痴呆の人は心身のストレスや不快感に対する心理的抵抗力が弱く、適応能力も低下していくので、入居者個々のそのときの状態に応じたきめ細やかな配慮が求められる。
12	○換気・空調の配慮	① 換気を適直行っており、風がよく通り、よどみや臭気もなく清潔な環境であった。また、室温は入居者の状態を細やかに観察し、外気を取り入れたり、冷暖房等による温度調節を行なっている。			
		② 共用空間、居室ともに臭いやよどみがないように適宜換気を行い、室温調整もこまめに行っている。			
	気になる臭いや空気のよどみがないように、換気を適宜行っている。また、冷暖房の温度調節は、冷やし過ぎや暖め過ぎがないように適切に行っている。	A 換気が不十分であった。	ア		空気のよどみや、においがこもらないように、こまめに換気するなど、細やかな配慮が求められる。
		B きめ細かく暖房等の調整を行って室温は適温であったが、ポータブルトイレのある部屋の臭いが若干気になった。	イ		共用空間だけでなく、各居室の換気も配慮し、こまめに行ってほしい。

13	17	○時の見当識への配慮	<p>① 時計は文字が大きく見やすい、また暦も文字の大きいものが、見やすいところにかかれていた。</p> <p>② 時計や暦は目の高さに置かれていて見やすく、また季節感のある装飾を工夫するなど四季の感覚にも考慮し、お年寄りの失見当識を補う工夫がなされていた。</p> <p>③ 普通の暮らしの中で、時間、暦、四季の移り変わり等、一人ひとりにあわせて見当識を助けるための見やすい時計、装飾などの工夫や配慮がみられた。</p> <p>A 暦の文字、数字が小さく見にくいと感じた。また、時計は目につくところに設置されていた。お年寄りにとっての視線や分かりやすさを再度点検してみたい。</p> <p>B 普通の暮らしの中で、時間、暦、四季の移り変わり等、一人ひとりにあわせて見当識を助けるための見やすい時計、装飾などの工夫や配慮が求められる。目立つ手作りの日めくり暦(大)が馴染みやすいか、毎日の声を出しての日付の確認について、提供側ではなくお年寄りにとってどうかという視点で再考してほしい。</p>	<p>ア 入居者の失見当識を補うことにつながっているか再点検され、必要に応じて大きな文字盤の時計に変えたり、カレンダーも目めくりにする等工夫が望まれる。</p> <p>イ 職員で再度、本項目の目的を話し合い、会話や視覚など五感の中で時や季節を認識してもらう工夫が求められる。</p>
14	18	○活動意欲を触発する物品の用意	<p>① 活動意欲を触発するために、一人ひとりの生活歴や経験を把握し、馴染みの使いやすい物品が用意されていた。</p> <p>② その人それぞれ得意なこと、好きなことを把握して、いつでも使ってもらえるよう道具を用意しており、さりげなく活動意欲を促し活用してもらっている。</p> <p>③ 使い慣れた台所用品、掃除用具、園芸用具等用意されている。</p> <p>A 入居者個人に適した物品が十分提供されていない。共用の場づくりはできているが、個別的な配慮が不足がちである。暮らしの中の活動を支える物品、道具を再考してみたい。</p> <p>B 家庭菜園があり収穫を楽しんでいるとのことであるが、他に活動意欲を触発する物品が見受けられない。</p>	<p>ア 入居者ご本人の興味を探ったり、ご家族に聞き取りをするなどして、ご本人が使い慣れた、または興味を持ってもらうような物品を提供していくことを重ねていきたい。</p> <p>イ 日々の生活の中で入居者ご本人の興味を探ったり、またご家族に聞き取りするなどして、入居者が使い慣れた、また興味を持ってもらうような物品を提供していくことが望まれる。</p>

Ⅲ ケアサービス		1. ケアマネジメント	
15	20	○個別具体的な介護計画	<p>① アセスメントに基づいて、個々の特徴を捉えた具体的な介護計画を作成している。</p> <p>② 家族からの聞き取りもきちんと書き込み、一人ひとりの特徴を捉えたケアプランを作成している。</p> <p>③ ご本人の状態像や生活歴、希望等を把握しており、個々の特徴を捉えた具体的な介護計画を作成している。入居者との対話を通して、趣味を活かした計画となっていた。</p> <p>A アセスメントがなく、一人ひとりの特徴やバックグラウンドを踏まえた介護計画となっておらず、分かりにくい。様式を検討し、作成していくことが望まれる。</p> <p>B 介護度はもとより、個々の生活歴や性格、特徴などが様々で、その人らしい、きいきいとした暮らしのためのケアのガイドとして機能しているか再考してほしい。</p> <p>C 個人別ファイルは作成できているが、内容はアセスメントに基づいた介護計画としては十分ではない。</p>
16	21	○介護計画の職員間での共有	<p>① 介護計画作成に当たっては、職員の気づきや意見が取り入れられ、反映されている。計画の内容を職員がいつでも確認できる仕組みになっている。</p> <p>② ケース会議では、職員の気づきや意見を出してもらい、それらを反映した介護計画を作成している。また、ファイルも見やすく工夫されている。</p> <p>③ 介護計画の作成にあたっては、一部の職員に任せるとはならず、日々入居者に接する職員全員で考え、自分たちが守り通していこうとする実践可能なかぎりの事柄を踏まえ、入居者一人ひとりに合わせた計画を作成しているが、全ての職員が計画を知っているとはいえない。</p> <p>A 計画作成担当者に任せられており、職員個々の気づきや意見を探り入れられる場がない。また、守秘義務ということで、パート職員には知らせていないなど、すべての職員が介護計画の内容を知る仕組みになっていない。</p>
			<p>本人の希望やできること本人の強みをアセスメントし、できていること秘めた力を大切にしたい介護計画の作成が望まれる。</p> <p>ア</p> <p>自由な暮らしやその人ペースは尊重しつつも、記憶や生きがいを引き出し、活力ある暮らしにむけて、項目No.17にも運動するがご家族とも十分相談しあい、より一人ひとりの具体的なニーズのないケアのガイドを作成してほしい。</p> <p>イ</p> <p>介護計画は日々の職員のご本人への係わり方を導くための共通のガイドとして不可欠なものであり、画一的な内容ではなくアセスメントに基づいて一人ひとり具体的な内容であることが求められる。</p> <p>ウ</p> <p>職員全員でのカンファレンスを行い、気づきや意見を出し合いながら介護計画を作成しているか再度確認してほしい。</p> <p>ア</p> <p>職員全員でカンファレンスを行い、気づきや意見を出し合いながら介護計画を作成してほしい。作成された介護計画は職員（パートも含む）で共有していくことが、チームケアでは欠かせない。</p> <p>イ</p>

17	22	○介護計画への入居者・家族の意見の反映	<p>① 介護計画作成に当たっては、職員の間で、職員の気づきや意見が取り入れられ、反映されている。計画の内容を職員がいつでも確認できる仕組みになっている。</p> <p>② ご家族との連携を保ち協働で介護計画を作成している。常に、入居者にはさりげなく話を聞いており、そのことを介護計画に反映させるよう取り組んでいる。</p> <p>③ 入居時、家族との面談で入居者の情報を得て介護計画を作成、作成後は家族にも報告している。</p> <p>A ご家族の来訪時に、意見を聞くなどすることもあるが、ご本人の暮らしや介護がどうあったらよいか具体的な引き出しは十分ではなく、介護計画の報告に留まるケースが見受けられた。</p> <p>B ご家族の面談が困難な方などには、意見や希望を聞く機会が少なく、また、ホームに安心して任されているご家族もおられるため、ケアプラン作成の参画はなく、事後報告のみとなっている。</p> <p>C 入居当初に、ご本人及びご家族から希望・意見は聞いているが、計画の見直し等において入居者の状況に応じた具体的な意見や希望は反映されていない。ご本人の希望はもちろんだが、ご家族の願いや意見を聞き、それを調整しながら、ご本人にとってどうあったら一番よいか、再度検討が求められる。</p>	<p>介護計画作成に当たっては、職員の気づきや意見が取り入れられ、反映されている。計画の内容を職員がいつでも確認できる仕組みになっている。</p> <p>ご家族との連携を保ち協働で介護計画を作成している。常に、入居者にはさりげなく話を聞いており、そのことを介護計画に反映させるよう取り組んでいる。</p> <p>入居時、家族との面談で入居者の情報を得て介護計画を作成、作成後は家族にも報告している。</p> <p>ご本人の暮らしと介護がどうあったらよいか、家族の声の大切さを説明し、役付けかけを繰り返して、相談しながら入居者一人ひとり、その人らしいいきいきとした介護計画の作成に取り組んでいくことが望まれる。</p> <p>ご家族に対して計画案を早て頂き、希望や意見を引き出したり、入居者の方からさりげなく話を聞いたり、可能な方はカンファレンスに同席してもらったりなど、ご家族とともに先にご本人の意見を引き出していく取り組みも望まれる。</p> <p>ホームに安心してお任せしている方もおられるようだが、なかには、具体的に知りたい家族もあるのではないだろうか。また、ご家族へ、定期的に身体状況や暮らしぶりを積極的に伝えたり、何でも話し合える関係づくりが求められる。</p>
18	23	○介護計画の見直し	<p>① 期間を設定した定期および状態の変化に応じて随時介護計画の見直しを行っている。</p> <p>② 定期と状態の変化の都度の介護計画の見直しについては、日々の観察・記録をもとに一人ひとり丁寧な見直しが行われている。</p> <p>③ 計画は長期、短期、状態変化に応じた随時の見直しを行い、実施後は評価するようにしている。</p> <p>A ケース会議を月1回程度開催し、アセスメント表を見直し定期的な介護計画の見直しを行っている。状態変化に応じて話し合いをして、対応を図っているが、介護計画表に記入していく作業は遅れがちとなっている。</p> <p>B 状態変化に応じての随時の見直しはなされているが、定期としては一年に一度となっている。大型施設でも3～6ヶ月の見直しが行われており、よりきめ細かいケアを要求されるグループホームでは何らかい状態に変化がなくても季節毎等3ヶ月に1回が望まれる。</p>	<p>ホームに安心してお任せしている方もおられるようだが、なかには、具体的に知りたい家族もあるのではないだろうか。また、ご家族へ、定期的に身体状況や暮らしぶりを積極的に伝えたり、何でも話し合える関係づくりが求められる。</p> <p>アセスメントの本来の目的は一見見直しが必要ないと思われたケースでも冷静に点検し直し、普段の中での見落としや可能性への追求、気づきを高めるために行う作業であり、その観点からも考察されたい。</p>

19	24	○個別の記録	観察記録に個人についての記録がされている。		
			② 個別にファイルが作成されており、一人ひとりの特徴などが見やすくなっていた。		
			③ 入居者一人ひとりの健康状態、日常の暮らしの様子が具体的に記録されていた。		
		日々の介護や介護計画に反映させるため、入居者一人ひとりの特徴や変化を具体的に記録している。	A 具体的に記録されているが、項目別に細分化されすぎており、個人の状態を一目瞭然に知るためには煩雑すぎ、記録のための記録となってしまうよううかがえる。	ア	介護計画に反映させるためにも、その方の状態が一度に把握できるように、まとまった個別ファイルにしてみてもどうか。
			B 個別記録ではなく、入居者の状況、変化などは日誌的なものになっており、介護計画に反映される形式ではなかった。	イ	昼夜通して、個々人の身体状況や生活状況を記載していくことが求められる。介護計画への反映を焦点として、記録のための記録とせず、日々の様子がいきいき記されるよう書式や記入の時間、場所への工夫も検討してほしい。
20	25	○確実な申し送り・情報伝達	① 伝達ノート、ホワイトボード等の活用で、各職員に確実に伝わる仕組みになっている。		
			② ミーティング時の申し送りと申し送りノートにより、情報伝達はなされている。		
			③ 口頭での申し送りと生活日誌を全員が必ず読むことになっており、情報伝達はしっかりとされている。		
		職員の申し送りや情報伝達を確実にに行い、重要な点はすべての職員に伝わる仕組みを作っている。	A 必要に応じて申し送りはされているが、定期的な申し送り時間の設定などは行われていない。	ア	申し送り・引継ぎ時間を設けたり、申し送りノート等の活用により、日々の伝達事項に漏れが無いようくみを検討されたい。
			B 不在職員に対する確認・チェックが十分にされていない。	イ	口頭での申し送りと申し送りノートの活用など、また全員が必ず読みサインをするなど、確実な情報伝達の方法を確認してほしい。
			C	ウ	なお、ケアに係わるホーム内の日常の情報伝達だけではなく、ご家族からの伝達事項等にも漏れが生じることがないか、伝達方法等も再度確認されたい。

21	○チームケアのための会議	月に1度は職員会議を開き、入居者の介護計画ミーティングも必要に応じて随時行っている。			
26		①	会議では、お互いの情報や気付きを活発に出しあい、皆で協議していくようになっていく。		
		②	母体施設からの指示・申し送りは、その都度あり、意見の交換は行われているが、ホーム職員による会議は特に開催されていない。	ア	会議を定期的に開催し、記録として残すことが望まれる。
	チームとしてケアを行う上での課題を解決するため、すべての職員で、定期的に緊急案件がある場合にはその都度)会議を開催し、活発に意見交換を行って合意を図っている。	A			
		B	お茶の時間などを利用して、随時ケアのための小会議を開催し、会議録を作成しているが、全職員による定期開催ではない。	イ	会議の目的は、グループホームという少人数の職員が一丸となってケアに取り組んでいくためには、お互いの情報や気付き、考え方や気持ちを率直に出し合い対話し合える機会を定期的に作り、チームを育てていくためであり、こうした会議を活かしてほしい。
22	2. ホーム内でのくらしの支援(1)介護の基本の実行				
27	○入居者一人ひとりの尊重	①	入居者の今までの自分の暮らしが大切にされており、職員も一人ひとりの話をよく聞き、それぞれの状況に合わせた対応がみられた。		
		②	職員は、個々の性格や特徴を把握しており、話をよく聞き、ご本人の思うことを否定せずに、納得いく対応を心がけている。		
		③	入居者を個人として尊重し、尊厳を守り、入居者一人一人に合わせた対応を行っている。		
	職員は、常に入居者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応を行っていない。(入居者一人ひとりの速い尊重、さりげない介助、プライベートな場所での礼儀、本人の返答能力に応じた質問方法、本人が思っている「現実」を否定しない等)	A	職員は常に入居者一人ひとりの人格を尊重し、適切な言葉かけをしているが、一部職員が、入居者の誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけを、何気なくしてしまっている場面が見受けられた。	ア	どんな場面でも入居者を一人の個人として尊重した言動をとっているか、ご本人の目の前でプライドを傷つけるようなこと、プライバシーに関する話を話していないか、スピーチロックをしていないかなど再確認し、対応の仕方についてよく話し合い、改善していくことが求められる。
		B	職員は、個々の性格や特徴を把握しており、話をよく聞き、和やかな対応を心がけているが、言葉かけの面で、多少子ども扱いした口調になってしまっていることがある。(居室の無断入室や禁止言葉、幼児語、ちゃんづけなど)	イ	どんな場面でも個人として尊重した言動をとっているか、指導や制限してしまうような言い方はなかったか、職員同士で常に振り返り留意していったらいい。ホームの理念に立ち戻って考えてみてほしい。

23	28	○職員の間やかな態度	① 職員の言葉かけや対応は、全体に穏やかでゆったりとしていた。		
			② 職員は時に快活、しかしゆったりとした物腰や話しかけで個々に対応されていた。		
			③ 入居者に対する物腰はやわらかで、言葉かけもやさしい話しかけがなされていた。		
		職員の間やかな態度はゆったりしており、やさしい雰囲気です。	A 優しい態度で接しているが、感情の不安定な入居者に対して、時に強い口調になってしまう場合もある。	ア	その方がなぜ不安定になられているのかなど、原因をさぐり、どう対応したらいいのか、ケース会議などで、話し合ってみてほしい。
			B スケジュールに追われることなく、ゆったりとした対応になっていた。ただ、中には声かけが充分でない職員も見受けられた。	イ	ストレスに弱い痴呆の人にとって職員の言葉かけや態度の質が重要であることを意識し、穏やかな言葉かけやゆったりとした態度を守っていくことが求められ、職員一同で常に確認をお願いしたい。
24	30	○入居者一人ひとりの過去の経験を活かしたケア	① 家族から生活層や趣味、嗜好を聞き、理解し、入居者のその人らしさを大切に、日々の暮らしに活かしている。		
		入居者一人ひとりの生まれからこれまでの生活歴、本人にとって大切な経験や出来事を知り、その人らしい暮らしや尊厳を支えるためにそれを活かしている。	② ご本人の生活層や経験など家族から聞き取り、日常生活やケアの内容に活かされている。		
			③ 入居者の一人ひとりの過去の生活経験をよく知っており、日々のケアや暮らしの中に活かされていた。		
			A ご本人やご家族からの具体的な過去の情報を伝えてもらう取り組みが十分ではなく、日常の暮らしの中に経験などが活かされていない。	ア	ご本人の体験談や好き嫌いなど細やかな観察、対応により、生活歴を活かしていくことが求められる。また、ご家族が来訪された時などに繰り返し働きかけ、聞いていくことも望まれる。
		B 入居者一人ひとりの生活歴や生活習慣、経験、職歴など、ご本人やご家族などからの聞き取りが不十分であり、その人らしい暮らしや尊厳を支えるためにそれが活かされていない。	イ	入居者の暮らしの継続の保障や、痴呆であっても状態の安定や力の発揮を図るためにも、家族から生活層や趣味、嗜好を聞き、入居者のその人らしさを大切に、日々の暮らしに活かす取り組みを検討していくことが望まれる。	

25	○入居者のベースの尊重	ご本人の希望や状態などにあわせて、柔軟に一人ひとりのペースを保てるよう努力している。	①		
		入居者のペースに合わせた配慮がされており、職員の入居者に対する気遣いも感じられた。入居者中心の生活が展開されていた。	②		
		グループホームの雰囲気、入居者の穏やかな表情から察知することが出来た。	③		
		食事や外出など、職員のペースで日常の暮らしが進みがちで、入居者と一緒に生活を楽しむという余裕が見られなかった。	A	ア	業務をこなすことを優先するのではなく、できるだけ入居者と一緒に過ごす時間をとるなど、入居者のペースの尊重を重視できるように、職員間で話し合い、工夫していった。
		職員数にゆとりが無く、業務をこなすことが優先されてしまい、職員側が決めたスケジュールで対応している面が見受けられた。	B	イ	ローテーションの見直しなどを検討し、ご本人の希望や状態などにあわせて、柔軟に一人ひとりのペースを保てるよう努力してほしい。
		職員が手を出さず、入居者のペースに合わせることの配慮が見受けられなかった。	C	ウ	ご本人の希望や状態などにあわせて、柔軟に一人ひとりのペースを保てるよう、待つことを基本にゆとりと対応が求められる。
26	○入居者の自己決定や希望の表出への支援		①		
		食事の献立の希望、着替え、出かけた後出先等、日々の暮らしの中で、一人ひとりが希望を出したり、選んだりする場面を積極的に作っている。	②		
		入居者の希望を引き出す工夫が1日の暮らしの中の様々な場面で作られている。なお、入居者から希望などサインが出た場合、聞き逃しが無いよう細かな目配り、気配りをしている。	③		
		自己決定を尊重しており、希望や意見を表出できるよう場面作りや言葉かけに配慮をしている。	A	ア	日々の生活の中での希望の表出できる場面を意図的にも作り出し、聞いてほしい。
		職員は、入居者一人ひとりが自分で決めたり希望を表現したりすることを大切に、それらを促す取組を日常的に行っている。(選んでもらう場面を作る、選ぶのを待つ等)	B	イ	献立への参画、買い物に食材を選ぶ等食事に関する希望や選好、出かけた場所の希望を聞き出したり、どちらにしますか、と選んでもらうなど、入居者自らの意見や意思を表出する場面を意図的に作ってほしい。

27	35	〇一人でできることへの配慮	<p>① 職員は、入居者一人ひとりのレベルを見極め、見守ったり、そっと手助けするなど、ご本人の自信と安心にむけて支援している。</p> <p>② ご本人ができること、できそうなことを見極め、あまり手や口を出さず、見守っている。</p> <p>③ 一人ひとりでできること、できそうなことを見極め、活躍できる場面をお膳立てをして、見守ったり、一緒に行うなど支援している。</p> <p>A 洗濯物たたみや食事作りの場面などでは、職員がすべてこなしてしまい、特に働きかけなどもみられなかった。また、職員自身ができることまで介助してあげることがよい介護をしているという認識がうかがえた。</p> <p>B ご本人のできることは、なるべく手を出さず見守っているが、時間がかかってくると入居者をせかせてしまいうような場面がみられた。</p> <p>C ホームでは自立支援に取り組んでいるが、さらに細やかな暮らしの場面で、ご本人の力をより発揮できる可能性も見られた。</p>	<p>家事や楽しみごとなど、暮らしの中でなるべく一人一人のできるようなお膳立てや働きかけをして、できたことを感謝したり、一緒に喜ぶなど、ご本人の達成感や自信につなげていってほしい。</p> <p>できること、できそうなことを見極め、暮らしの中での一人ひとりの力量の観察に努め、手や口を極力出さず、入居者の動きや言葉や声に気づいたり待つことを、職員に徹底していくことが求められる。</p> <p>この機会に、入居者一人ひとりのできる力と職員側の係わりのあり方を点検され、ホームがめざす自立支援の質をあげる機会としてほしい。</p>
28	37	〇身体拘束のないケアの実践	<p>① 職員全員が、身体拘束について周知しており、拘束のない暮らしを実践している。</p> <p>② 拘束は一切行われていなかった。</p> <p>③ 周知徹底がなされ、実践されている。</p> <p>A 眠剤を服薬されている方は、ふらつき・転倒予防のためにご家族の承諾を得て夜間のみベッド4点柵をしている。ベッド柵で困みご自身では降りられないようにしていないか、抑圧感を感じさせてしまっているものではないか等、再度点検されたい。</p> <p>B 身体拘束については十分理解しているが、弄ばれてしまおう一人の方は、夜間のみつなぎ服使用している。家族に承諾を頂いている。指定基準では例外的に身体拘束を認めているが、これはごく限られたケースを指しており、やむを得ないと判断されている状況でも、再度検討してみたい。</p>	<p>指定基準では例外的に身体拘束を認めているが、ごく限られたケースを指しており、代替する方法はないのかを真剣に検討するともに、心身の状態を見きわめて、身体拘束を必要としない状態をつくる方向を追求していくことが求められる。</p> <p>夜間のパターンや排便の時間帯を詳しく記録するなど、本当に代替する方法はないのかを再度真剣に検討するともに、心身の状態を見きわめて、身体拘束を必要としない状態をつくる方向を追求していくことに力を注いでほしい。</p>

25	○入居者のベースの尊重	ご本人の希望や状態などにあわせて、柔軟に一人ひとりのペースを保てるよう努力している。	①		
		入居者のペースに合わせた配慮がされており、職員の入居者に対する気遣いも感じられた。入居者中心の生活が展開されていた。	②		
		グループホームの雰囲気、入居者の穏やかな表情から察知することが出来た。	③		
		食事や外出など、職員のペースで日常の暮らしが進みがちで、入居者と一緒に生活を楽しむという余裕が見られなかった。	A	ア	業務をこなすことを優先するのではなく、できるだけ入居者と一緒に過ごす時間をとるなど、入居者のペースの尊重を重視できるように、職員間で話し合い、工夫していった。
		職員数にゆとりが無く、業務をこなすことが優先されてしまい、職員側が決めたスケジュールで対応している面が見受けられた。	B	イ	ローテーションの見直しなどを検討し、ご本人の希望や状態などにあわせて、柔軟に一人ひとりのペースを保てるよう努力してほしい。
		職員が手を出さず、入居者のペースに合わせることの配慮が見受けられなかった。	C	ウ	ご本人の希望や状態などにあわせて、柔軟に一人ひとりのペースを保てるよう、待つことを基本にゆとりと対応が求められる。
26	○入居者の自己決定や希望の表出への支援		①		
		食事の献立の希望、着替え、出かけた後出先等、日々の暮らしの中で、一人ひとりが希望を出したり、選んだりする場面を積極的に作っている。	②		
		入居者の希望を引き出す工夫が1日の暮らしの中の様々な場面で作られている。なお、入居者から希望などサインが出た場合、聞き逃しが無いよう細かな目配り、気配りをしている。	③		
		自己決定を尊重しており、希望や意見を表出できるよう場面作りや言葉かけに配慮をしている。	A	ア	日々の生活の中での希望の表出できる場面を意図的にも作り出し、聞いてほしい。
		職員は、入居者一人ひとりが自分で決めたり希望を表現したりすることを大切に、それらを促す取組を日常的に行っている。(選んでもらう場面を作る、選ぶのを待つ等)	B	イ	献立への参画、買い物に食材を選ぶ等食事に関する希望や選好、出かけた場所の希望を聞き出したり、どちらにしますか、と選んでもらうなど、入居者自らの意見や意思を表出する場面を意図的に作ってほしい。

27	35	〇一人でできることへの配慮	<p>① 職員は、入居者一人ひとりのレベルを見極め、見守ったり、そっと手助けするなど、ご本人の自信と安心にむけて支援している。</p> <p>② ご本人ができること、できそうなことを見極め、あまり手や口を出さず、見守っている。</p> <p>③ 一人ひとりでできること、できそうなことを見極め、活躍できる場面をお膳立てをして、見守ったり、一緒に行うなど支援している。</p> <p>A 洗濯物たたみや食事作りの場面などでは、職員がすべてこなしてしまい、特に働きかけなどもみられなかった。また、職員自身ができることまで介助してあげることがよい介護をしているという認識がうかがえた。</p> <p>B ご本人のできることは、なるべく手を出さず見守っているが、時間がかかってくると入居者をせかせかせてしまいうような場面がみられた。</p> <p>C ホームでは自立支援に取り組んでいるが、さらに細やかな暮らしの場面で、ご本人の力をより発揮できる可能性も見られた。</p>	<p>家事や楽しみごとなど、暮らしの中でなるべく一人一人のできるようなお膳立てや働きかけをして、できたことを感謝したり、一緒に喜ぶなど、ご本人の達成感や自信につなげていってほしい。</p> <p>できること、できそうなことを見極め、暮らしの中での一人ひとりの力量の観察に努め、手や口を極力出さず、入居者の動きや言葉や仲間たり待つことを、職員に徹底していくことが求められる。</p> <p>この機会に、入居者一人ひとりのできる力と職員側の係わりのあり方を点検され、ホームがめざす自立支援の質をあげる機会としてほしい。</p>
28	37	〇身体拘束のないケアの実践	<p>① 職員全員が、身体拘束について周知しており、拘束のない暮らしを実践している。</p> <p>② 拘束は一切行われていなかった。</p> <p>③ 周知徹底がなされ、実践されている。</p> <p>A 眠剤を服薬されている方は、ふらつき・転倒予防のためにご家族の承諾を得て夜間のみベッド4点柵をしている。ベッド柵で困みご自身では降りられないようにしていないか、抑圧感を感じさせてしまっているものではないか等、再度点検されたい。</p> <p>B 身体拘束については十分理解しているが、弄ばれてしまおう一人の方は、夜間のみつなぎ服使用している。家族に承諾を頂いている。指定基準では例外的に身体拘束を認めているが、これはごく限られたケースを指しており、やむを得ないと判断されている状況でも、再度検討してみたい。</p>	<p>指定基準では例外的に身体拘束を認めているが、ごく限られたケースを指しており、代替する方法はないのかを真剣に検討するともに、心身の状態を見きわめて、身体拘束を必要としない状態をつくる方向を追求していくことが求められる。</p> <p>夜間のパターンや排便の時間帯を詳しく記録するなど、本当に代替する方法はないのかを再度真剣に検討するともに、心身の状態を見きわめて、身体拘束を必要としない状態をつくる方向を追求していくことに力を注いでほしい。</p>

31	44	○入居者一人ひとりにあわせて調理方法・盛り付けの工夫	① 個々の入居者にあった食事の量や盛り付けなど食べ易いように工夫される。			
			② 入居者一人ひとりの体調、嚥下状態等にあわせて、刻み食にしたりとろみをつける等工夫されていた。			
			③ 味付けや盛り付けに配慮している。献立に、入居者一人ひとりの希望を採り入れるよう努めている。			
		入居者一人ひとりの咀嚼・嚥下等の身体機能や便秘・下痢等の健康状態にあわせて調理方法とつつ、おいしそうな盛り付けの工夫をしている。	A 施設の厨房で調理したものをホームに運んで来ているので、個々に合った盛り付けなどの工夫がされていないか。最小限、盛り付けなどは、ホーム内でできる工夫を検討してみたい。食事は、栄養補給や食欲を満たすことに限らず、グループホームケアの大切な部分であり、グループホームの暮らしとして、入居者と職員で、献立を考え、買い物に行き食材を選び、一緒に作るような体制が望まれる。	ア	献立、食材選び、調理、作ったものへの味やいたわりの会話等、食事作りには、五感刺激や機能維持、達成感などたくさん要素があり、暮らしの中で大切にしたい事項である。一連をなるべく入居者の力を活かしながら取り組んでほしい。	
			B 屋敷の野菜の具は切り方が大きく、堅めで一部の入居者は食べにくそうで、残しておられた。	イ	入居者の嚥下状態や歯の状態を確認し、とろみを使用したり切り方に工夫するなど、一人ひとりの状態を日々細やかに観察しながらあわせて工夫に努めてほしい。	
32	45	○個別の栄養摂取状況の把握	① 水分や食事の摂取量についてチェックがされており、把握されている。			
			② 献立表からおおよそのカロリー計算をされており、入居者の食べ残し等をチェックし常に記録している。			
			③ 全体の栄養バランスやおおまかなカロリーを把握し、一人ひとりの食事摂取量や水分摂取利用の把握されている。			
		入居者一人ひとりの摂取カロリーや水分摂取量、栄養バランスを、一日全体を通じておおよそ把握している。	A 一人ひとりの食事摂取量や水分摂取利用の把握、管理が不十分で、体重増加が著しい方も見られた。	ア	全体の栄養バランスやおおまかなカロリーを把握し、記録し、体重変化等々照らし合わせ総合的にみていくことが望まれる。特に水分摂取量には留意してほしい。	
			B 糖尿病や心筋梗塞の既往歴を持った入居者がいるが、カロリー制限や塩分制限の必要性などについて知識が不足しており、配慮や工夫が求められる。また、おやつなどにも偏りが見られた。	イ	保健所や提携医療機関等の栄養士に年数回程度チェックや指導、調理方法のアドバイス、献立のアイデアをもらうなど協力をお願いしてみたいかどうか。	

33	47	○食事を楽しむことのできる支援	<p>① 一緒に食事をとることで、和やかな雰囲気があった。さりげない言葉掛けによるサポートもされていた。</p> <p>② 入居者、職員と一緒に食事をしている。職員はサポートが必要な方に、さりげなく隣に座り、なるべく自身で食事ができるように支援していた。また、他の方にも気配り、目配りを細やかにされていた。</p> <p>③ 職員も一緒に食事をし、楽しく会話を交えながらさりげなくサポートも行っていった。</p> <p>A 食事スペースが狭く同じ食卓につけないため、職員は昼食を持参して別の場所食べている。</p> <p>B 入居者の食事中はサポートにまわり、法人全体の就業規則の中でグループホーム職員の食事は休憩時間帯として弁当を別の場所とっている。</p>	<p>一緒に食事をとることで、和やかな雰囲気があった。さりげない言葉掛けによるサポートもされていた。</p> <p>入居者、職員と一緒に食事をしている。職員はサポートが必要な方に、さりげなく隣に座り、なるべく自身で食事ができるように支援していた。また、他の方にも気配り、目配りを細やかにされていた。</p> <p>職員も一緒に食事をし、楽しく会話を交えながらさりげなくサポートも行っていった。</p> <p>食事スペースが狭く同じ食卓につけないため、職員は昼食を持参して別の場所食べている。</p> <p>入居者の食事中はサポートにまわり、法人全体の就業規則の中でグループホーム職員の食事は休憩時間帯として弁当を別の場所とっている。</p>	<p>テーブルを分散するなどスペースの利用の工夫をしてみている。同じものを一緒に食べる意義は大きく、食事のあり方として話し合ってみてほしい。また、ご家族がみえた時に一緒に食事をされることを可能にするためにも検討してみたい。</p> <p>入居者と一緒に食事をすることは業務時間内として理解してもらい、ローテーションを組んでいくように検討してほしい。献立、食事作りから同じものを楽しく食べるといいうグループホームならではの暮らしの場面として、「食事」の意義について法人を交え検討してほしい。</p> <p>介助する、介助される一方というかたちにならないように、一緒に食事を楽しむ雰囲気や関わりの方を職員で検討してほしい。</p>
34	48	○排泄パターンに応じた個別の排泄支援	<p>① 排泄</p> <p>② 排泄パターンに合わせた個別の排泄支援</p> <p>③ 排泄パターンにより把握しており、自立に向けた支援を行っている。</p> <p>A おむつをできる限り使用しないで済むように、入居者一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p> <p>B 深夜トイレ誘導が必要な入居者がいるが、宿直体制では対応しきれないときもある。また、毎日夜勤の当直者が変わるため、深夜の排泄誘導等がスムーズにいかないときがうかがわれる。</p>	<p>それぞれの排泄状況を確認し、記入されている。</p> <p>排泄子エック表や排便子エックがなされており、排泄の自立に向けて支援している。</p> <p>排泄パターンをシートにより把握しており、自立に向けた支援を行っている。</p> <p>入居者がトイレへ行かれた時に排便があったかどうかを確認する程度で、排泄子エックは特になされていない。オムツ使用の方もおられるので、排泄支援に積極的に取り組んでほしい。</p> <p>深夜トイレ誘導が必要な入居者がいるが、宿直体制では対応しきれないときもある。また、毎日夜勤の当直者が変わるため、深夜の排泄誘導等がスムーズにいかないときがうかがわれる。</p>	<p>なお、オムツが取れることの効果は、人としての尊厳の復活につながるもので、今後も自立支援にむけて、きめ細やかな対応が求められる。</p> <p>職員のローテーション等の変更さも察せられるが、夜間も職員が対応できるような職員を配置を検討願いたい。</p>

35	50	○排泄時の不安や羞恥心等への配慮	① 周囲の方にも留意した言葉かけで誘導したり、プライドに十分配慮している。			
			② 他の周りの方にも気を配り、トイレと気付かれないうささりげなく声かけするなど、プライバシー、プライドに配慮している。			
			③ 周囲の方にも気を配り、声に出して促すような場面は見られず、そつと、さりげなく誘導されていた。			
		排泄の誘導・介助や確認、失禁の対応は、不安や羞恥心、プライバシーに配慮して行っている。	A トイレ使用中にドアが開けたままになっていたり、またトイレの中に入っている人がいるのにドアを開けてしまい、お互い気まずい思いをする場面がみられた。	ア	職員の見守りとともに、ハード面での工夫も検討してきてほしい。	
			B 排泄への誘導の声かけが、他の入居者の前で行われていた。また、失禁等の対応に多少、配慮に欠けた誘導がみられた。	イ	誘導の時は、ご本人の不安や羞恥心に十分配慮し、声のかけ方や手際よさに留意されたい。	
		3) 入浴				
36	53	○入居者一人ひとりの希望にあわせた入浴支援	① 一人ひとりがゆったりと気持ちよく入浴できるようきめ細かな支援がなされていた。			
			② 一人ひとりの希望に合わせて、時間帯や回数、入浴時間の長さなど、自由にゆったり入浴できるよう支援している。			
			③ 本人の希望に合わせて入浴を支援している。状態により、入浴できない人には身体を拭くなど支援している。			
			A 週3回入浴日があり、午前中の中の入浴になっている。	ア	一人ひとりの生活習慣を探り、また希望にそえるよう回数、時間帯ともに再度検討してきてほしい。時間帯は、なるべく夕方、努力目標としては夜間入浴も含めて支援できるようローテーション等職員一同で話し合ってきてほしい。	
		入居者一人ひとりの希望にあわせ、くつろいだ入浴ができるように支援している。(時間帯、長さ、回数等)	B 毎日入浴できる環境は作られているが、入浴嫌いな方も多く、週2回程度となっている。	イ	入浴に気が進まない方に対して、時間帯の工夫や言葉かけなど、ご本人の希望をさらに引き出しながら入浴を楽しめる支援に努力されたい。	
			C 体調や希望により、入浴は毎日できる体制になっているが、時間帯は夕方に決められている。	ウ	夜間入浴は、困難な点でもあるが、ご本人の今までの生活習慣や希望にあわせて、ローテーションも含めて前向きな検討に期待したい。	
			希望があればいつでも入浴可能であるが、入居者からの希望はでないとのことで、実際は入浴日や時間が決められている。	エ	痴呆があると積極的に希望は出しにくいので、希望がないと見なせずにこの機会にご本人の希望をしっかりと聞いたり、過去の生活習慣などを把握して時間(なるべく夜間も含めて)や回数を再検討してきてほしい。	

39	5) 睡眠・休息 ○安眠の支援	① 日中の活動を通して、おおよその生活のリズムが作られている。 ② 就寝時間および睡眠パターンがそれぞれ把握されていた。日中の活動を通して、おおよその生活のリズムが作られている。 ③ 一人ひとりの睡眠パターンが把握されている。日中の活動に気を配り、なるべく安眠できるよう支援している。	ア	薬の使用が恒常的になっていないか、量や回数など医師と十分相談しながら投与されているか、再度確認してみたい。また、日中の活動を通して、生活のリズムを作るなど、安眠支援にむけて取り組んでほしい。
		A 夜眠れない方もおられ、半数ぐらいの方が誘眠剤を使用している。	イ	その日の心身の状態、疲労の度合い、希望も含めて一人ひとりにあわせて休息の支援も求められる。
		B 夜よく眠れるように、一律に日中は昼寝をしないようにしている。	ウ	不眠を訴える入居者には、お茶を飲みながら話をゆったり聞くなど、落ち着ける状態になり自然に入眠できるようサポートするなど工夫しながら、安眠支援にむけて取り組んでほしい。
40	(3) 生活支援 ○金銭管理の支援	① 自己管理が可能な方には財布を持ってもらい、困難な方でも買い物時お金を渡し、ご自身で買いたいものを選び、支払ってもらうなど、安心、自信につなげている。 ② 一人ひとりの希望や力量にあわせて支援している。 ③ 入居者の力量にあわせて小銭程度の日常的な金額を管理してもらっている。ご自身で買いたいものを選び、支払ってもらうなど、満足や自信につなげている。使用状況等をさりげなく把握し、見守っている。	ア	お金を持つことの意味について職員で話し合い、個々の金銭管理の力量を仔細に点検し、可能であれば無くなってもよい小銭程度をもってもらうたり、ホームで預かり買いたい物の時に支払ってもらう等、ご家族とも相談して取り組んでみてほしい。
		A 以前は小銭を持っていた方もおられたが、しまい忘れてトラブルが起きてしまい、ほとんどの入居者は所持金を事務所預かっている。	イ	契約上でも金銭の預かりはしないこととなっているが、痴呆の方でもお金を持つことの意味についてご家族とも再度話し合い、個々の力量を仔細に点検し、小銭程度を管理できるよう支援し、自信や活力に繋げてほしい。
		B 現在、金銭管理のできる入居者はいない。またホームでは個人のお小遣いを預かることもない。		

41	66	(4) ホーム内生活拡充支援 ○ ホーム内の役割・楽しみごとの支援	<p>① 掃除、食器洗い、洗濯物たたみ等、ご本人のできることで、得意なことを無理なく行ってもらっている。</p> <p>② 生活経験を配慮しながら得意分野や、楽しみ、役割、活躍できる場面等を見出すような配慮がなされていた。食事作りや裁縫等役割や楽しみごとがさまざまな形でされていた。</p> <p>③ 居室は入居者自身で掃除してもらい、炊事・洗濯は役割分担があり、園芸は入居者の好みに応じて自由にするなど、やりがいや出番を持ってもらっている。</p> <p>A 楽しみごとの場面は用意はされているが、入居者一人ひとりにへのはたらきかけが不十分である。生きがいや達成感をもってもらい、一人ひとりが輝くような場面作りが求められる。</p> <p>B 掃除や畑仕事など生活体験を配慮しながら活躍できるような場面を見出しているが、生活に欠かさない食事について関わる機会が少ないようである。</p>	<p>生活暦やその人の得意なことを見極め、役割や出番の場面作り支援してほしい。個々の趣味や楽しみごとにも積極的に取り組んでほしい。</p> <p>生活経験を配慮しながら得意分野や、楽しみ、役割、活躍できる場面を見出すような支援をしてほしい。また、入居者同士で協力し達成できるような役割などにもとりにくんでほしい。</p>
42	68	(5) 医療機関の受診等の支援 ○ 医療関係者への相談	<p>① かかりつけ医院と連携がしっかりと取れており、気軽に相談したり、診てもらえる。</p> <p>② かかりつけ医でも自由に受診できる体制で、日頃から小さな相談事でも気軽に伝える。</p> <p>③ 提携医療機関等に気軽に相談できる。また、緊急時には対応もスムーズに行える。</p> <p>A 提携医療機関はあるが、連携がうまく図れず、機能できていない。</p> <p>B 週1回の内科・歯科の往診を実施しているが、緊急時に必要な専門病院との連携確保が十分と云えない。</p> <p>C 隣接する協力医療機関(母体)がある。週2回の往診、痴呆専門医の往診もあり連携は良好である。一方で、週2回の往診、痴呆専門医の往診等により、医療費の自己負担が多くなっていることがうかがわれる。</p>	<p>バックアップ機関として協力医療機関は、痴呆ケアやグループホームをよく知っており、緊急時対応や入院等において協力を得られるよう確保していくことが求められる。十分話し合われたい。</p> <p>痴呆があるお年寄りの患者に理解のある専門病院または医療関係者とのネットワークを構築してほしい。</p> <p>全員の方が週1～2回の往診が本当に必要か、医師と十分相談され、また医療費の自己負担が過重になっていないか、ご家族とも十分話し合ってみてほしい。</p>

43	73	○ 早期退院に向けた医療機関との連携	① 早期退院にむけた連絡を密に図る体制ができている。			
			② 入院時は随時様子をうかがいがいい行き、早期退院にむけて医療機関と連携を密にしている。			
			③ 家族の希望を聞きながら、病院との連携を図り早期退院に向けた働きかけがなされている。			
			A 入院時の医療機関との連携は取れているものの、退院に向けての話し合いなど、具体的な取り組みはされていない。	ア	入院の目的を早く達成してもらえよう働きかけ、混乱が少ないようできるようご本人の情報を伝え、ご家族と協働しながら、三者一体となって退院計画を具体的に立案していく体制を検討してほしい。	
			B 開設以来入院した方が無く、特に体制は組んでいない。入院が長引くことは、何よりもご本人のダメージが大きく、ご家族にとっても金銭の負担等も増大し、またホームの経営面にも及んでくる。	イ	ご本人のホームでのいきいきとした暮らしを1日も早く取り戻して行くために、早期退院に向けた取り組みが行える体制を構築してほしい。	
			C 契約の退居要件として、入院期間が7日間を経過すると退居となっており、早期退院に向けた具体的なホーム側の支援体制は考察されていない。	ウ	項目No.3の入居者の権利やNo.59の退居支援とも連動するが、安心して入院できる環境が根底に求められるとともに、その基盤の上で早期退院に向けた取り組みについて具体化してほしい。	
44	74	○ 定期健康診断の支援	① 年1回の定期健康診断受診のほか、必要に応じ受診、検診がなされている。			
			② 個々の状態に合わせて、定期的に健診を実施している。			
			③ 年に1回、定期健康診断を受診している。日常的には主治医の往診等により健康管理をしている。			
			A 課題があれば、対応するという適宜の対応になっており、定期的に健康診断は行われていない。	ア	老人保健制度に基づく基本健康診査の利用等を積極的に行い、確実に健診を受けられるように支援していくことが求められる。また、定期健診未受診の方には、日頃の検診などで、必要に応じた健診内容を補ってほしい。	
			B ご家族とご本人の関係性を大切に、健康状態を把握して頂く機会として、原則として、健康診断や日頃の受診は、ご家族によって行われている。受診の日や結果は把握し、書類としてファイルされている。ご家族が困難な方には、ホーム側で支援している。	イ	ご家族による健診を原則としてしまわずに、ご家族と相談しながら、ホームとして早期発見、予防のために定期健診を受けられるよう支援を行ってほしい。	

45	(6)心身の機能回復に向けた支援 ○身体機能の維持	① 日常的な買い物や散歩、家事など日常生活の中で楽しみながら身体機能の維持・向上に取り組んでいる。 ② 買い物、散歩など、日常生活の中で楽しみながら機能低下の抑止に努めている。 ③ 室内の家具の配置、手すりのつけ方等、機能維持を最大関心事として日常生活の中でさりげなくされている。	ア	日常生活の中で、一人ひとりの楽しみごとや役割などとあわせて、身体機能の維持、向上を図れるような取り組みが求められる。
		A 立地条件等により、買物や散歩など外に出かける機会が少なく、また、入居者によっては、動くことへの意欲低下もあり、ホームの具体的な支援や働きかけが見受けられない。 B 協力医療機関でのリハビリテーション等やデザイナーズでのレクリエーション活動や創作活動などによる身体機能の維持、向上は行なっているが、暮らしの中で、楽しみながら身体を動かす取り組みはなされていく。	イ	町の中で、痴呆であっても普通に暮らすということが痴呆の進行をなるべく押さえ、身体機能の維持につながることを職員一同で話してきてほしい。
46	(7)入居者同士の交流支援 ○トラブルへの対応	① お互いのダメージにならないように、職員が十分気を配り適切に対応している。 ② 一緒に生活する以上トラブルは時々起こるが、トラブルが生じた際は双方に職員が言い分をよく聞き、他の入居者への影響を極力避けるようにしている。 ③ 時に起こる入居者同士のトラブルは、双方の話を聞くなど職員の適切な介入や対応にて解消できている。	ウ	個別の馴染んだ暮らし方をこの機会に再度よく振り返って、暮らしの中でご本人の身体機能の維持、向上につながる場面をさらに作れないか見きわめて、支援していかれることを期待したい。
76		A 言葉のいさかいが度々ある。職員によっては、事態を悪化させずに回避したり、じょうずにたまたたりすることもあるが、時期を逸してお互いの溝を深めてしまうこともある。	ア	職員全員で十分話し合い、個々の性格や特徴をとらえ、双方にとってトラブルとなる原因やケースを探り、トラブルが生じそうな場合は、場面を変えたり、もし起きてしまった時には、素早く仲を取りもつような機微を会得していくことが望まれる。
			イ	相性もあり、一緒に生活する以上トラブルが生じることはあり得るが、トラブルが生じた際は双方に職員が言い分をよく聞き、本人同士はもとより、他の入居者への影響を極力避けるようにして欲しい。

47	(8)健康管理	○口腔内の清潔保持	① ②	<p>① 毎食後、口腔ケアを支援するよう取り組まれている。</p> <p>② 入居者の実情に合わせて行われている。義歯の手入れも十分に行われていた。</p>				
		入居者の力を引き出しながら、口の中の汚れや臭いが生じないように、口腔の清潔を日常的に支援している。 (歯磨き・入れ歯の手入れ・うがい等の支援、出血や炎症のチェック等)	A	朝、晩および必要に応じて口腔ケアを実施しているとのことであるが、訪問調査時の屋食後のうがいや歯みがきが行われていないかった。	ア	食後の口腔ケアは必要な方には個々の状況に応じて行われているが、できることなら全員の方に毎食後、うがい程度でも口すきをしてもらうことが望まれる。		
			B	洗面所は各部屋にあり、口腔ケアは入居者各自にまかせていた。	イ	痴呆のお年寄りにとって、口腔ケアは留意してもらいたい点であり、毎日きちんと歯磨き・歯の手入れ・うがいをするよう職員が見守り、確認してほしい。		
48		○服薬の支援	① ② ③	<p>① 職員は一人ひとりの服薬内容を処方箋により確認しており、服薬状況を把握している。保管場所も適切である。</p> <p>② 個々の薬の目的を職員は周知しており、正しく服薬できるよう支援している。薬が代わった時など、特に副作用等の把握は慎重にしている。</p> <p>③ 職員は一人ひとりの服薬内容を確認し、服薬状況を把握している。</p>				
		職員は、入居者が使用する薬の目的や副作用、用法や用量を承知しており、入居者一人ひとりが医師の指示どおりに服薬できるよう支援し、症状の変化を確認している。	A	薬剤情報のファイルはあるが、職員は、入居者一人ひとりの薬の目的や副作用についての把握は十分になされていない。	ア	提携医療機関等の協力により、全職員が、薬の目的や副作用等について把握されるよう、勉強会を継続的に実施していくことが望まれる。		
			B	処方された薬の説明書に基づき、服薬管理や確認は行われているが、医師や看護師に任せ、職員個々が、薬による変化に気を配ることがない。	イ	職員個々が、薬の目的や副作用等について把握していくとともに、服薬の確認、体調の変化なども記録として残していくしてほしい。		

49	85	○緊急時の手当	<p>① 救急救命のための講習会への出席などで応急手当の学習がされた。</p> <p>② 応急処置は職員全員ができるように研修している。</p> <p>③ 緊急対応マニュアルを整備しており、いざというときに慌てず対応できるように、継続的かつ恒常的に実技を伴う研修を受講している。</p> <p>A 職員は特に、応急手当の研修は受けておらず、処置は出来ないなどのことであった。また、緊急時の通報・対応マニュアルはあるが、入居者が急変された時の応急手当のマニュアルが整備されていない。</p> <p>B 新人の職員の中では緊急時の手当でが未習熟である。また、近くに老健、クリニックがあり、職員の意識はそこに頼りがちになっている。</p> <p>C マニュアルに基づき、勉強会は行っているが、実技を伴う具体的な研修は実施されておらず、いざという時に対応できるか、職員は不安をもっている。</p> <p>① 感染症に関する取り決めがなされており、インフルエンザなど予防注射をしている。</p> <p>② 感染症に関するマニュアルがあり、それに基づき予防や対応がなされている。</p> <p>③ 感染症について取り決めがなされており、研修も実施している。</p> <p>A 提携病院に相談し指示を受け、対応しているが、特に取り決めはなくマニュアル等は作成されていない。</p> <p>B 感染症予防対策の本等を備えており、インフルエンザの予防接種や手洗いやうがいを励行しているが、ホームでの各種の感染症に関する具体的な対応までの取り決めはなされていない。</p>	<p>ア 救急車や母体施設の看護師等が駆けつけける間の応急手当のマニュアルの作成とともに、救急救命法等の実技を伴う講習を定期的かつ継続的に受講されることが望まれる。</p> <p>イ 職員の意識改革と実技を伴った定期的な研修に取り組みしてほしい。</p> <p>ウ 職員個々の力量アップのためにも、医療機関や消防署の協力によりホーム職員全員が緊急時に対応できるよう定期的かつ継続的な実技を含めた研修に取り組みしてほしい。</p> <p>ア 感染症全般におけるマニュアルを作成され、それに基づいた学習を定期的に実施してほしい。</p> <p>イ この機会にホーム内での対応までのとり決めを確認しておかれることが望まれる。</p>
50	86	○感染症対策	<p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している。(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA等)</p>	<p>ア 感染症全般におけるマニュアルを作成され、それに基づいた学習を定期的に実施してほしい。</p> <p>イ この機会にホーム内での対応までのとり決めを確認しておかれることが望まれる。</p>

IV 運営体制		1. 事業の統合性	
53	96	○責任者の協働	
		① 法人代表者、管理者は理念のもとに、それぞれの立場でケアサービスの質の向上にむけて熱心に取り組んでいる。	
		② グループホームの質向上を目指して、協働している。	
		③ ホーム長は過剰な気負いもなく、良く現場を理解され、職員と共に運営されていると感じた。法人代表者にはきちんと報告しており、協力体制がきちんとあることがうかがえる。	
	A	管理者は、ケアサービスの向上に熱意をもっているが、法人全体のうちのグループホームの意義が理解、浸透されておらず、法人代表者は具体的にグループホームの現場と一丸となって取り組んでいく姿が見受けられなかった。	法人代表と管理者は、理念のもとに協力し合いケアサービスの向上に取り組んでいくことが期待される。
	B	法人代表者が管理者であり、ケアサービスの向上に熱意を持ち意欲的に取り組んでいる。一生懸命さは伝わるが、職員チームを育てながら一丸となってケアに取り組む体制について再度検討が求められる。	自己評価について職員全員で取り組み、日頃一生懸命提供しているケアを項目にそって振り返ってみたり、理解の確認や今後のケアに活かしていく機会としてとらえ、チーム全体でケアサービスの質の向上を図っていく体制を構築してほしい。
	C	管理者の思いはうかがえるが、自己評価については、判断した根拠や理由の記載がほとんどなく、ケアサービスの向上に向けた機会として活かし切れていないなど、積極的な取り組みにまで至っていない。	
54	97	○職員の意見の反映	
		① 職員は、自由に意見を言える雰囲気を作られており、意見が反映されている。	
		② チームケアに取り組んでいくためにも、運営方法や入居、職員採用等について、職員の意見をよく聞き、話し合うなど、民主的な運営がなされている。	
		③ 情報交換や、ケース会議の開催などを通して、現場職員の考えや意見を聞いており、反映させている。	
	A	入居者の受け入れや運営方針については、職員の意見を十分に聞き、反映しているが、職員採用は法人本部で一括して行っている。	グループホームではチームケアが非常に重要な鍵になるので、入居者や職員との相性も含めて当該ホームに適した職員かどうか、採用前に現場の意見を聞いていくことが求められる。
	B	入居者決定は、法人入居判定委員会等に委ねられており、管理者はそこに参加しているが、具体的に現場職員の声が反映できていない。	少人数の職員が一丸となってチームケアに取り組んでいくためには、日々入居者に接する現場職員の声が反映される仕組みが求められる。チームを育てていくためにも、職員の意見を聞き、話し合う機会が望まれる。

55	2. 職員の確保・育成 ○入居者の状態に応じた職員の確保	① 入居者の状態にあわせたローターションが組まれている。 ② 入居者一人ひとりの1日を通じた状態を把握し、人員配置を強化する等、策を立てている。 ③ 起床時や就寝時、入浴など入居者の状態やペースにあわせた職員のローターションが組まれている。	ア	職員の入れ替わりは入居者にとっては環境が変わる事であり、入居者、ご家族に与えるハンディが大きい事を管理者は理解され、きめ細やかなケアを継続する面でも、グループホームにあった人の採用や勤務体制やストレス解消など、一連について検討してみたい。
	入居者の状態や生活の流れを支援するために、これに即した職員の勤務ローターションを組んでいる。	A 開設以来、職員の退職、異動が頻回である。入居者の一日の流れを通じた継続したケアを保障していくためにも、離職理由等を再度勘案し、定着を図ってほしい。 B 入居者の状態にあわせたローターションが組まれているが、一方、職員の法人内の異動等交替が多くみられ、入居者はもとより、ご家族にとっても馴染みの関係がづくりにくい。居者にとって馴染みの関係が重要であるグループホームケアとして、検討が求められる。 C 法人母体施設の職員がグループホームとの兼務となっている職員が多く、夜間についても兼務職員がローターションに組み入れられている。	イ ウ	入居者と馴染みの関係は、ご本人やご家族にとっても安心につながる。一人ひとりの生活歴や特徴などふまえたきめ細やかなケアを継続する面でも、再点検し、異動を少なくする検討が望まれる。 夜間とはいえ入居者と接する場面もあり、兼務職員が入居者の日々の状態を十分に把握し、対応について入居者はもとより、職員にも不安がないか、再検討してみたい。
56	○継続的な研修の受講	① 積極的に研修を受講しやすい環境づくりをしている。 ② 段階毎の研修ならびに、研修後の報告による内容共有等がなされている。 A 研修を受講するよう努めているが、全職員が段階に応じた研修に、順次参加できているとは言い難い。 B 法人内研修、外部の研修に積極的に参加している。研修内容の職員の共有化に勤めているが、勤務体制がまちまちで必ずしも徹底しきれない。 C 採用時研修を行っているが、外部研修は管理者等に限られており、全職員個々が研修に参加する機会はほとんどない。	ア イ ウ	年間計画をたてて、順次受講できるよう取り組んでほしい。なお、県内のグループホームネットワークによる研修や交流にも積極的に参加できるような工夫されたい。 受講後の報告は記入しやすいよう様式等用意し、回覧したり、短時間でも報告ミーティングを行うなど、貴重な経験を共有できるように取り組みに期待したい。 県内のグループホームネットワークなどによる研修や交流にも積極的に参加できるように検討されてはどうか。

57	105	○ストレスの解消策の実施	<p>① 親睦会や職員で話し合うことも多く、ストレスがたまらないような環境づくりがなされている。</p> <p>② 定期的な上司に相談したり話をする機会を作り、気持ちのリフレッシュとストレス解消に役立っている。</p> <p>A 特にストレス解消に対する策は講じていない。</p> <p>B 職員同士のチームワークもよく、職員が相談できる機会も多い。しかし、休憩場所はあるが実際そこで休息を取ることはなく、職員も入居者と一緒にくつろぎ、休むことで済ませている。</p>	<p>職員同士の親睦会を開催したり、定期的に管理者等が悩みを聴く機会を設けたり、他のグループホームの職員との情報交換や交流などの取り組みも期待される。</p> <p>時にはお年寄りと一緒に離れて一息入れる時間、場所について、この機会に職員一同で話し合ってみてはどうか。</p>
58	107	3. 入居時及び退居時の対応方針	<p>○入居者の決定のための検討</p> <p>グループホームに適した入居対象者であるか、十分に検討している。(介護保険被保険者証、診断書、入居申請に至る経過、生活や対人関係、入居者・家族の希望等)</p>	<p>事前の説明も十分され、ご本人、ご家族の意向を把握して入居決定に至っている。</p> <p>新入居者は現入居者や生活全体にたいへん影響があるため、ホームに入居人かどうか十分検討している。なお、入居にあたってはご本人、ご家族へのオリエンテーションを慎重かつ十分に行っている。</p> <p>入居決定時には、ご家族等とじっくり話し合い、ご本人の状態や希望などを聞くとともに入居決定を検討している。</p> <p>A ケアマネージャーやご家族と話し合いのうえ入居を決定しているが、入居後、すぐに心身の状態が悪化したり、ホーム内での暮らしがご本人に合わなかったなど入居期間が短い方が多い。</p> <p>B 法人内の入居判定委員会において審査しており、グループホームでの暮らしについてご家族やご本人との十分な話し合いがなされず、一時的な入居として捉えられているケースも見受けられた。</p>
58	107	○入居者の決定のための検討	<p>① 事前の説明も十分され、ご本人、ご家族の意向を把握して入居決定に至っている。</p> <p>② 新入居者は現入居者や生活全体にたいへん影響があるため、ホームに入居人かどうか十分検討している。なお、入居にあたってはご本人、ご家族へのオリエンテーションを慎重かつ十分に行っている。</p> <p>③ 入居決定時には、ご家族等とじっくり話し合い、ご本人の状態や希望などを聞くとともに入居決定を検討している。</p> <p>A ケアマネージャーやご家族と話し合いのうえ入居を決定しているが、入居後、すぐに心身の状態が悪化したり、ホーム内での暮らしがご本人に合わなかったなど入居期間が短い方が多い。</p> <p>B 法人内の入居判定委員会において審査しており、グループホームでの暮らしについてご家族やご本人との十分な話し合いがなされず、一時的な入居として捉えられているケースも見受けられた。</p>	<p>事前の説明も十分され、ご本人、ご家族の意向を把握して入居決定に至っている。</p> <p>新入居者は現入居者や生活全体にたいへん影響があるため、ホームに入居人かどうか十分検討している。なお、入居にあたってはご本人、ご家族へのオリエンテーションを慎重かつ十分に行っている。</p> <p>入居決定時には、ご家族等とじっくり話し合い、ご本人の状態や希望などを聞くとともに入居決定を検討している。</p> <p>A ケアマネージャーやご家族と話し合いのうえ入居を決定しているが、入居後、すぐに心身の状態が悪化したり、ホーム内での暮らしがご本人に合わなかったなど入居期間が短い方が多い。</p> <p>B 法人内の入居判定委員会において審査しており、グループホームでの暮らしについてご家族やご本人との十分な話し合いがなされず、一時的な入居として捉えられているケースも見受けられた。</p>

59	109	○退居の支援	① ② ③	<p>① 状態が悪化したり重度化、要支援になった時など、ご家族、本人と十分話し合い、納得のいく退居先への支援が行われている。</p> <p>② 退居にあたってはご家族と十分話し合っている。納得のいく退居先への移り住むことのダメージがなるべく少なく済むよう細やかな支援をしている。</p> <p>③ 利用者にとって、何が幸せかを常に考えて一番良いと思われる状況を考えている。ご家族とも十分話し合い、納得をいただいている。</p>			
		退居は、契約に基づくとともにその決定過程が明確である。また、入居者や家族に十分な説明を行った上で、納得のいく退居先に移れるように支援している。退居事例がない場合は、その体制がある。	A	契約書に明示しており、ご家族と話し合いのうえ移行先を紹介、支援しているが、実際開設以来退居者が多数にのぼっている。	ア	痴呆のお年寄りにとって移り住む事へのダメージ等を鑑み、もちろんケースによるがホームの方針として、どの程度の状態までホームで暮らせるのか、今後ますます重度化していく入居者像もふまえて、職員チームで再度話し合いが望まれる。	
			B	契約書に明示しており、ご家族と話し合いのうえ移行先を紹介、支援しているが、ご家族の中には、いつまで、どのような状態までホームでの楽しい暮らしが出来るのか、不安を持たれている方も少なくないのではないか。	イ	ご家族に対しても、今までの支援方策など具体的な事例をあげて、話し合ってみてほしい。さらに、今後の重度化や終末ケアについて、ご本人、ご家族の希望を把握するとともに協働していく体制についてもこの機会に話し合ってみてはどうか。	
		4. 衛生・安全管理					
60	112	○ホーム内の衛生管理	① ②	<p>① ホーム内は衛生、清潔保持に気を配っており、しっかり管理している。</p> <p>② 台所、トイレ、浴室など衛生的に整えられている。</p>			
		ホーム内の清潔や衛生を保持している。(食品、布巾、包丁、まな板、冷蔵庫、洗濯機等)	A	共用部分の清潔、衛生管理には注意を払っているが、入居者個々の居室については、プライバシーもあり、入居者やご家族に任せている面が見受けられる。	ア	さりげなく状態を把握し、入居者の力を引き出しながら、一緒に掃除をしたり、整理をするなど、居室の衛生についても支援していくことが求められる。	
			B		イ		

61	114	○注意の必要な物品の保管・管理	① 適切に保管・管理されている。			
		薬や洗剤、刃物等の注意の必要な物品については、保管場所、管理方法を明確に取り決め、かつ、そのとおりに実行している。	② 薬や洗剤等の注意が必要な物品の保管について配慮がしっかりとなされている。			
62	116	○事故の報告書と活用	A	十分留意はしているが、取り決めや特段の配慮はなされていない。	ア	今まで事故が起きていなくても、誤飲などの事故に繋がる恐れがあるので、注意が必要な物品の管理については、取り決めとその徹底を図っていくことが求められる。
			B	薬や漂白剤等の注意が必要な物品の保管について、特に配慮はなされていない。薬の保管場所は直営であり、誰でもが手の届くところに置いてあり、保管場所や管理の方法について再度検討してほしい。	イ	今まで事故がなくても、可能性が全く無いわけではなく、十分な注意が求められる。
			①	事故記録は作成されている。なお、事故の再発防止対策にむけて職員間の話し合いを重ねている。安全で自由な暮らしをおくれるよう職員一同で取り組まれている。		
			②	事故報告書を作成し、サービスの改善にむけて話し合いをするように取り組んでいる。		
			A	今まで、事故がなかったため、事故報告書の整備はなされていない。	ア	事故報告書の整備と共に、ヒヤリ、ハット記録を活用するなど、再発防止にむけた話し合いに取り組んでほしい。
			B	事故報告書様式が整備されておらず、今までに転倒事故一件あったが、特に再発防止策は講じられてはいない。	イ	不可抗力で事故との認識がなかったようだが、責任所在ではなく再発防止のために、きちんと検証し、職員同士で徹底した話し合いを行い、記録していくことが求められる。

63	5. 情報の開示・提供 ○調査等の訪問に対する対応	① 調査時は積極的に情報の提供があった。 ② 書類の提供、責任者の対応、職員の対応など十分かつ適切にされていた。 ③ 誠実にケア改善に役立つことは受け入れようとの姿勢が感じられ、協力的であった。 A 外部評価に向けた資料提供が滞り、情報開示に向けた積極的な備えが見られなかった。 B 情報開示が求められている内容や書類と、守秘義務に関する内容、書類に混同が見受けられた。	ア イ	制度的にも開示が求められている書類については、常に情報提供できるよう整理しておかれない。 職員一同で、これらについて認識を統一できるようホーム内で再度学習されたい。
64	6. 相談・苦情への対応 ○相談・苦情受付の明示	① 重要事項説明書に明記、家族に説明している。 ② 相談、苦情受付窓口を決めてあり、契約時には入居者・家族に説明している。 A ご家族との信頼関係が構築されており、現段階ではご家族が何でも相談されているので、相談窓口としての利用はないが、よくしてもらっているからこそ、遠慮される心情をはかり、今後においても相談してもらえるよう、制度として明確にし、繰り返し伝える努力はし続けてほしい。 B 相談、苦情受付窓口を決めてあり、契約時には入居者・家族に説明しているが、繰り返し利用方法について説明はされおらず、ほとんど利用されていない。大きな苦情ではなくても、気軽に要望を伝えられるよう№65とあわせて検討してみしてほしい。	ア イ ウ	第三者の相談窓口なども積極的に取り組んでほしい。 窓口が形骸化していないか、今までの苦情・相談の事例を検討し、ご家族が言いやすいのかどうか検討されたい。さらに、この機会に家族会を開催したり、そこに第三者を交えるなど工夫してみしてほしい。 なお、この機会に家族会を発足する等ご家族に相談され取り組まれてはどうか。第三者が相談に入る等の取り組みも期待したい。

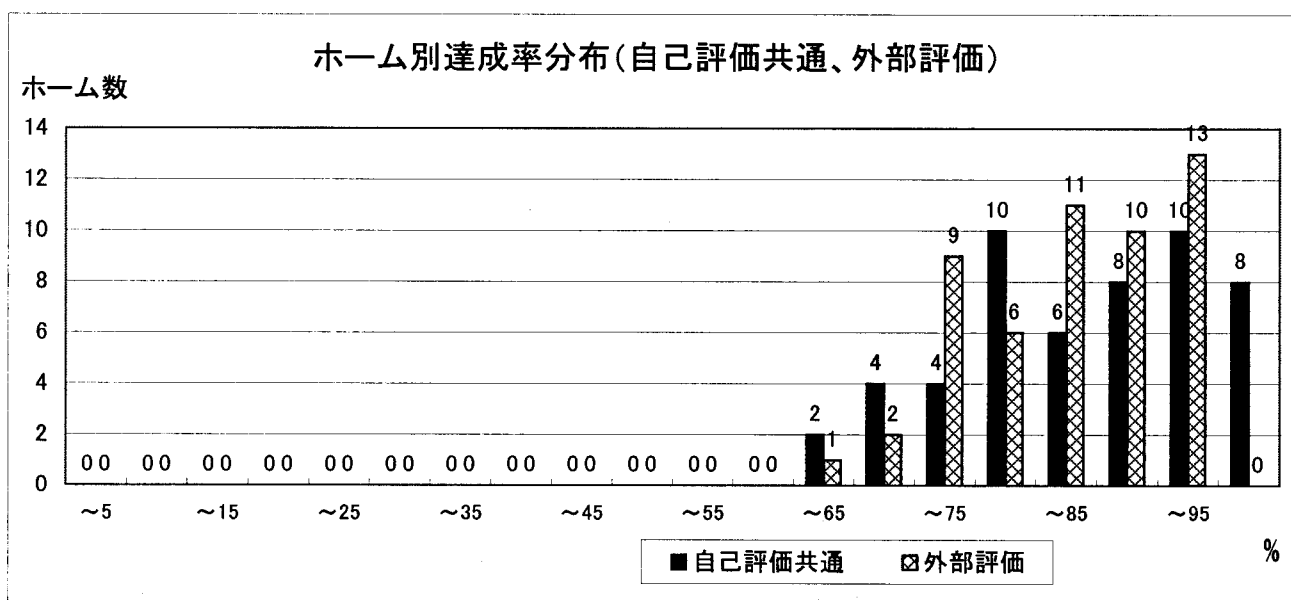
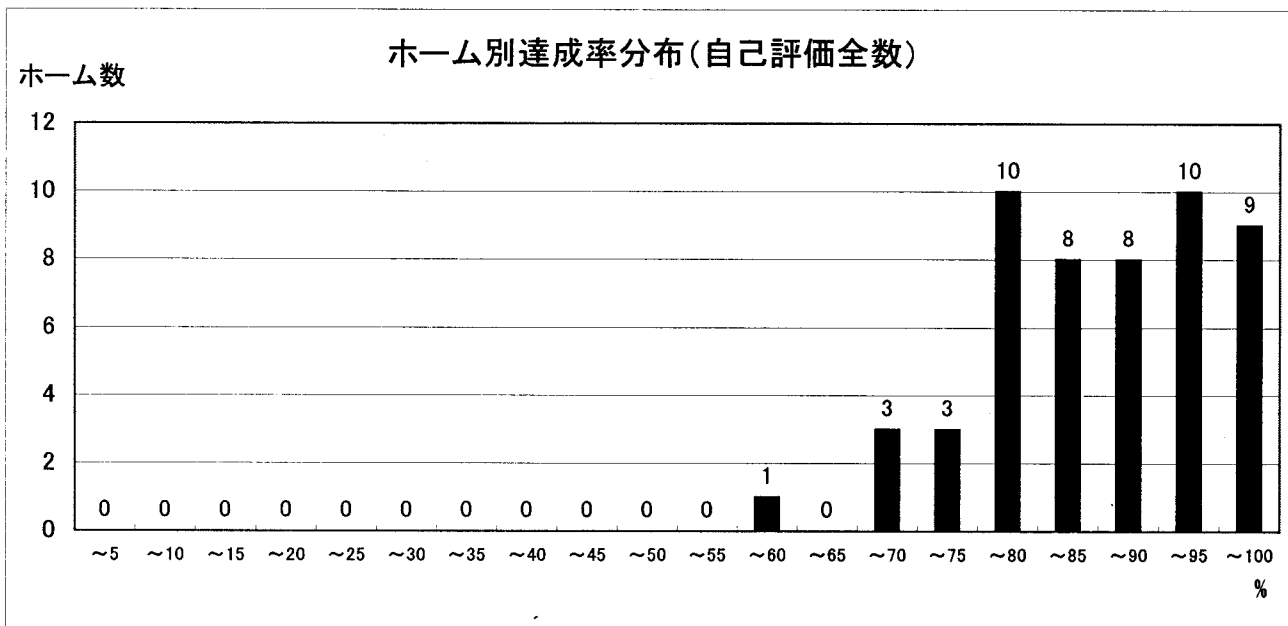
67	126	○入居者の金銭管理	<p>① 個別出納簿があり、しっかり管理されている。</p> <p>② 金銭出納帳により管理し、領収書等を添えご家族に報告している。</p> <p>A 買い物、事前事後報告など細やかにご家族に報告し、個人個人きちんとごつがい帳が付けられレシートが貼られ、管理はできているが、帳簿のコピーなどを添えたご家族への定期的な報告のルールが決まっていない。</p> <p>B 原則として金銭管理はしていない。</p> <p>ウ 金銭の面は、ご家族もたいへん気になることである一方、言いにくい点でもあるので、ホーム側から意見をうかがう機会を繰り返し、忌憚なく話し合えるよう図っていくことが望まれる。</p>	<p>ア 付けているごつがい帳を月別で締めて定期的に家族に報告できる方法を検討してほしい。</p> <p>イ 入居者に代わって買い物をして家族に請求することなどもあるのので、何らかの形で取り決めをしておくことが望ましい。</p>
68	127	8. ホームと地域との交流 ○市町村との関わり	<p>① 行政との連絡を密に取り、痴呆ケアの向上にむけて協働している。</p> <p>② 老人各施設の講演会、教室など、ホームも共催している。</p> <p>A 母体施設の在宅介護支援センター等で行っており、グループホームとしては特に積極的には行っていない。</p> <p>B 市町村事業の要請はなく、特に、グループホーム側から受託について働きかけは行っていない。また、特にホームの関係を密に指定</p>	<p>ア 市の役割として、グループホームの理解や活用が求められており、地域の痴呆ケア向上のためにも、市と積極的に連携を図ってほしい。</p> <p>イ 当グループホームでも市町村との生の情報が共有していただけるよう連携が図られていくことを期待したい。</p>

69	130	○地域の人間との交流の促進	町内会に加入するなど、地域の行事参加し一緒に楽しんでいる。近隣の人たちから声をかけてもらったり交流がはかられている。	①	町内会に加入するなど、地域の行事参加し一緒に楽しんでいる。近隣の人たちから声をかけてもらったり交流がはかられている。				
			野菜など届けて下さったり、地域での見守りをしてきている。	②	野菜など届けて下さったり、地域での見守りをしてきている。				
			地域の小・中学校との交流はしているが、ホームの立地条件等により、地域の方々が気軽に立ち寄ってくれたりすることは少ない。ホーム側からの地域に向けた積極的な働きかけはあまりなされていない。	A	地域の小・中学校との交流はしているが、ホームの立地条件等により、地域の方々が気軽に立ち寄ってくれたりすることは少ない。ホーム側からの地域に向けた積極的な働きかけはあまりなされていない。				自治会や老人会との交流、日頃の挨拶、行事への参加を呼びかけるなど、関係性を構築していった。
			ホーム側では取り組んでいるが、また、地域の人連にあまり理解されていない。	B	ホーム側では取り組んでいるが、また、地域の人連にあまり理解されていない。				地域性も上ががえるが、自治会や老人会、学校等との連携をはじめ、時間をかけて少しずつでも地域交流への取り組みを期待したい。
70	132	○周辺施設等の理解・協力への働きかけ		①	周辺地域に対して積極的に理解、協力を求めてきており、周知が図られている。				
			町会に加盟し日常の食材等は近隣商店から購入しており、日常的なお付き合いを丁寧に行っている。	②	町会に加盟し日常の食材等は近隣商店から購入しており、日常的なお付き合いを丁寧に行っている。				
			警察、消防など周辺施設への働きかけを行っている。また、近隣の人たちに協力依頼している。	③	警察、消防など周辺施設への働きかけを行っている。また、近隣の人たちに協力依頼している。				
			入居者の生活の安定や拡がりのために、周辺地域の諸施設から協力を得ることができるよう、理解を拡げる働きかけを行っている。(商店、福祉施設、警察、消防、文化教育施設等)	A	特に働きかけを積極的にには行っていないので、ご本人の生活拡充のためにも、時間をかけてさらなる取り組みが期待される。				警察署、消防署などへの協力依頼や文化施設の利用など積極的に取り組んでほしい。
71	133	○ホーム機能の地域への還元		B	近所に諸施設がないため環境的に難しく、まだ設立後年月が浅いため、具体的な取り組みがなされていない。				ご本人の生活拡充のためにも商店やレストラン、警察、消防署等地域資源への理解、協力を得られるよう働きかけを積極的に取り組んでいくことが望まれる。
			地域の介護相談やボランティアや見学の受け入れを積極的に行っている。	①	地域の介護相談やボランティアや見学の受け入れを積極的に行っている。				
			入居者に配慮しながら、実習生やボランティアの方を積極的に受け入れ、ホームを開放している。	②	入居者に配慮しながら、実習生やボランティアの方を積極的に受け入れ、ホームを開放している。				
			ホームの機能を、入居者のケアに配慮しつつ地域に開放している。(痴呆の理解や関わり方についての相談対応・教室の開催、家族・ボランティア等の見学の受け入れ等)	A	母体施設で行っているため、特にグループホームでは積極的な取り組みはなされていない。				地域の痴呆ケア向上のためにも、ボランティアの受け入れや小学生の体験学習等、グループホーム独自の専門性を活かしながら入居者の状況に十分配慮して取り組んでいくことが期待される。
				B	ボランティア・家族・見学者の受け入れ等を特に行っていない。ホーム機能を地域に還元するまでにはなっていないので、今後のさらなる取り組みに期待したい。				痴呆ケアの相談の研修や啓発の場に出ていたり、入居者に十分配慮しながら外部者を受け入れるなど、グループホームの特性を有効に活用するなど積極的にアピールし、公的サービスの事業者として地域へ還元していった。

データマップ

道府県別ホーム別達成率ヒストグラム
道府県別項目達成率（上位5項目、下位5項目）

【北海道】 (N=52GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	98.01%	55.97%	84.45%
自己評価共通	98.59%	60.56%	83.78%
外部評価	94.37%	61.97%	82.18%

【北海道】
上位5項目

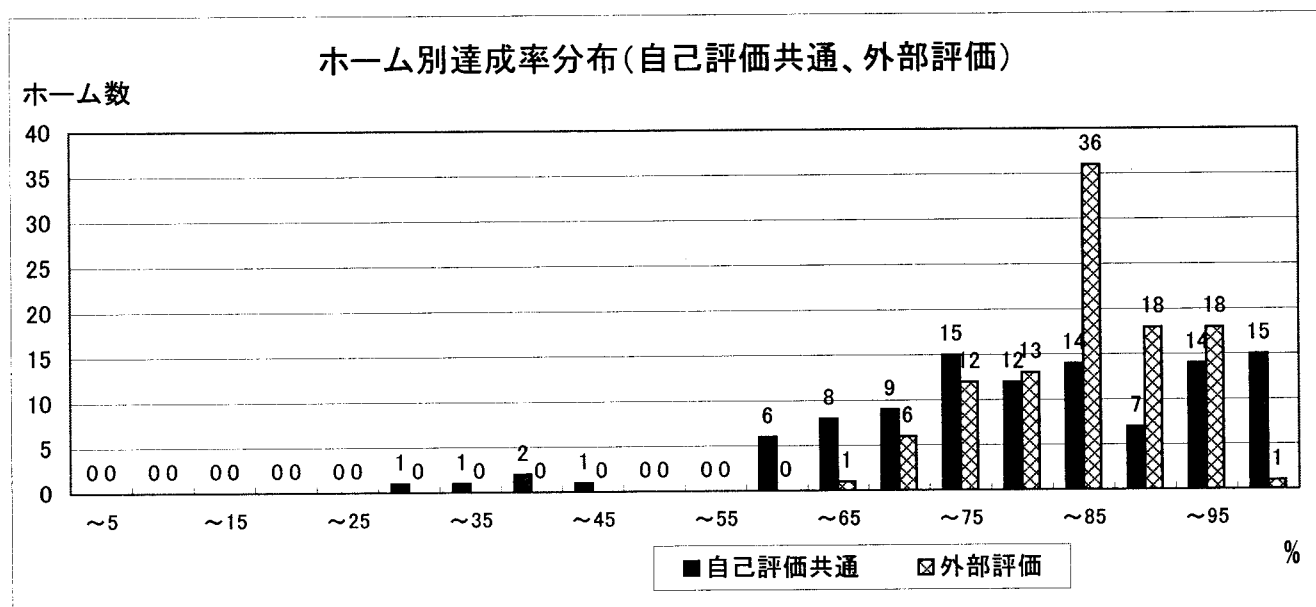
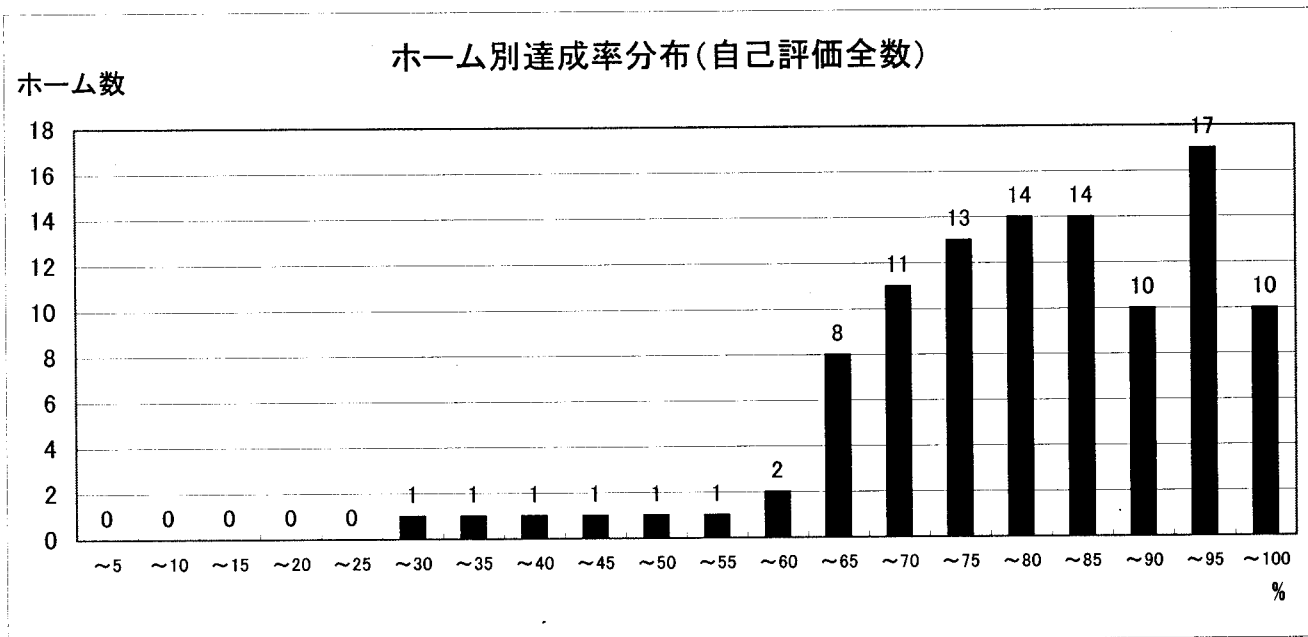
(N=52GH=87ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
52	入浴可否の見極め	100.0%	44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	98.9%	28	拘束のないケアの実践	100.0%
61	休息の支援	100.0%	118	調査等の訪問に対する対応	98.9%	34	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	100.0%
113	ごみの処分	100.0%	56	理美容院の利用支援	97.7%	63	調査等の訪問に対する対応	100.0%
34	自信の回復	98.9%	78	トラブルへの対応	97.7%	35	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	98.1%
36	共に支えあう場面づくり	98.9%	43	馴染みの食器の使用	96.6%	42	医療関係者への相談	98.1%
44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	98.9%	68	医療関係者への相談	96.6%			
69	希望する医療機関での受診	98.9%	114	注意の必要な物品の保管・管理	96.6%			
81	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	98.9%						
108	料金の内訳の明示と説明	98.9%						
118	調査等の訪問に対する対応	98.9%						

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	36.8%	127	市町村との関わり	36.8%	68	市町村との関わり	15.4%
125	家族同士の交流促進	46.0%	85	緊急時の手当	50.6%	56	継続的な研修の受講	46.2%
120	第三者への相談機会の確保	49.4%	5	運営理念の啓発	52.9%	69	地域の人達との交流の促進	46.2%
85	緊急時の手当	50.6%	130	地域の人達との交流の促進	56.3%	71	ホーム機能の地域への還元	50.0%
106	職員の休憩場所の確保	50.6%	22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	59.8%	4	運営理念の啓発	53.8%
129	地域との連携	50.6%				49	緊急時の手当	53.8%

【青森県】 (N=105GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	100.00%	29.85%	78.31%
自己評価共通	100.00%	28.17%	77.89%
外部評価	95.77%	64.79%	82.21%

【青森県】

上位5項目

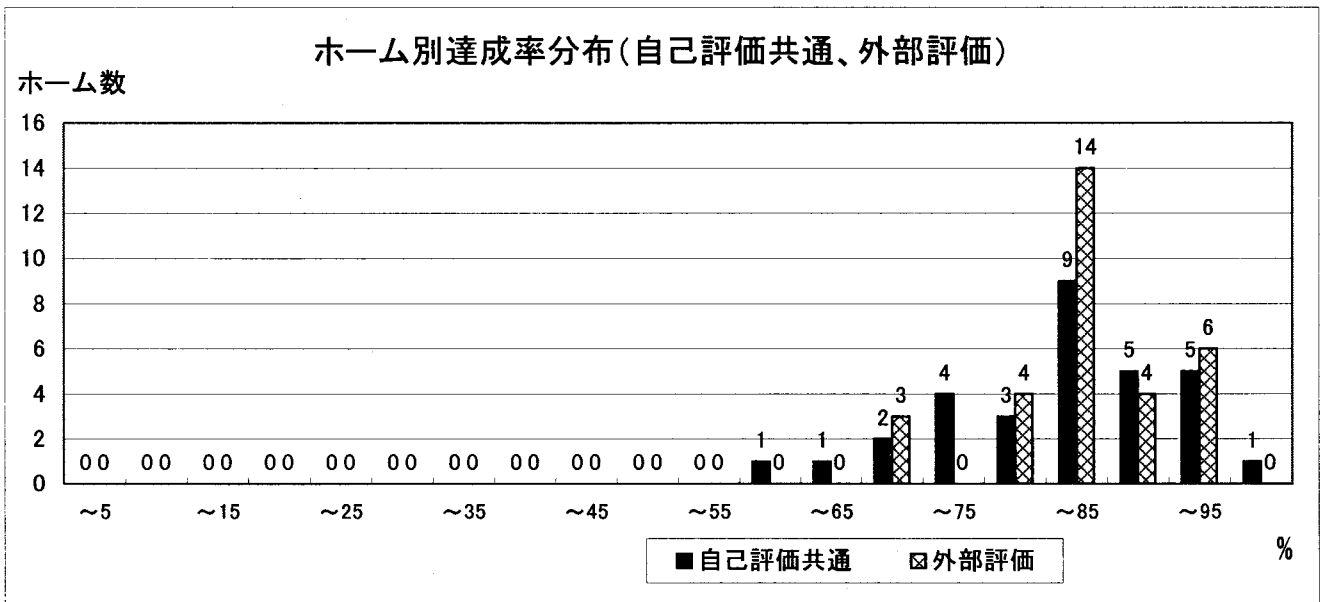
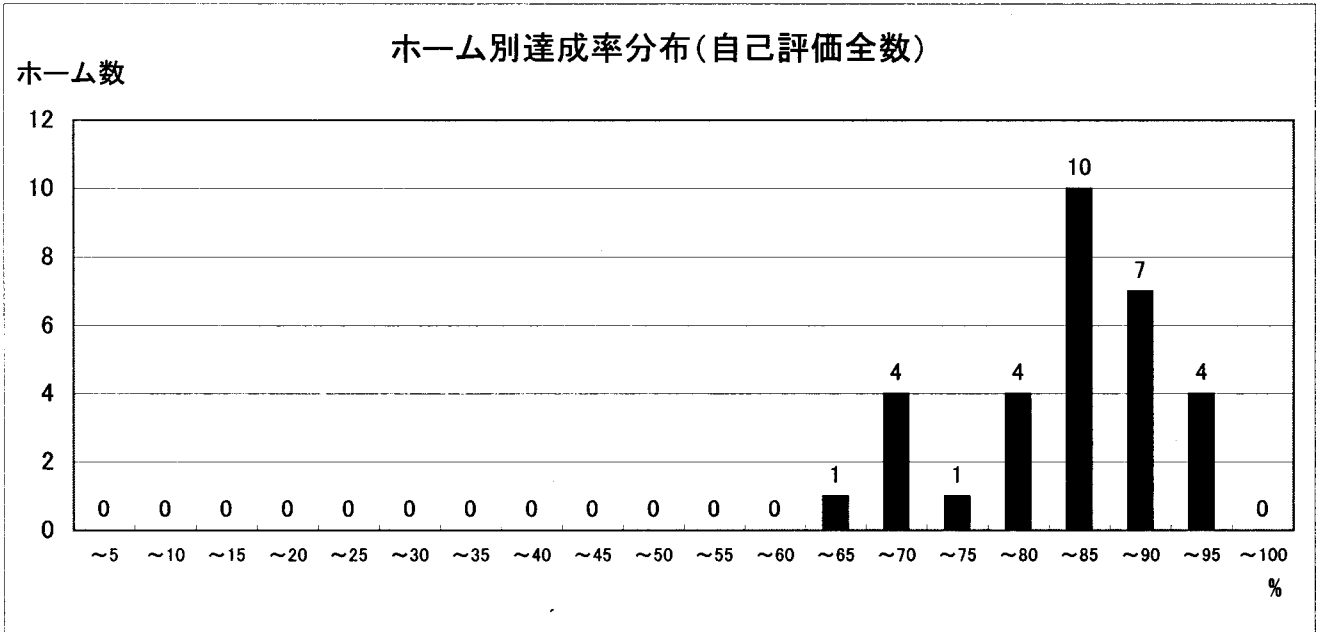
(N=105GH=152ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
49	状態にあわせた下着等の使い分け	98.7%	68	医療関係者への相談	98.7%	34	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	100.0%
52	入浴可否の見極め	98.7%	56	理美容院の利用支援	94.7%	46	トラブルへの対応	98.1%
68	医療関係者への相談	98.7%	126	入居者の金銭管理	94.7%	42	医療関係者への相談	97.1%
88	異変情報及び対応方法の家族との共有	98.7%	17	時の見当識への配慮	94.1%	52	家族の訪問支援	97.1%
108	料金の内訳の明示と説明	98.0%	44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	94.1%	63	調査等の訪問に対する対応	97.1%
			109	退居の支援	94.1%			

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	24.3%	127	市町村との関わり	24.3%	68	市町村との関わり	21.9%
125	家族同士の交流促進	32.9%	5	運営理念の啓発	48.7%	49	緊急時の手当	47.6%
120	第三者への相談機会の確保	41.4%	85	緊急時の手当	48.7%	4	運営理念の啓発	55.2%
2	運営理念の実現	42.8%	130	地域の人達との交流の促進	49.3%	17	介護計画への入居者・家族の意見の反映	59.0%
131	生活の拡充を支える近隣住民等への働きかけ	43.4%	105	ストレスの解消策の実施	50.7%	36	入居者一人ひとりの希望にあわせた入浴支援	59.0%

【岩手県】 (N=31GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	94.03%	61.94%	81.55%
自己評価共通	95.77%	59.15%	81.01%
外部評価	94.37%	66.20%	82.55%

【岩手県】
上位5項目

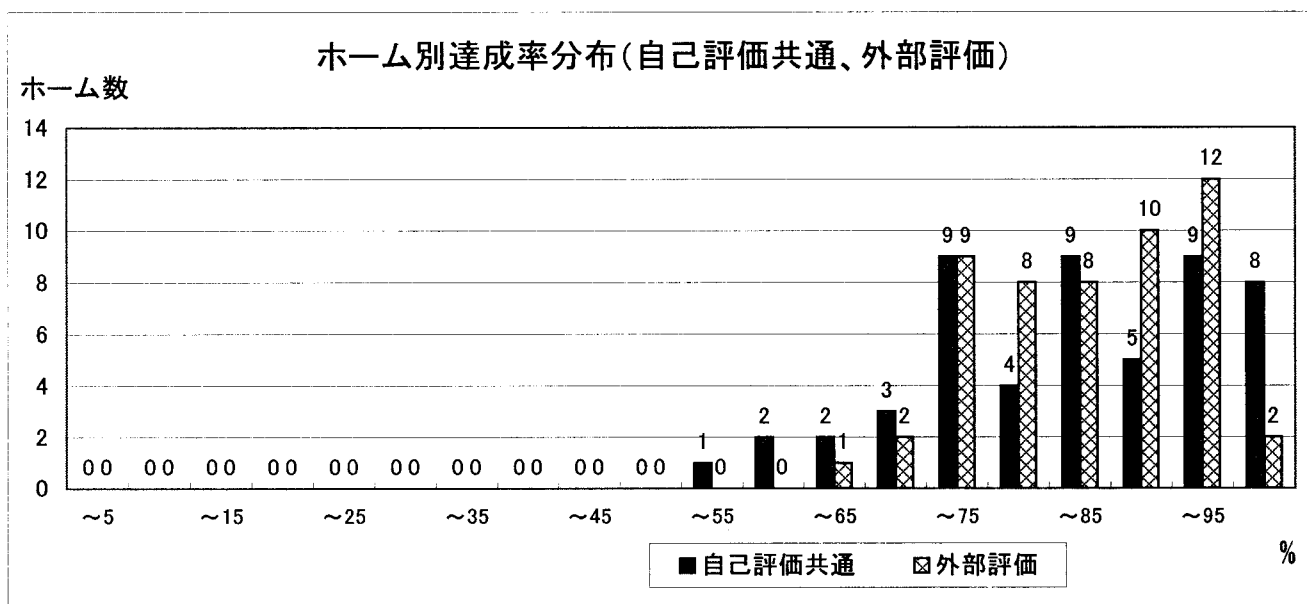
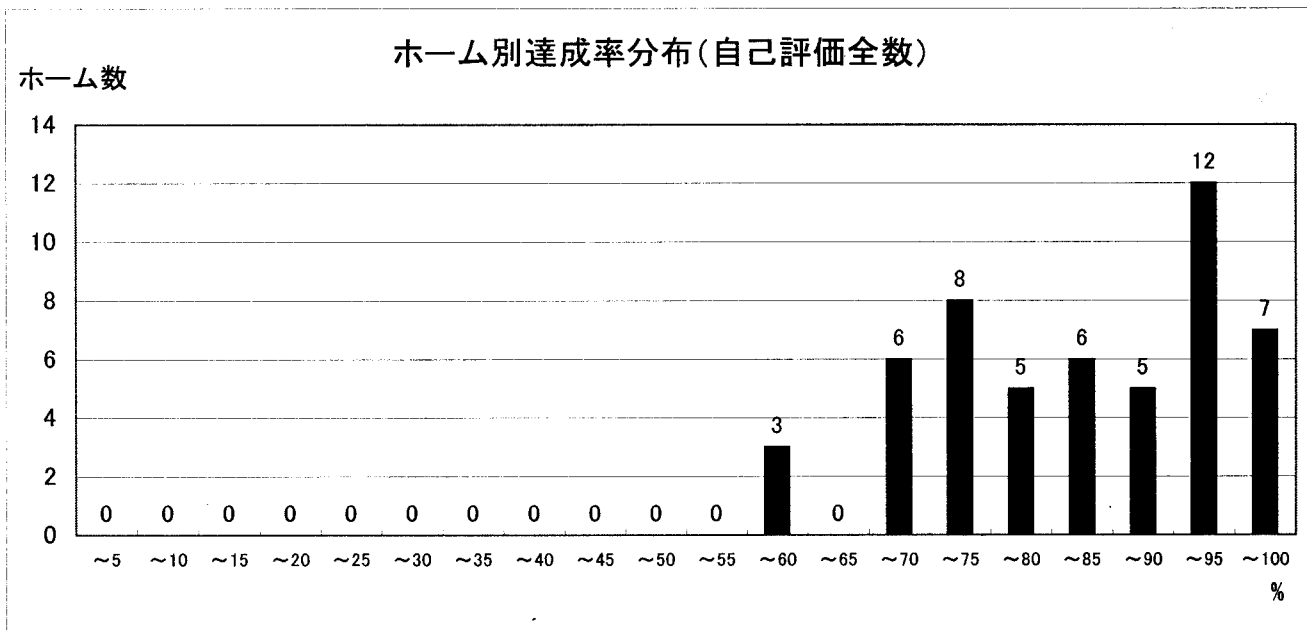
(N=31GH=36ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
8	共用空間における居場所の確保	100.0%	8	共用空間における居場所の確保	100.0%	28	拘束のないケアの実践	100.0%
31	入居者一人ひとりとのコミュニケーション	100.0%	66	ホーム内の役割・楽しみごとの支援	100.0%	32	個別の栄養摂取状況の把握	100.0%
34	自信の回復	100.0%	1	理念の具体化及び運営理念の共有	97.2%	45	身体機能の維持	100.0%
36	共に支えあう場面づくり	100.0%	24	個別の記録	97.2%	60	ホーム内の衛生管理	100.0%
41	献立の工夫	100.0%	48	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	97.2%	3	権利・義務の明示	96.8%
61	休息の支援	100.0%	68	医療関係者への相談	97.2%	10	場所間違い等の防止策	96.8%
66	ホーム内の役割・楽しみごとの支援	100.0%	96	責任者の協働	97.2%	22	入居者一人ひとりの尊重	96.8%
81	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	100.0%	109	退居の支援	97.2%	27	一人でできることへの配慮	96.8%
108	料金の内訳の明示と説明	100.0%	112	ホーム内の衛生管理	97.2%	34	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	96.8%
124	外泊時の家族との情報交換	100.0%	118	調査等の訪問に対する対応	97.2%	37	美容院の利用支援	96.8%
						39	安眠の支援	96.8%
						42	医療関係者への相談	96.8%
						46	トラブルへの対応	96.8%
						52	家族の訪問支援	96.8%
						63	調査等の訪問に対する対応	96.8%
						67	入居者の金銭管理	96.8%

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
85	緊急時の手当	27.8%	85	緊急時の手当	27.8%	68	市町村との関わり	25.8%
127	市町村との関わり	27.8%	127	市町村との関わり	27.8%	49	緊急時の手当	45.2%
22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	36.1%	22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	36.1%	57	ストレスの解消策の実施	45.2%
125	家族同士の交流促進	36.1%	105	ストレスの解消策の実施	47.2%	4	運営理念の啓発	51.6%
120	第三者への相談機会の確保	38.9%	130	地域の人達との交流の促進	47.2%	17	介護計画への入居者・家族の意見の反映	51.6%

【宮城県】 (N=52GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	98.51%	55.60%	82.04%
自己評価共通	98.59%	53.52%	81.46%
外部評価	98.59%	60.56%	82.99%

【宮城県】

上位5項目

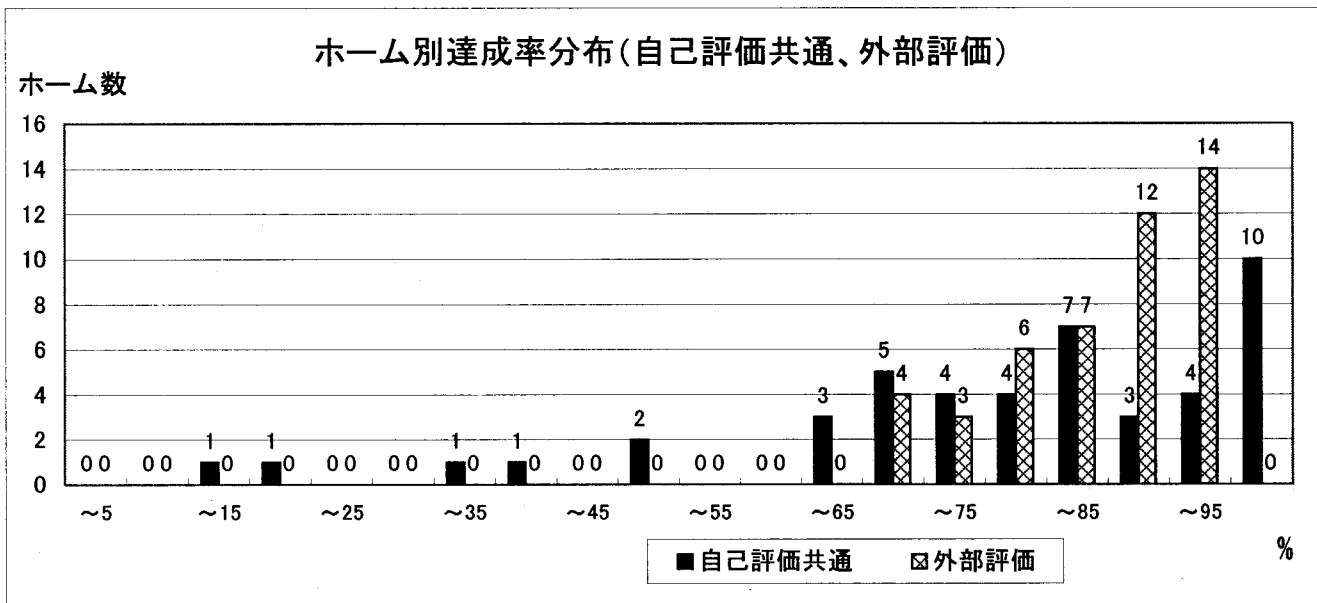
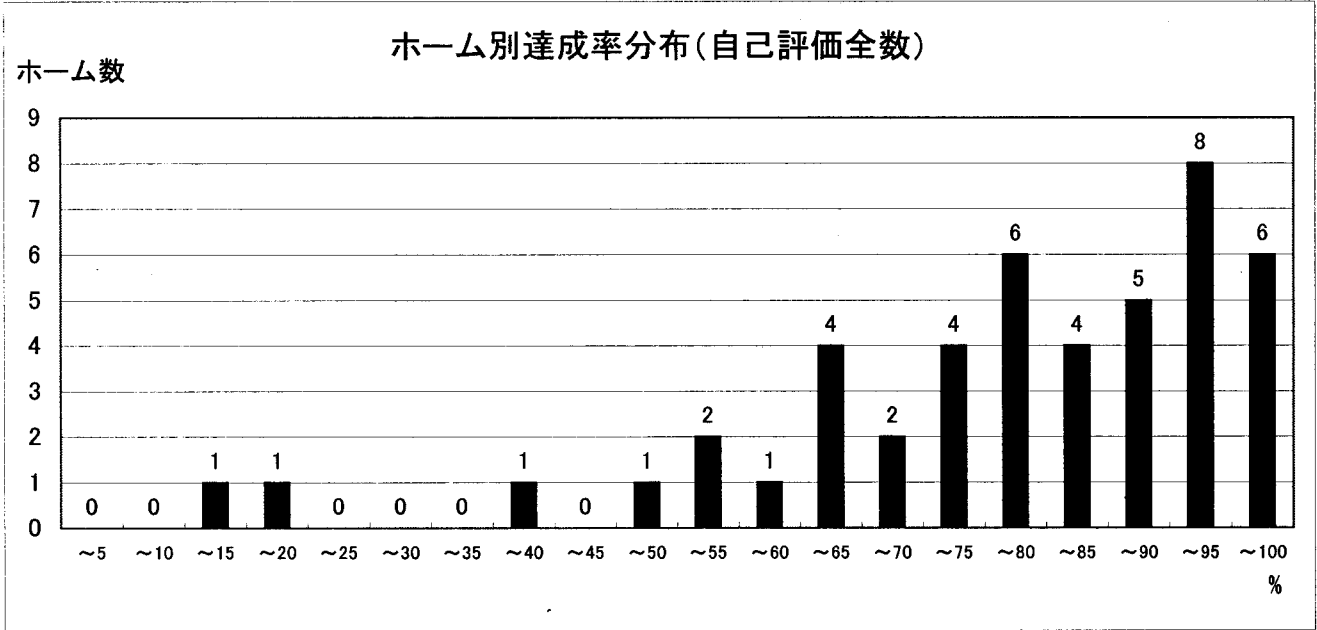
(N=52GH=72ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
52	入浴可否の見極め	100.0%	112	ホーム内の衛生管理	100.0%	12	換気・空調の配慮	100.0%
81	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	100.0%	24	個別の記録	98.6%	28	拘束のないケアの実践	98.1%
108	料金の内訳の明示と説明	100.0%	50	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	97.2%	38	プライドを大切にした整容の支援	98.1%
111	手洗い、うがい	100.0%	57	プライドを大切にした整容の支援	97.2%	42	医療関係者への相談	98.1%
112	ホーム内の衛生管理	100.0%	68	医療関係者への相談	97.2%	31	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	96.2%
			80	口腔内の清潔保持	97.2%	34	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	96.2%
						35	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	96.2%
						39	安眠の支援	96.2%
						45	身体機能の維持	96.2%
						46	トラブルへの対応	96.2%
						51	ホームに閉じこもらない生活の支援	96.2%
						60	ホーム内の衛生管理	96.2%

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	37.5%	127	市町村との関わり	37.5%	4	運営理念の啓発	36.5%
22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	41.7%	22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	41.7%	68	市町村との関わり	36.5%
5	運営理念の啓発	43.1%	5	運営理念の啓発	43.1%	17	介護計画への入居者・家族の意見の反映	44.2%
129	地域との連携	44.4%	85	緊急時の手当	48.6%	49	緊急時の手当	51.9%
106	職員の休憩場所の確保	45.8%	23	介護計画の見直し	54.2%	18	介護計画の見直し	61.5%
			105	ストレスの解消策の実施	54.2%			

【秋田県】 (N=46GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	98.51%	12.69%	76.74%
自己評価共通	98.59%	12.68%	76.20%
外部評価	94.37%	66.20%	84.11%

【秋田県】
上位5項目

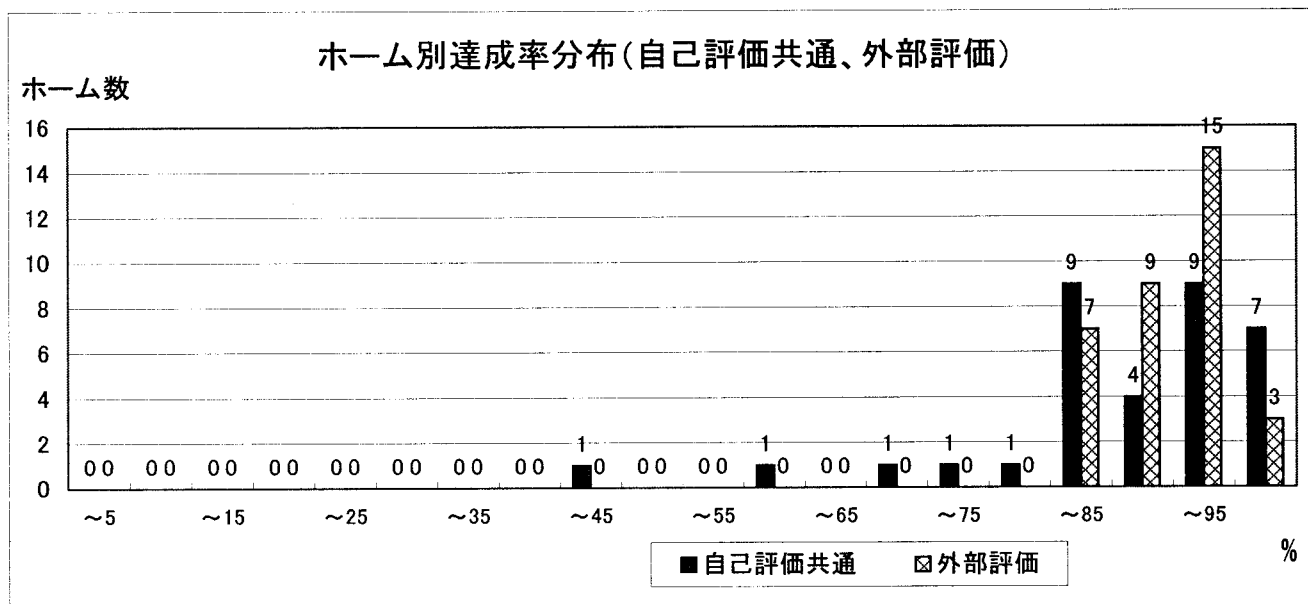
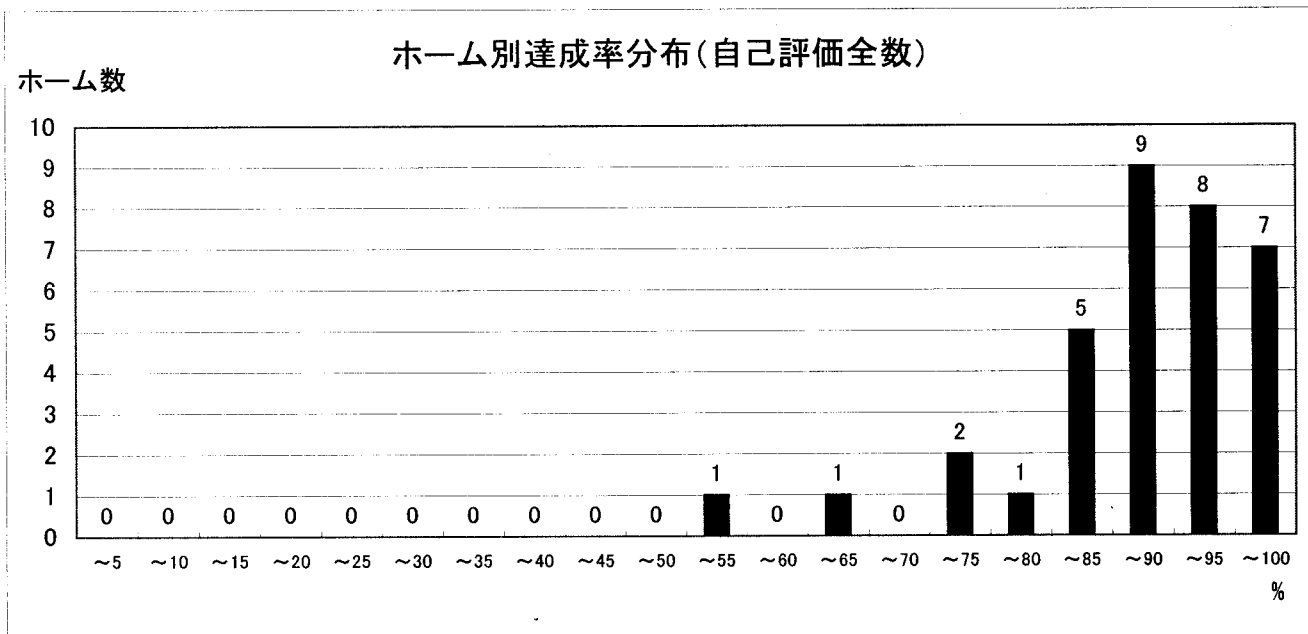
(N=46GH=60ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
52	入浴可否の見極め	100.0%	118	調査等の訪問に対する対応	96.7%	46	トラブルへの対応	100.0%
69	希望する医療機関での受診	98.3%	68	医療関係者への相談	95.0%	3	権利・義務の明示	97.8%
118	調査等の訪問に対する対応	96.7%	25	確実な申し送り・情報伝達	91.7%	12	換気・空調の配慮	97.8%
36	共に支えあう場面づくり	95.0%	44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	91.7%	22	入居者一人ひとりの尊重	97.8%
49	状態にあわせた下着等の使い分け	95.0%	50	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	90.0%	28	拘束のないケアの実践	97.8%
68	医療関係者への相談	95.0%	78	トラブルへの対応	90.0%	31	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	97.8%
108	料金の内訳の明示と説明	95.0%	80	口腔内の清潔保持	90.0%	34	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	97.8%
			112	ホーム内の衛生管理	90.0%	38	プライドを大切にした整容の支援	97.8%
			122	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	90.0%	63	調査等の訪問に対する対応	97.8%
			126	入居者の金銭管理	90.0%			

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	23.3%	127	市町村との関わり	23.3%	68	市町村との関わり	32.6%
5	運営理念の啓発	36.7%	5	運営理念の啓発	36.7%	4	運営理念の啓発	52.2%
91	地域に出やすい周辺環境の整備	41.7%	105	ストレスの解消策の実施	43.3%	56	継続的な研修の受講	56.5%
129	地域との連携	41.7%	130	地域の人達との交流の促進	45.0%	49	緊急時の手当	58.7%
105	ストレスの解消策の実施	43.3%	85	緊急時の手当	50.0%	57	ストレスの解消策の実施	58.7%
106	職員の休憩場所の確保	43.3%						
120	第三者への相談機会の確保	43.3%						
125	家族同士の交流促進	43.3%						

【山形県】 (N=34GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	100.00%	50.75%	87.19%
自己評価共通	100.00%	43.66%	86.15%
外部評価	97.18%	80.28%	89.06%

【山形県】

上位5項目

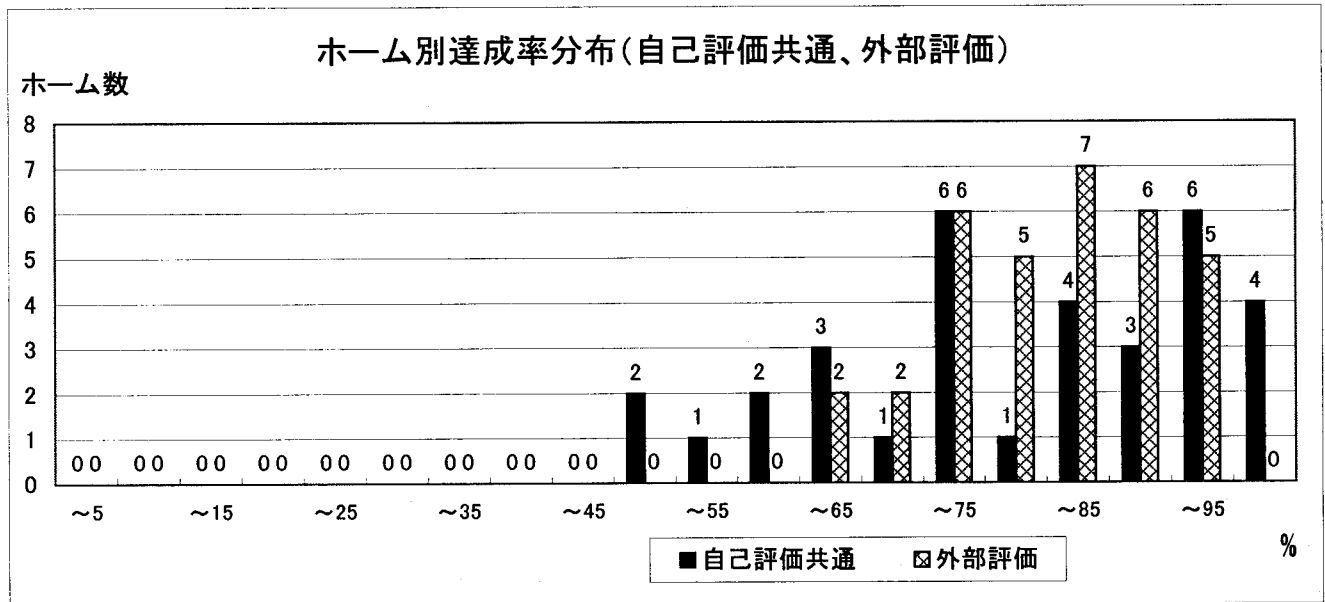
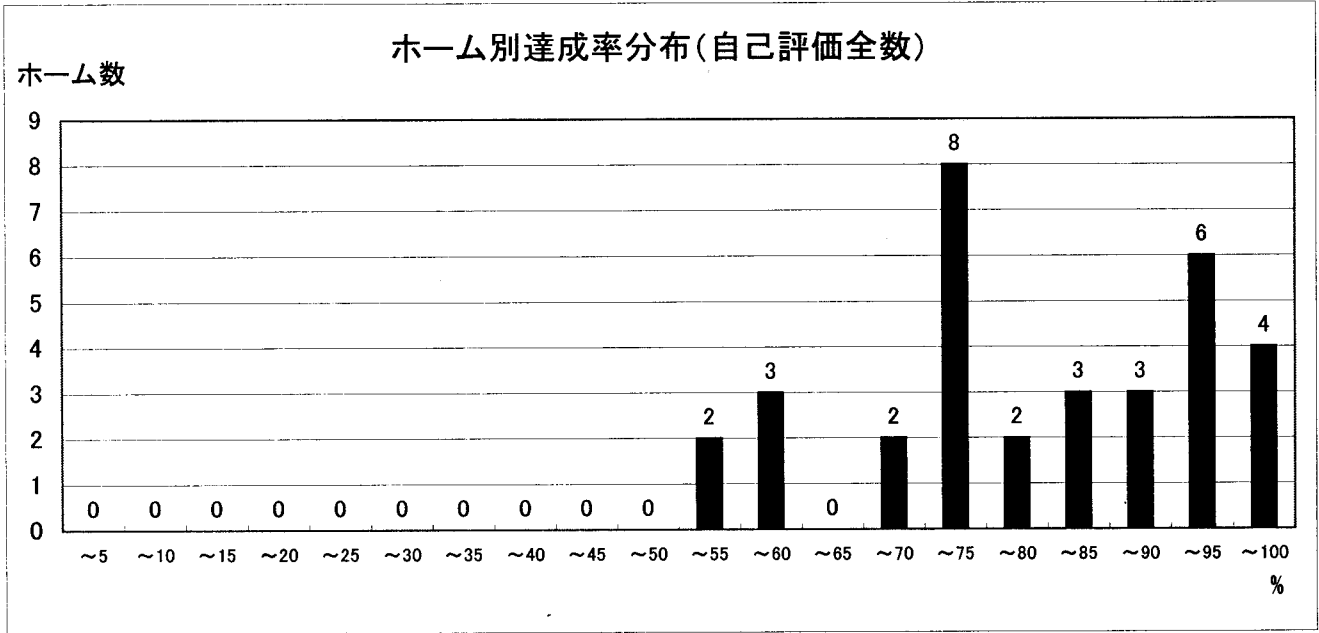
(N=34GH=61ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
10	建物の外周りや空間の活用	100.0%	3	運営理念の明示	98.4%	28	拘束のないケアの実践	100.0%
36	共に支えあう場面づくり	100.0%	66	ホーム内の役割・楽しみごとの支援	98.4%	37	理美容院の利用支援	100.0%
49	状態にあわせた下着等の使い分け	100.0%	96	責任者の協働	98.4%	38	プライドを大切にされた整容の支援	100.0%
61	休息の支援	100.0%	109	退居の支援	98.4%	42	医療関係者への相談	100.0%
108	料金の内訳の明示と説明	100.0%	118	調査等の訪問に対する対応	98.4%	46	トラブルへの対応	100.0%
111	手洗い、うがい	100.0%				60	ホーム内の衛生管理	100.0%
						63	調査等の訪問に対する対応	100.0%

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
120	第三者への相談機会の確保	45.9%	127	市町村との関わり	50.8%	68	市町村との関わり	52.9%
127	市町村との関わり	50.8%	130	地域の人達との交流の促進	52.5%	49	緊急時の手当	67.6%
134	人材育成への貢献	50.8%	5	運営理念の啓発	55.7%	69	地域の人達との交流の促進	67.6%
130	地域の人達との交流の促進	52.5%	132	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	57.4%	4	運営理念の啓発	70.6%
5	運営理念の啓発	55.7%	85	緊急時の手当	62.3%	32	個別の栄養摂取状況の把握	73.5%
115	緊急時の対応の周知	55.7%						

【福島県】 (N=33GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	100.00%	52.24%	78.72%
自己評価共通	100.00%	46.48%	77.53%
外部評価	92.96%	64.79%	80.67%

【福島県】
上位5項目

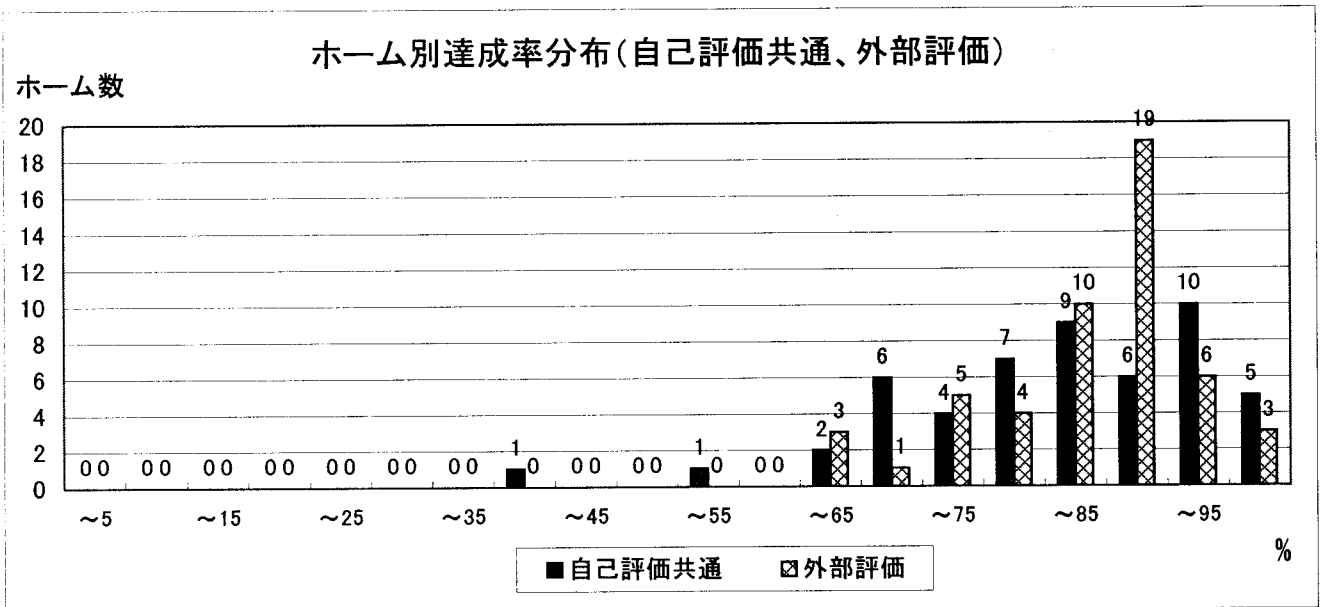
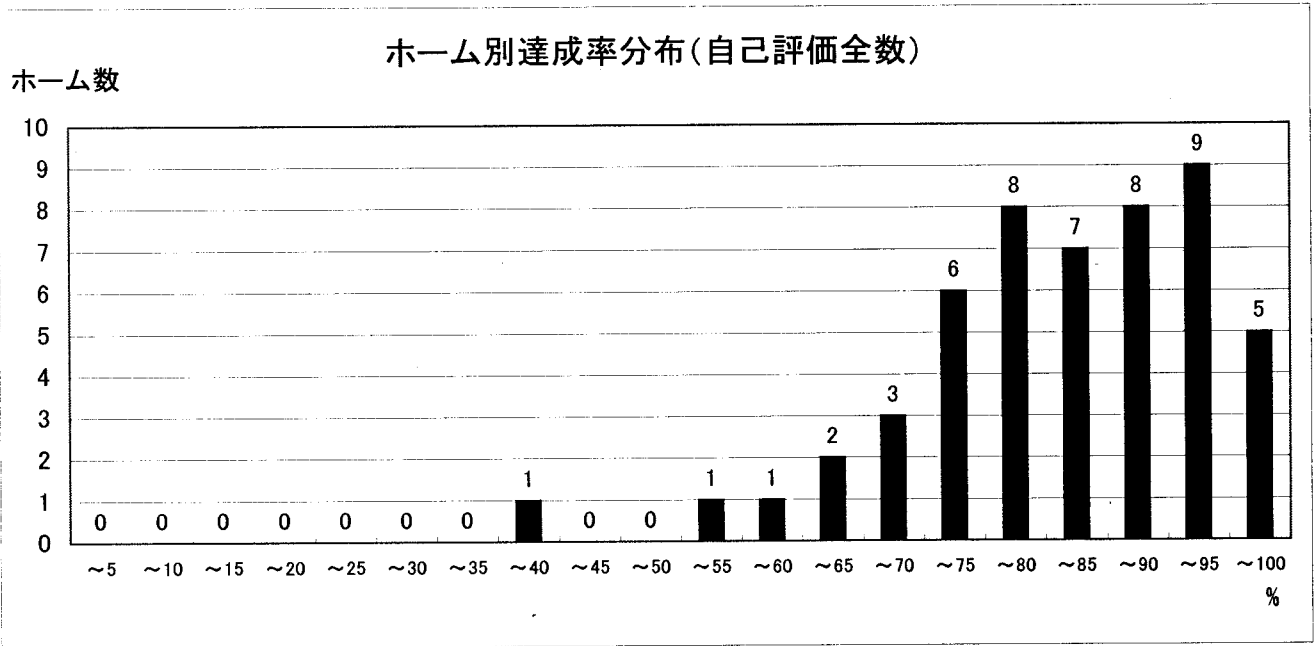
(N=33GH=47ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
49	状態にあわせた下着等の使い分け	100.0%	68	医療関係者への相談	97.9%	12	換気・空調の配慮	100.0%
52	入浴可否の見極め	100.0%	37	拘束のないケアの実践	95.7%	28	拘束のないケアの実践	100.0%
68	医療関係者への相談	97.9%	13	場所間違い等の防止策	93.6%	42	医療関係者への相談	100.0%
69	希望する医療機関での受診	97.9%	96	責任者の協働	93.6%	63	調査等の訪問に対する対応	100.0%
88	異変情報及び対応方法の家族との共有	97.9%	114	注意の必要な物品の保管・管理	93.6%	22	入居者一人ひとりの尊重	97.0%
98	管理者による状況把握	97.9%	118	調査等の訪問に対する対応	93.6%	23	職員の穏やかな態度	97.0%
124	外泊時の家族との情報交換	97.9%				31	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	97.0%
						34	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	97.0%
						38	プライドを大切にした整容の支援	97.0%
						46	トラブルへの対応	97.0%

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	23.4%	127	市町村との関わり	23.4%	68	市町村との関わり	21.2%
120	第三者への相談機会の確保	29.8%	5	運営理念の啓発	36.2%	4	運営理念の啓発	39.4%
125	家族同士の交流促進	29.8%	85	緊急時の手当	38.3%	69	地域の人達との交流の促進	48.5%
129	地域との連携	31.9%	105	ストレスの解消策の実施	38.3%	49	緊急時の手当	51.5%
5	運営理念の啓発	36.2%	130	地域の人達との交流の促進	40.4%	56	継続的な研修の受講	51.5%
			132	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	40.4%	66	族への日常の様子に関する情報提供	51.5%

【茨城県】 (N=51GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	99.25%	38.06%	81.38%
自己評価共通	100.00%	36.62%	81.05%
外部評価	95.77%	61.97%	83.13%

【茨城県】

上位10項目

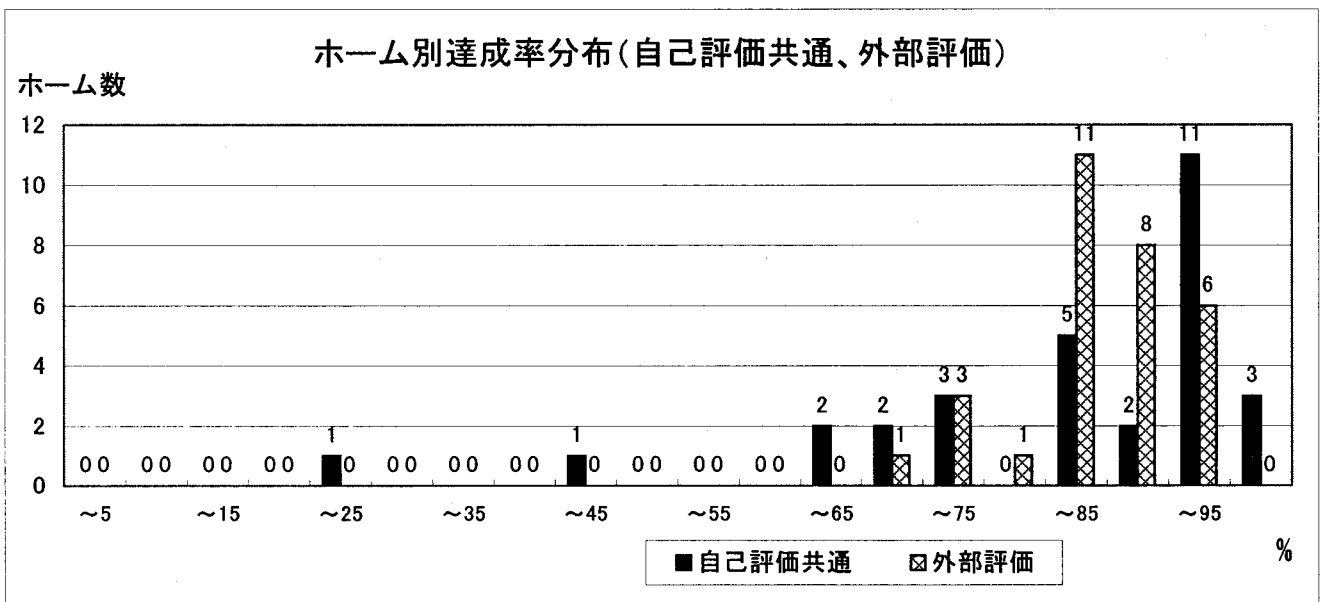
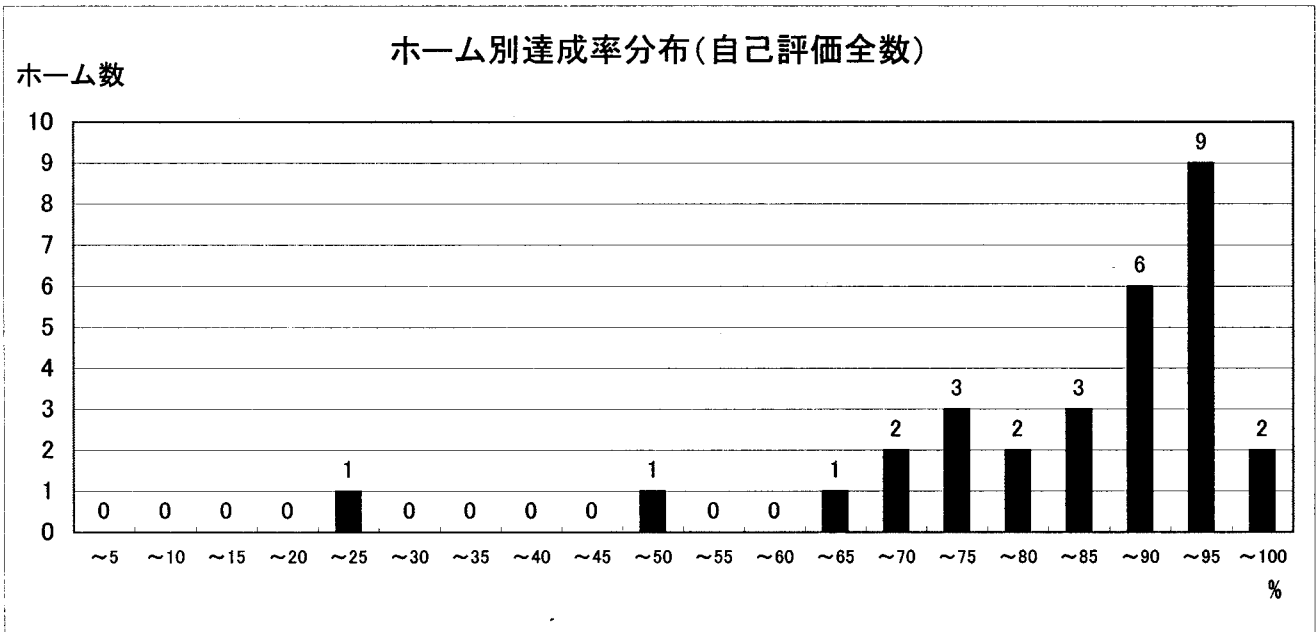
(N=51GH=81ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	100.0%	44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	100.0%	28	拘束のないケアの実践	100.0%
49	状態にあわせた下着等の使い分け	100.0%	17	時の見当識への配慮	98.8%	42	医療関係者への相談	100.0%
52	入浴可否の見極め	100.0%	68	医療関係者への相談	97.5%	63	調査等の訪問に対する対応	100.0%
69	希望する医療機関での受診	100.0%	96	責任者の協働	96.3%	34	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	98.0%
17	時の見当識への配慮	98.8%	15	換気・空調の配慮	95.1%	46	トラブルへの対応	98.0%
58	衣類の調節の支援	98.8%	78	服薬の支援	95.1%			
70	痴呆に知見の深い医師の確保	98.8%						
113	ごみの処分	98.8%						

下位10項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	27.2%	127	市町村との関わり	27.2%	4	運営理念の啓発	41.2%
120	第三者への相談機会の確保	32.1%	105	ストレスの解消策の実施	44.4%	68	市町村との関わり	49.0%
125	家族同士の交流促進	42.0%	5	運営理念の啓発	46.9%	36	入居者一人ひとりの希望にあわせた入浴支援	60.8%
40	献立づくりや調理等への入居者の参画	43.2%	85	緊急時の手当	49.4%	17	介護計画への入居者・家族の意見の反映	62.7%
105	ストレスの解消策の実施	44.4%	130	地域の人達との交流の促進	50.6%	18	介護計画の見直し	62.7%

【栃木県】 (N=30GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	100.00%	24.63%	81.38%
自己評価共通	100.00%	22.54%	80.89%
外部評価	94.37%	66.20%	84.08%

【栃木県】

上位5項目

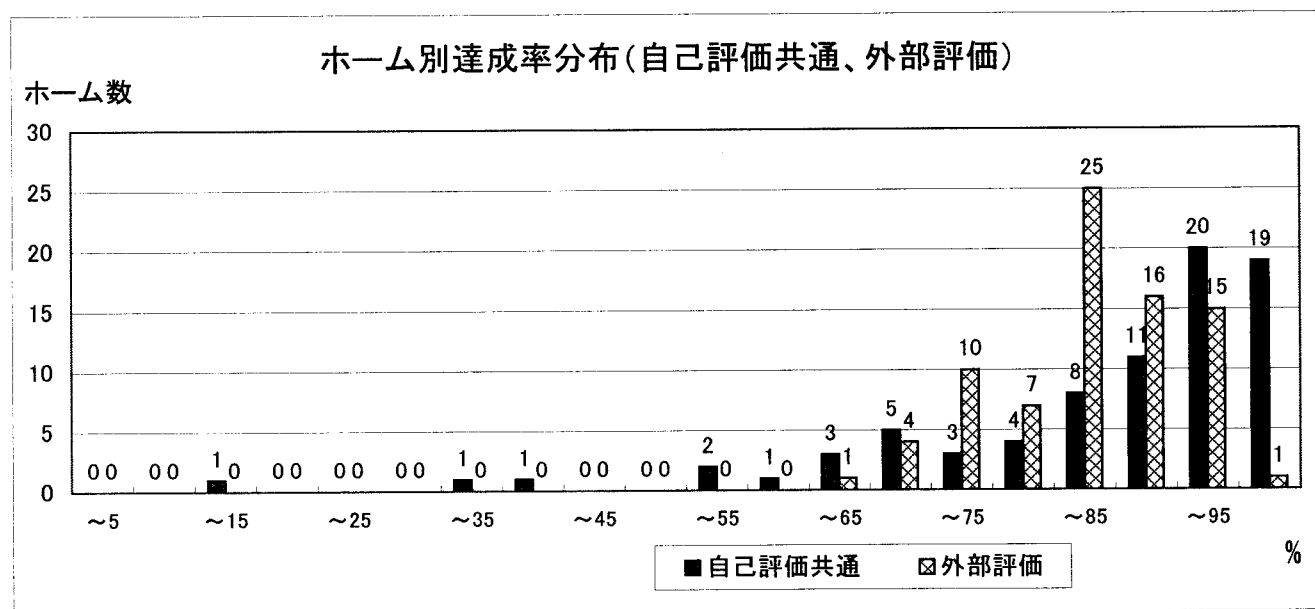
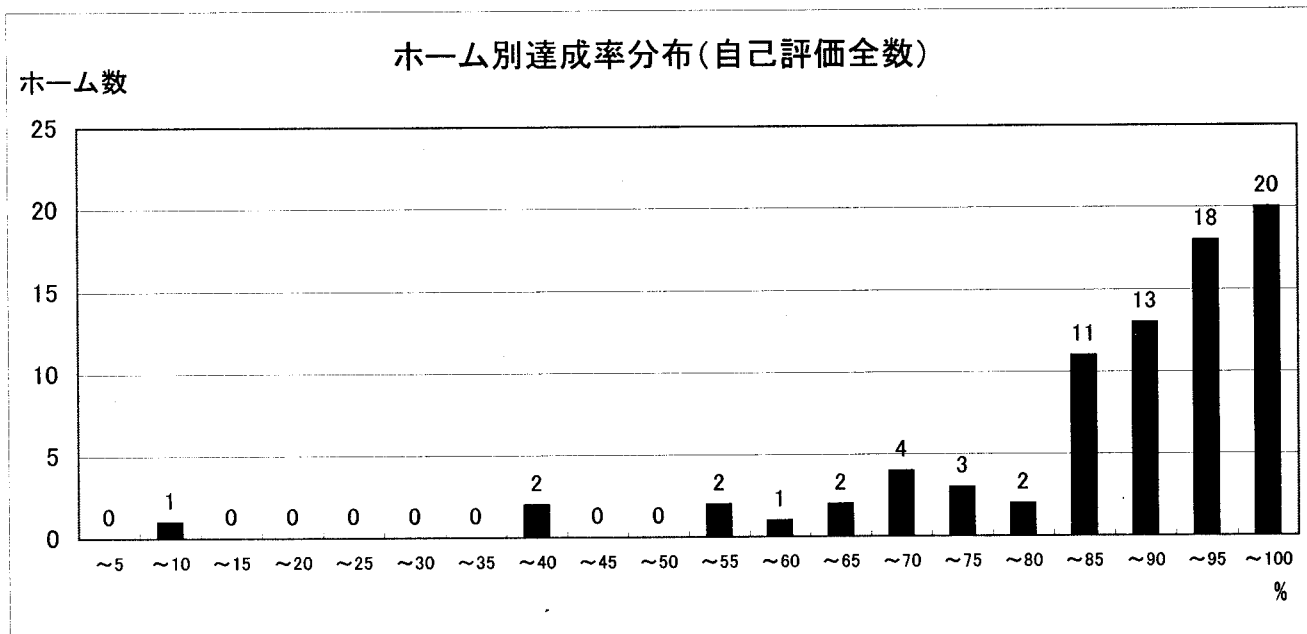
(N=30GH=46ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
16	五感への働きかけの工夫	100.0%	68	医療関係者への相談	100.0%	27	一人でできることへの配慮	100.0%
39	入居者の状況の把握	100.0%	13	場所間違い等の防止策	97.8%	34	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	100.0%
49	状態にあわせた下着等の使い分け	100.0%	14	音の大きさや光の強さに対する配慮	97.8%	38	プライドを大切にした整容の支援	100.0%
52	入浴可否の見極め	100.0%	44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	97.8%	52	家族の訪問支援	100.0%
68	医療関係者への相談	100.0%	56	理美容院の利用支援	97.8%	60	ホーム内の衛生管理	100.0%
69	希望する医療機関での受診	100.0%	66	ホーム内の役割・楽しみごとの支援	97.8%	63	調査等の訪問に対する対応	100.0%
108	料金の内訳の明示と説明	100.0%	126	入居者の金銭管理	97.8%			

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
120	第三者への相談機会の確保	34.8%	127	市町村との関わり	41.3%	68	市町村との関わり	30.0%
127	市町村との関わり	41.3%	22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	50.0%	4	運営理念の啓発	33.3%
125	家族同士の交流促進	45.7%	5	運営理念の啓発	56.5%	49	緊急時の手当	43.3%
22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	50.0%	85	緊急時の手当	58.7%	69	地域の人達との交流の促進	56.7%
129	地域との連携	52.2%	130	地域の人達との交流の促進	60.9%	2	運営理念の明示	63.3%
134	人材育成への貢献	52.2%				70	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	63.3%

【群馬県】 (N=79GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	100.00%	9.70%	84.42%
自己評価共通	100.00%	14.08%	84.01%
外部評価	97.18%	64.79%	82.46%

【群馬県】

上位5項目

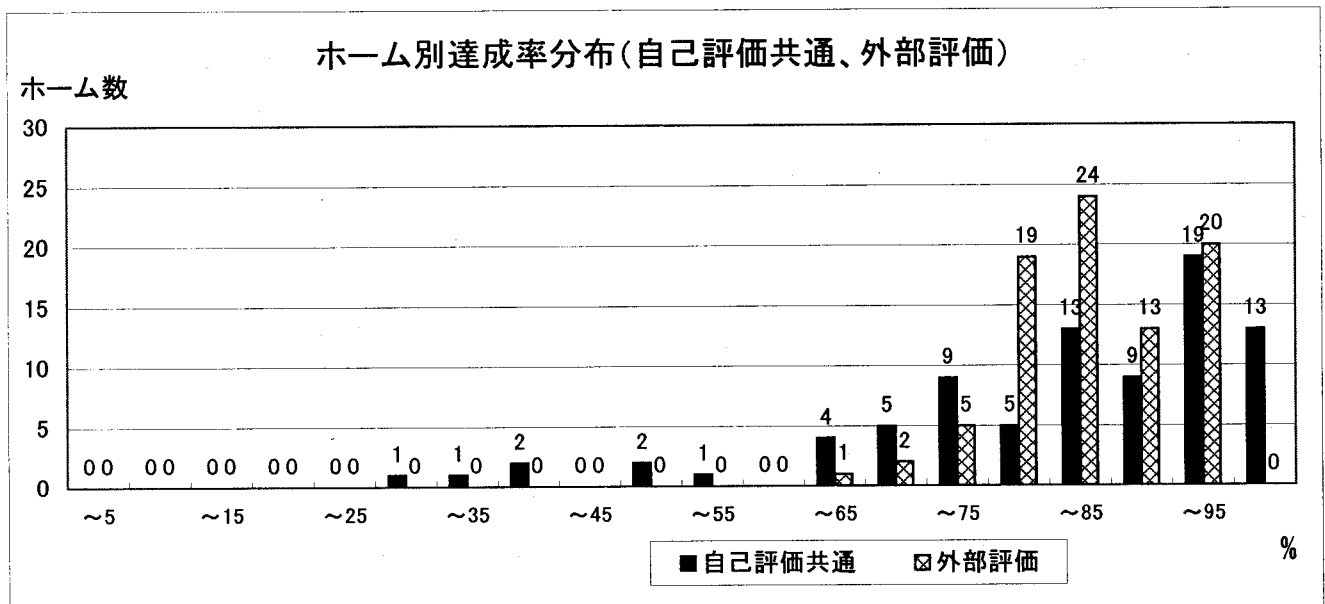
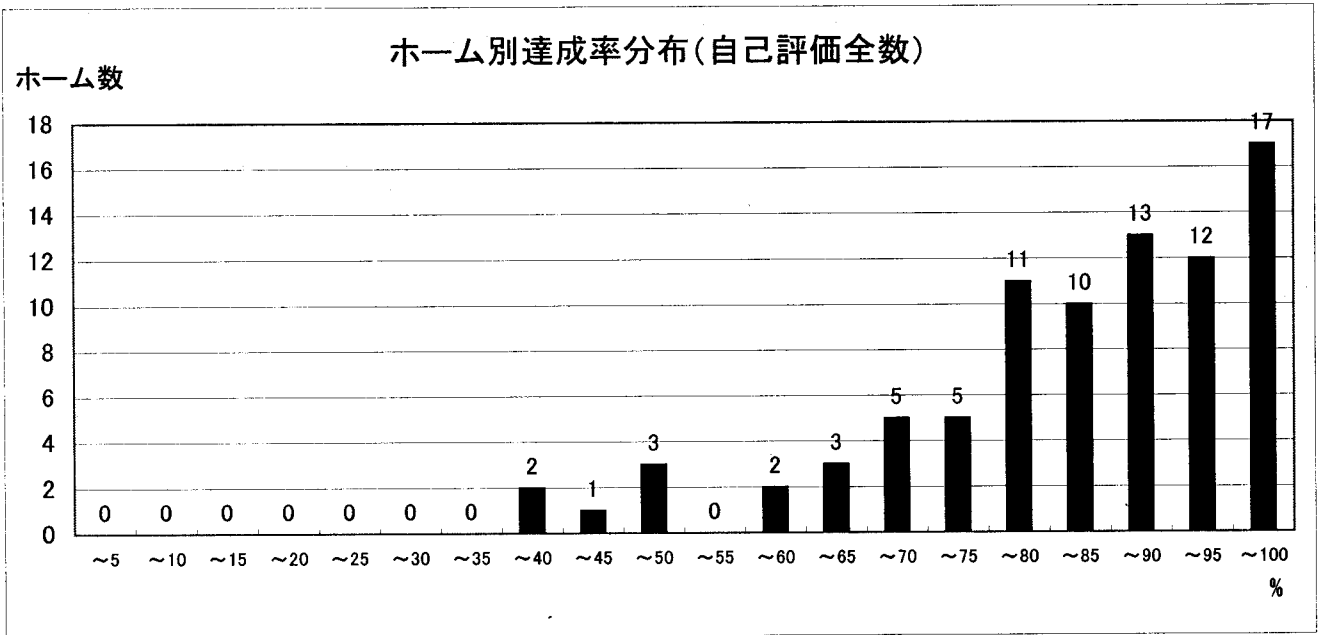
(N=79GH=125ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
68	医療関係者への相談	99.2%	68	医療関係者への相談	99.2%	42	医療関係者への相談	100.0%
88	異変情報及び対応方法の家族との共有	99.2%	112	ホーム内の衛生管理	97.6%	22	入居者一人ひとりの尊重	98.7%
49	状態にあわせた下着等の使い分け	98.4%	44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	96.8%	46	トラブルへの対応	98.7%
111	手洗い、うがい	98.4%	74	定期健康診断の支援	96.8%	38	プライドを大切にした整容の支援	97.5%
52	入浴可否の見極め	97.6%	78	トラブルへの対応	96.8%	19	個別の記録	96.2%
112	ホーム内の衛生管理	97.6%	80	口腔内の清潔保持	96.8%	35	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	96.2%
						60	ホーム内の衛生管理	96.2%

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	36.0%	127	市町村との関わり	36.0%	68	市町村との関わり	31.6%
129	地域との連携	43.2%	5	運営理念の啓発	46.4%	4	運営理念の啓発	34.2%
5	運営理念の啓発	46.4%	130	地域の人達との交流の促進	58.4%	36	入居者一人ひとりの希望にあわせた入浴支援	48.1%
125	家族同士の交流促進	49.6%	64	金銭管理の支援	62.4%	69	地域の人達との交流の促進	53.2%
120	第三者への相談機会の確保	57.6%	105	ストレスの解消策の実施	64.0%	54	職員の意見の反映	60.8%

【埼玉県】 (N=84GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	100.00%	36.19%	81.45%
自己評価共通	100.00%	29.58%	80.67%
外部評価	94.37%	60.56%	83.10%

【埼玉県】

上位5項目

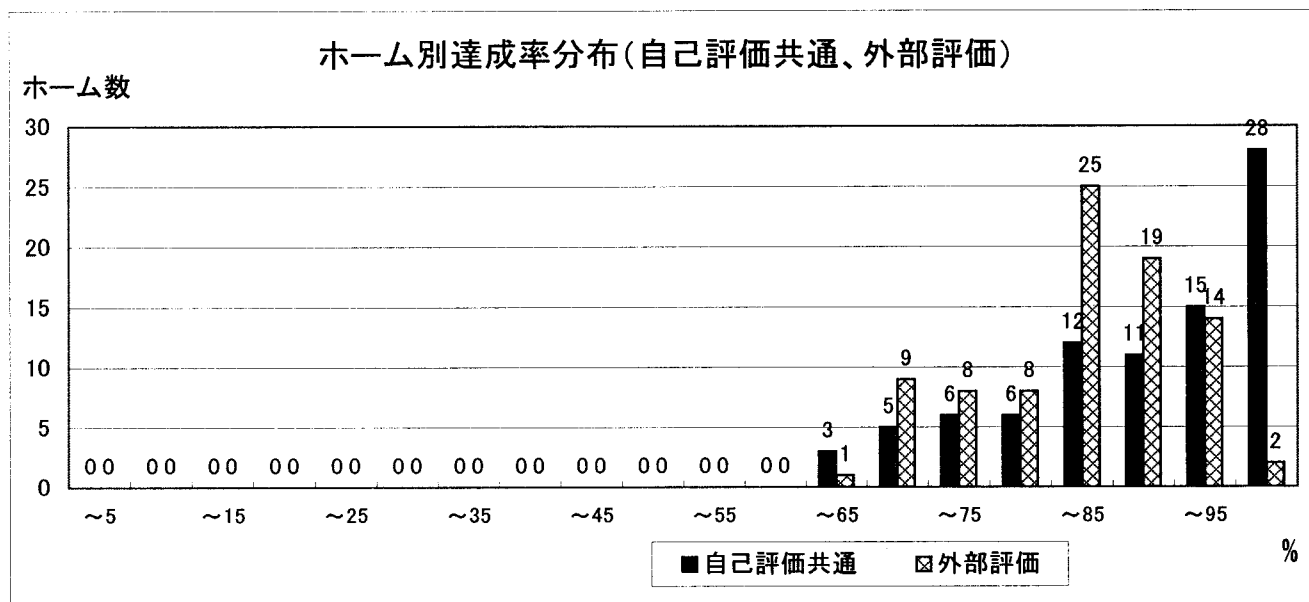
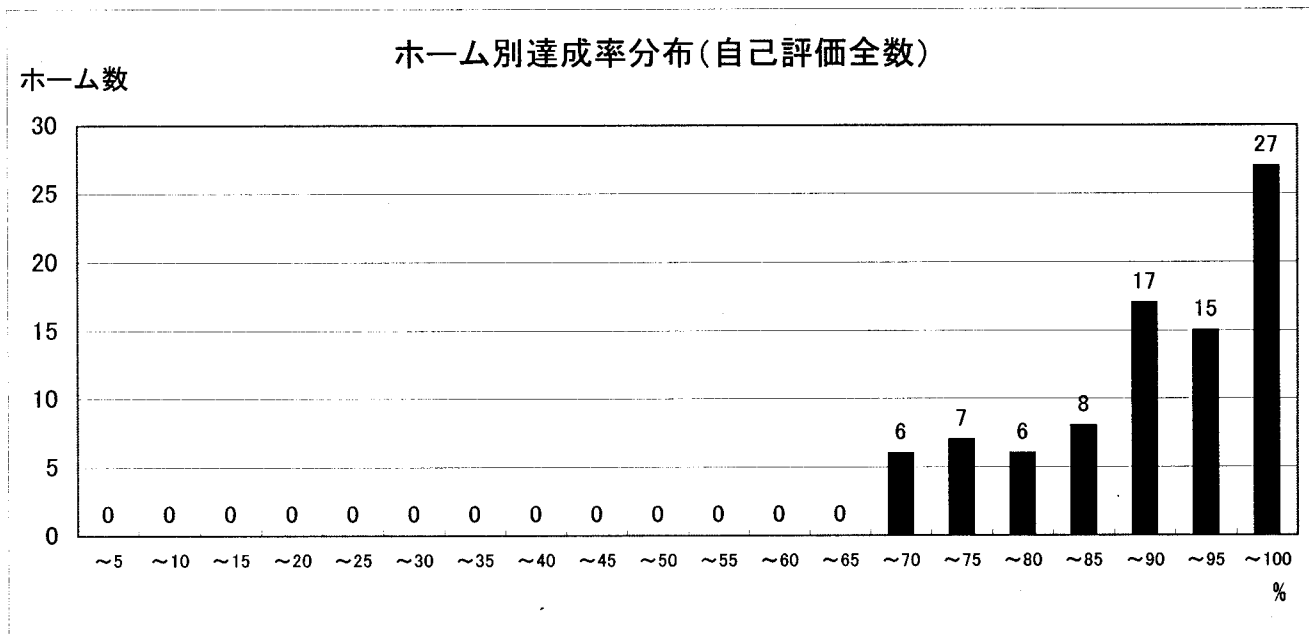
(N=84GH=127ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
49	状態にあわせた下着等の使い分け	98.4%	114	注意の必要な物品の保管・管理	96.1%	46	トラブルへの対応	98.8%
52	入浴可否の見極め	98.4%	48	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	94.5%	28	拘束のないケアの実践	97.6%
108	料金の内訳の明示と説明	98.4%	112	ホーム内の衛生管理	94.5%	35	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	97.6%
111	手洗い、うがい	98.4%	118	調査等の訪問に対する対応	94.5%	38	プライドを大切にした整容の支援	97.6%
58	衣類の調節の支援	97.6%	68	医療関係者への相談	93.7%	63	調査等の訪問に対する対応	97.6%
			80	口腔内の清潔保持	93.7%			
			109	退居の支援	93.7%			

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	36.2%	127	市町村との関わり	36.2%	68	市町村との関わり	36.9%
85	緊急時の手当	46.5%	85	緊急時の手当	46.5%	49	緊急時の手当	45.2%
120	第三者への相談機会の確保	47.2%	103	継続的な研修の受講	49.6%	36	入居者一人ひとりの希望にあわせた入浴支援	53.6%
103	継続的な研修の受講	49.6%	22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	52.0%	4	運営理念の啓発	54.8%
125	家族同士の交流促進	49.6%	64	金銭管理の支援	52.0%	17	介護計画への入居者・家族の意見の反映	59.5%

【千葉県】 (N=86GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	100.00%	67.16%	87.87%
自己評価共通	100.00%	61.97%	87.73%
外部評価	95.77%	60.56%	82.35%

【千葉県】

上位5項目

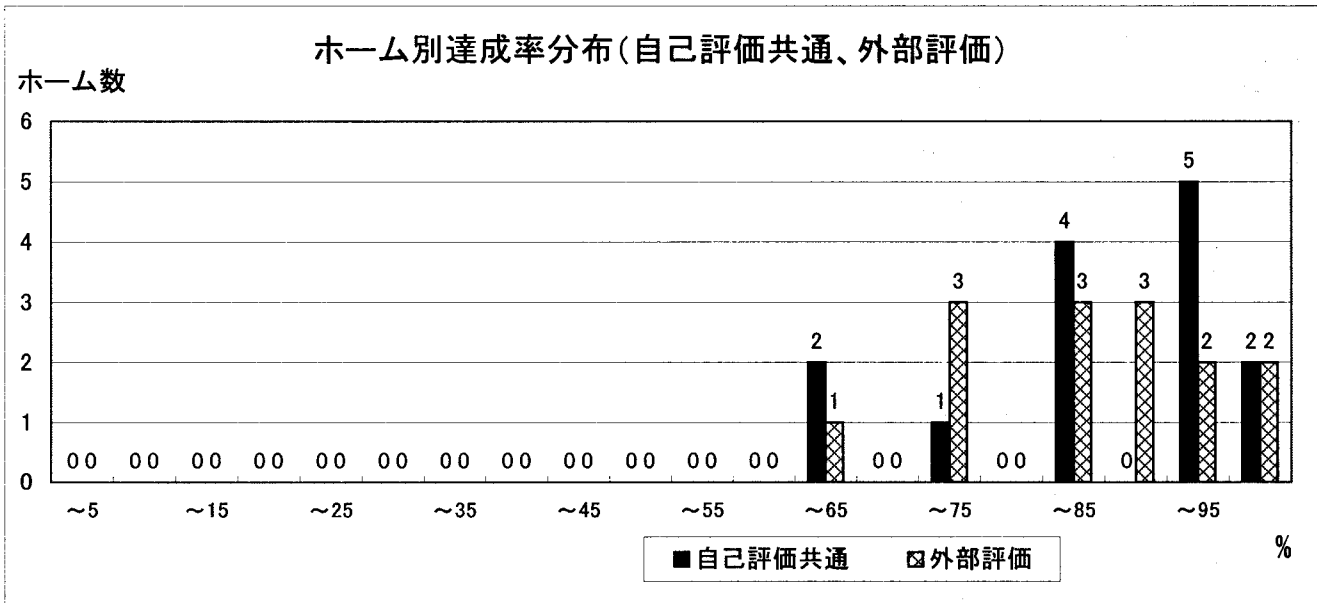
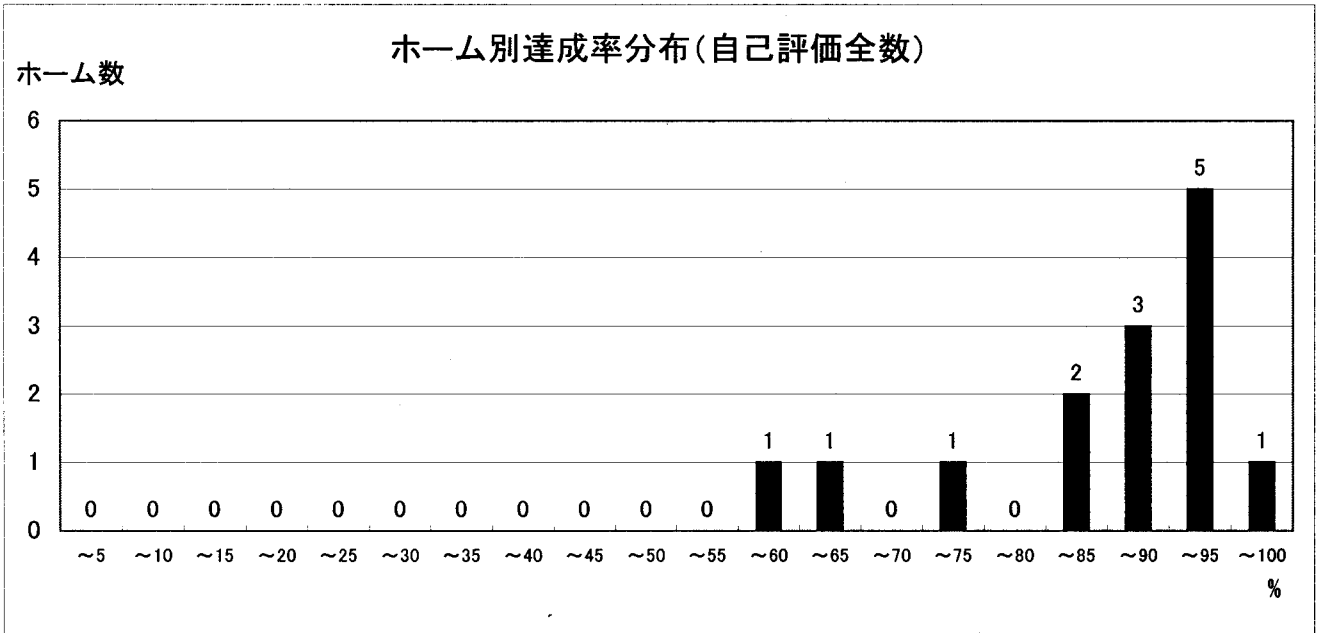
(N=86GH=120ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
49	状態にあわせた下着等の使い分け	100.0%	68	医療関係者への相談	100.0%	38	プライドを大切にした整容の支援	98.8%
52	入浴可否の見極め	100.0%	15	換気・空調の配慮	99.2%	22	入居者一人ひとりの尊重	97.7%
68	医療関係者への相談	100.0%	44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	99.2%	46	トラブルへの対応	97.7%
81	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	100.0%	126	入居者の金銭管理	98.3%	28	拘束のないケアの実践	96.5%
15	換気・空調の配慮	99.2%	109	退居の支援	97.5%	39	安眠の支援	96.5%
44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	99.2%				63	調査等の訪問に対する対応	96.5%
84	持病等の管理	99.2%						
88	異変情報及び対応方法の家族との共有	99.2%						

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	47.5%	127	市町村との関わり	47.5%	68	市町村との関わり	33.7%
125	家族同士の交流促進	48.3%	5	運営理念の啓発	61.7%	4	運営理念の啓発	47.7%
120	第三者への相談機会の確保	50.8%	85	緊急時の手当	62.5%	49	緊急時の手当	50.0%
131	生活の拡充を支える近隣住民等への働きかけ	56.7%	105	ストレスの解消策の実施	65.0%	61	注意の必要な物品の保管・管理	53.5%
5	運営理念の啓発	61.7%	132	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	65.0%	57	ストレスの解消策の実施	58.1%

【神奈川県】 (N=14GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	97.01%	55.22%	83.96%
自己評価共通	95.77%	60.56%	83.90%
外部評価	95.77%	60.56%	83.40%

【神奈川県】

上位5項目

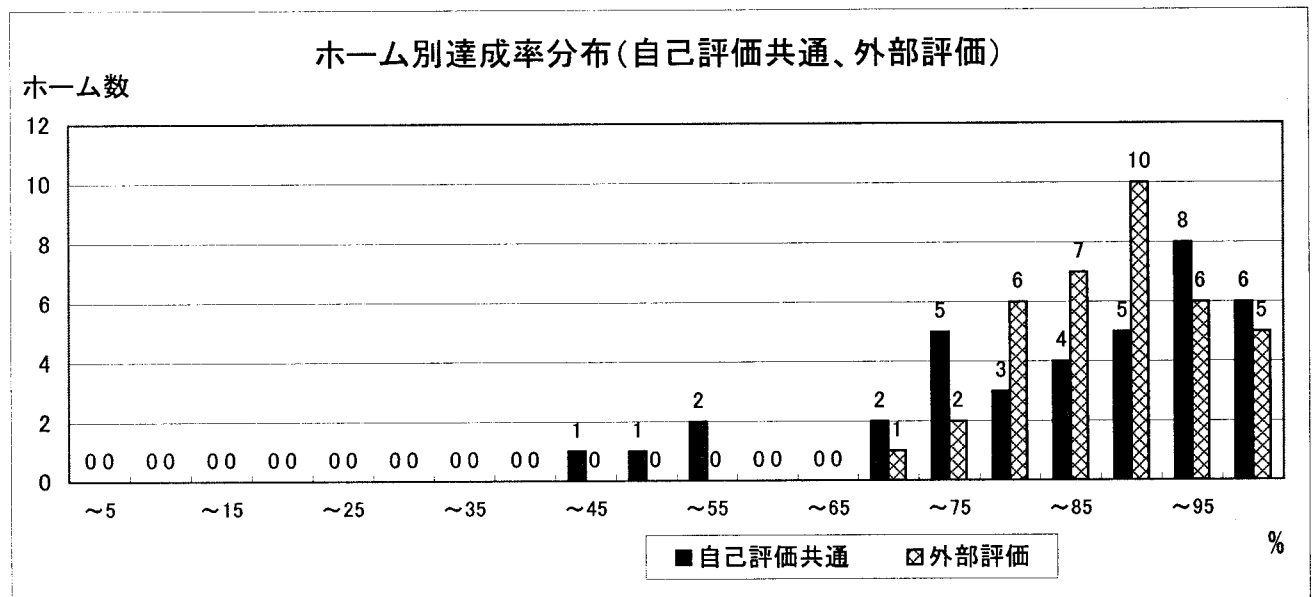
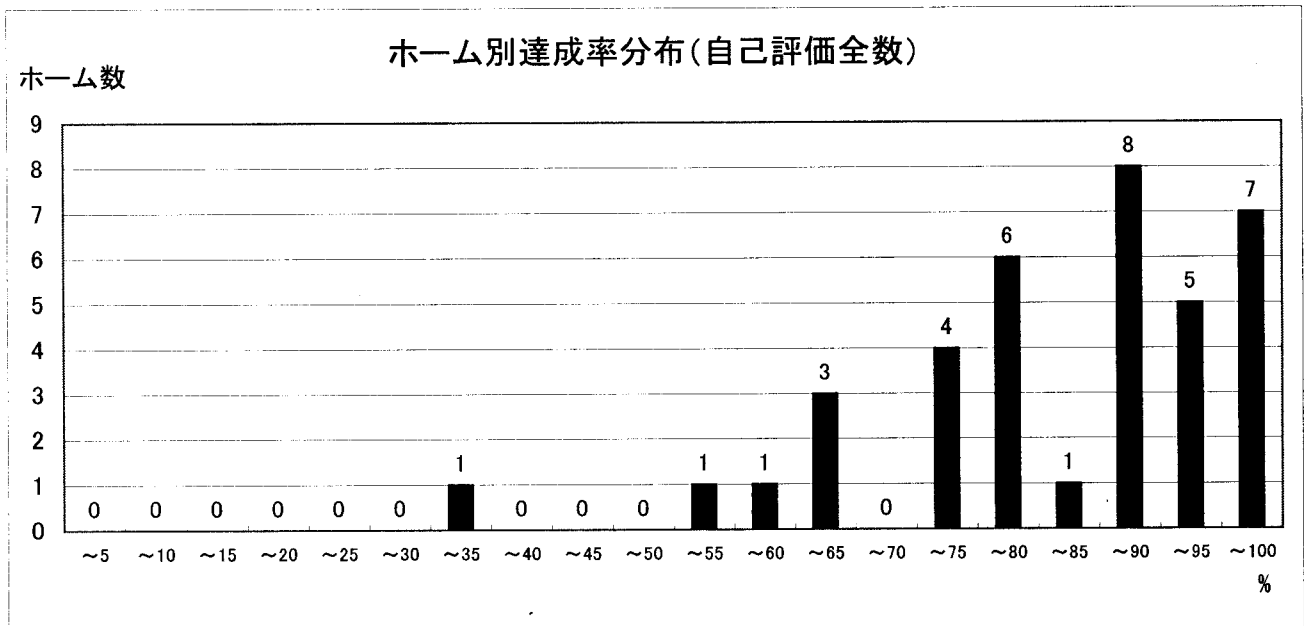
(N=14GH=18ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
16	五感への働きかけの工夫	100.0%	17	時の見当識への配慮	100.0%	11	音の大きさや光の強さに対する配慮	100.0%
17	時の見当識への配慮	100.0%	48	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	100.0%	15	個別具体的な介護計画	100.0%
46	食事のペースを乱さない配慮	100.0%	50	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	100.0%	20	確実な申し送り・情報伝達	100.0%
48	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	100.0%	57	プライドを大切にした整容の支援	100.0%	22	入居者一人ひとりの尊重	100.0%
49	状態にあわせた下着等の使い分け	100.0%	60	安眠の支援	100.0%	23	職員の穏やかな態度	100.0%
50	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	100.0%	66	ホーム内の役割・楽しみごとの支援	100.0%	24	入居者一人ひとりの過去の経験を活かしたケア	100.0%
52	入浴可否の見極め	100.0%	76	身体機能の維持	100.0%	30	馴染みの食器の使用	100.0%
54	入浴時の不安や羞恥心等への配慮	100.0%	96	責任者の協働	100.0%	34	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	100.0%
57	プライドを大切にした整容の支援	100.0%				39	安眠の支援	100.0%
58	衣類の調節の支援	100.0%				46	トラブルへの対応	100.0%
60	安眠の支援	100.0%				60	ホーム内の衛生管理	100.0%
66	ホーム内の役割・楽しみごとの支援	100.0%				63	調査等の訪問に対する対応	100.0%
69	希望する医療機関での受診	100.0%						
76	身体機能の維持	100.0%						
78	トラブルへの対応	100.0%						
84	持病等の管理	100.0%						
88	異変情報及び対応方法の家族との共有	100.0%						
96	責任者の協働	100.0%						
98	管理者による状況把握	100.0%						
108	料金の内訳の明示と説明	100.0%						
110	入退居時のダメージの防止策	100.0%						
113	ごみの処分	100.0%						

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
106	職員の休憩場所の確保	33.3%	38	鍵をかけない工夫	50.0%	36	入居者一人ひとりの希望にあわせた入浴支援	28.6%
120	第三者への相談機会の確保	38.9%	64	金銭管理の支援	50.0%	6	家庭的な共用空間づくり	50.0%
38	鍵をかけない工夫	50.0%	5	運営理念の啓発	55.6%	9	身体機能の低下を補う配慮	50.0%
63	買い物の支援	50.0%	53	入居者一人ひとりの希望にあわせた入浴支援	61.1%	69	地域の人達との交流の促進	50.0%
64	金銭管理の支援	50.0%	130	地域の人達との交流の促進	61.1%	4	運営理念の啓発	57.1%
						17	介護計画への入居者・家族の意見の反映	57.1%
						68	市町村との関わり	57.1%

【新潟県】 (N=37GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	100.00%	32.84%	81.71%
自己評価共通	100.00%	40.85%	81.71%
外部評価	98.59%	69.01%	85.73%

【新潟県】

上位5項目

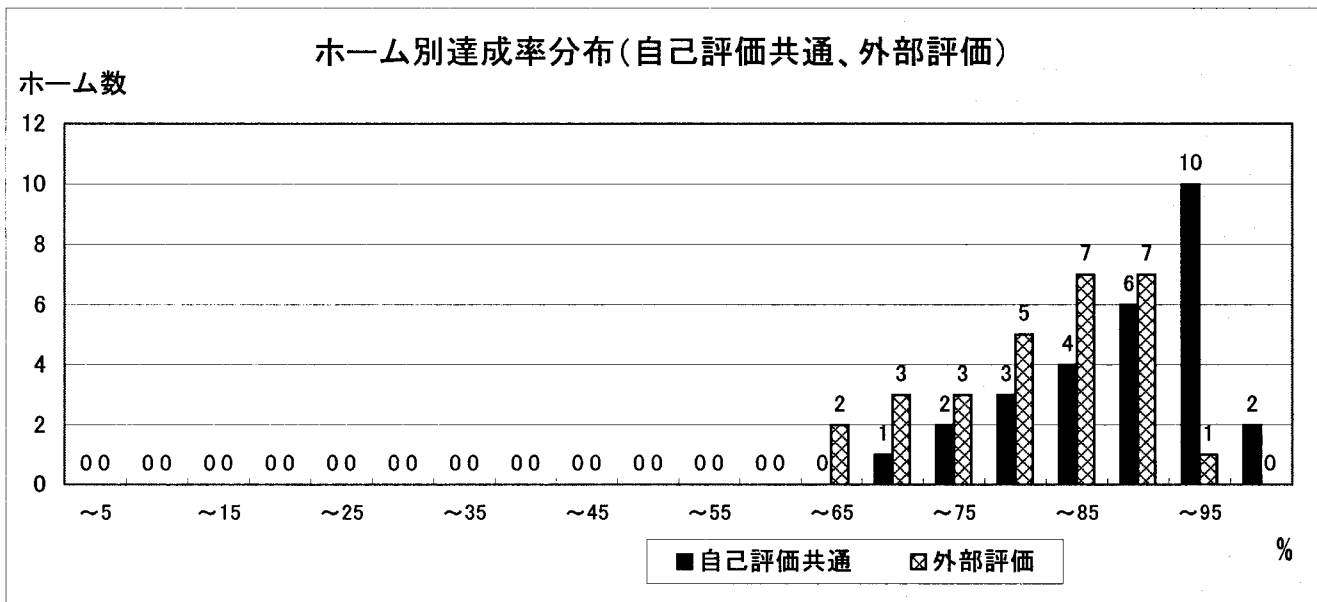
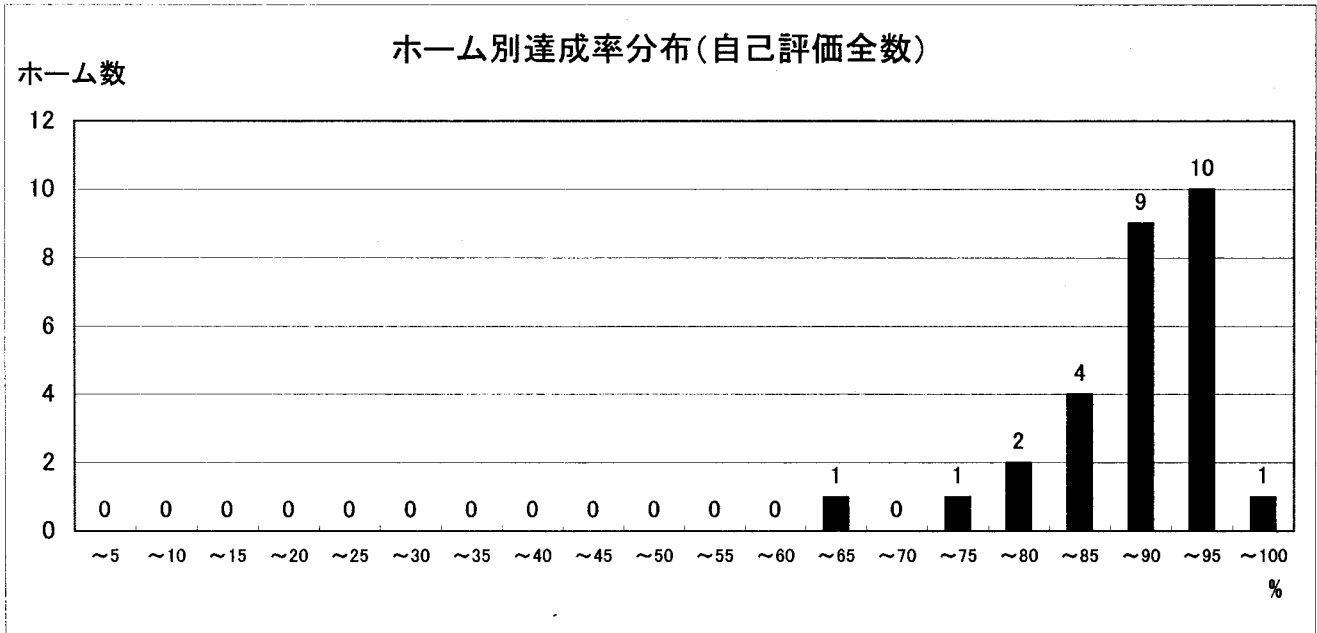
(N=37GH=51ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
42	食べる意欲を引き出す働きかけ	100.0%	109	退居の支援	100.0%	34	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	100.0%
109	退居の支援	100.0%	112	ホーム内の衛生管理	100.0%	38	プライドを大切にした整容の支援	100.0%
112	ホーム内の衛生管理	100.0%	37	拘束のないケアの実践	98.0%	43	早期退院に向けた医療機関との連携	100.0%
12	混乱や失敗を招かない環境づくり	98.0%	57	プライドを大切にした整容の支援	98.0%	11	音の大きさや光の強さに対する配慮	97.3%
37	拘束のないケアの実践	98.0%	47	食事を楽しむことのできる支援	96.1%	19	個別の記録	97.3%
49	状態にあわせた下着等の使い分け	98.0%	96	責任者の協働	96.1%	20	確実な申し送り・情報伝達	97.3%
52	入浴可否の見極め	98.0%	107	入居者の決定のための検討	96.1%	22	入居者一人ひとりの尊重	97.3%
57	プライドを大切にした整容の支援	98.0%	118	調査等の訪問に対する対応	96.1%	35	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	97.3%
61	休息の支援	98.0%				42	医療関係者への相談	97.3%
69	希望する医療機関での受診	98.0%				46	トラブルへの対応	97.3%
110	入退居時のダメージの防止策	98.0%				53	責任者の協働	97.3%
113	ごみの処分	98.0%				58	入居者の決定のための検討	97.3%
121	苦情への迅速な対応	98.0%				60	ホーム内の衛生管理	97.3%
						63	調査等の訪問に対する対応	97.3%

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
5	運営理念の啓発	33.3%	5	運営理念の啓発	33.3%	4	運営理念の啓発	37.8%
130	地域の人達との交流の促進	41.2%	130	地域の人達との交流の促進	41.2%	68	市町村との関わり	48.6%
120	第三者への相談機会の確保	43.1%	127	市町村との関わり	47.1%	71	ホーム機能の地域への還元	48.6%
129	地域との連携	45.1%	105	ストレスの解消策の実施	52.9%	69	地域の人達との交流の促進	59.5%
125	家族同士の交流促進	47.1%	22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	58.8%	70	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	64.9%
127	市町村との関わり	47.1%						

【富山県】 (N=28GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	95.52%	63.43%	86.97%
自己評価共通	97.18%	66.20%	86.78%
外部評価	90.14%	61.97%	79.43%

【富山県】
上位5項目

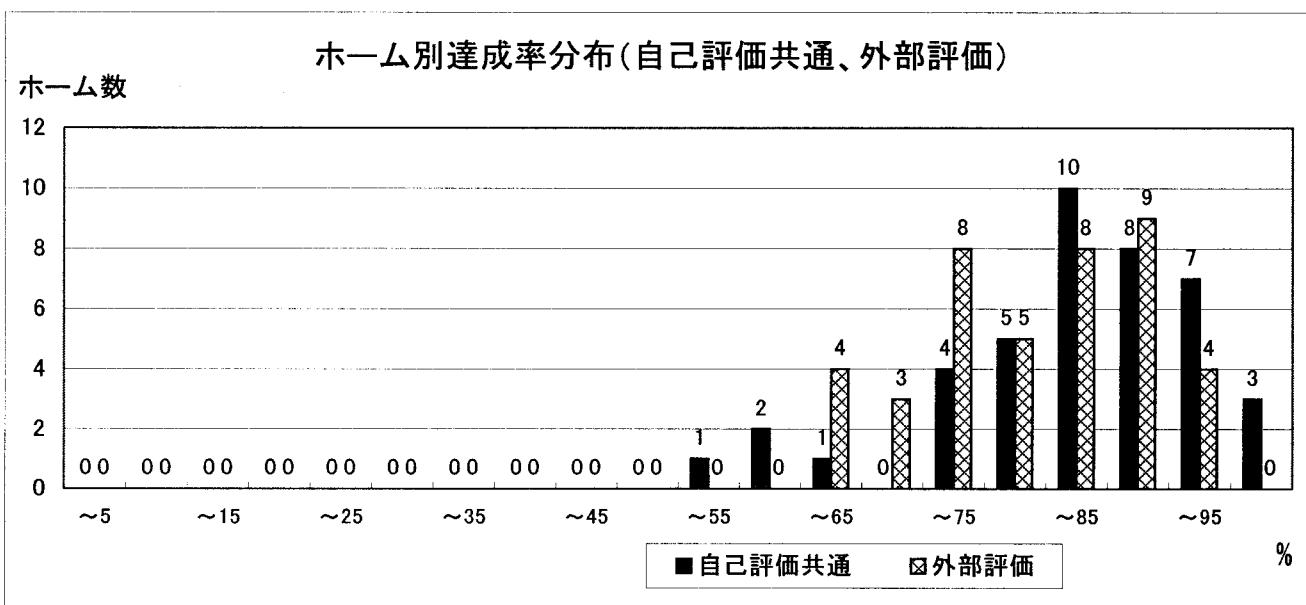
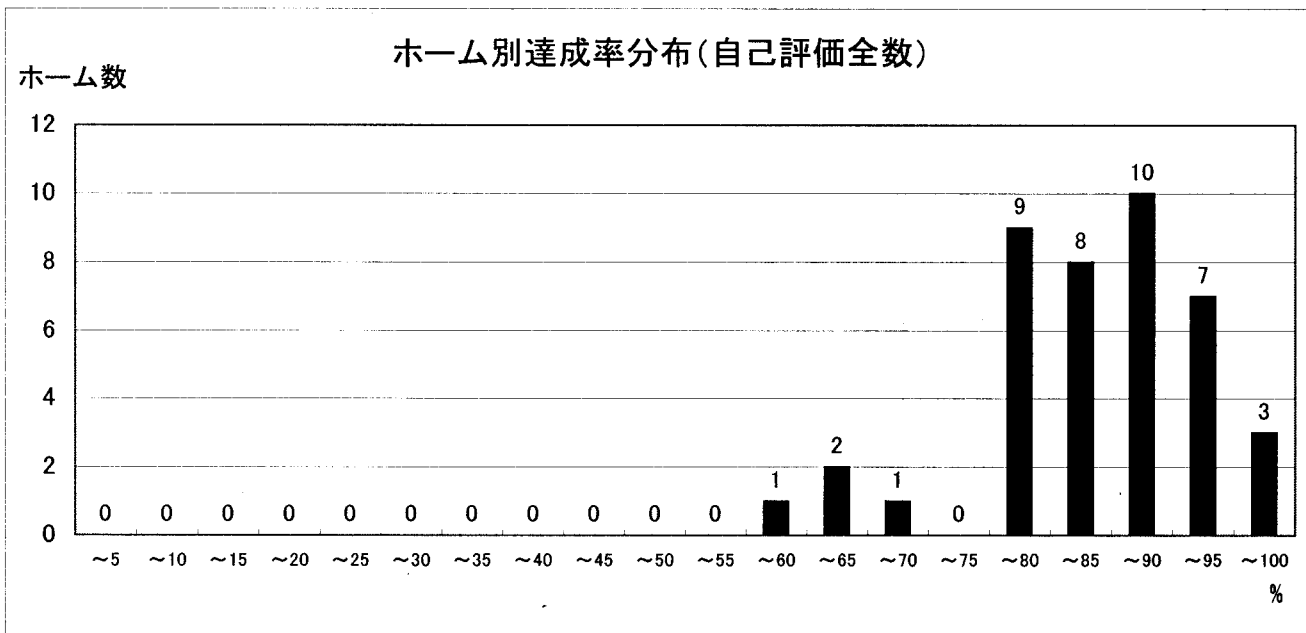
(N=28GH=41ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
13	場所間違い等の防止策	100.0%	13	場所間違い等の防止策	100.0%	37	理美容院の利用支援	100.0%
29	入居者が感情表現できるような働きかけ	100.0%	37	拘束のないケアの実践	100.0%	46	トラブルへの対応	100.0%
37	拘束のないケアの実践	100.0%	48	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	100.0%	60	ホーム内の衛生管理	100.0%
42	食べる意欲を引き出す働きかけ	100.0%	50	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	100.0%	12	換気・空調の配慮	96.4%
48	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	100.0%	56	理美容院の利用支援	100.0%	23	職員の穏やかな態度	96.4%
50	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	100.0%	57	プライドを大切にした整容の支援	100.0%	34	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	96.4%
52	入浴可否の見極め	100.0%	109	退居の支援	100.0%	35	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	96.4%
54	入浴時の不安や羞恥心等への配慮	100.0%	112	ホーム内の衛生管理	100.0%	38	プライドを大切にした整容の支援	96.4%
56	理美容院の利用支援	100.0%	118	調査等の訪問に対する対応	100.0%	39	安眠の支援	96.4%
57	プライドを大切にした整容の支援	100.0%				42	医療関係者への相談	96.4%
58	衣類の調節の支援	100.0%				52	家族の訪問支援	96.4%
59	生活場面にあわせたその人らしい服装支援	100.0%				63	調査等の訪問に対する対応	96.4%
61	休息の支援	100.0%						
69	希望する医療機関での受診	100.0%						
70	痴呆に知見の深い医師の確保	100.0%						
71	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関の確保	100.0%						
81	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	100.0%						
88	異変情報及び対応方法の家族との共有	100.0%						
108	料金の内訳の明示と説明	100.0%						
109	退居の支援	100.0%						
112	ホーム内の衛生管理	100.0%						
113	ごみの処分	100.0%						
118	調査等の訪問に対する対応	100.0%						
121	苦情への迅速な対応	100.0%						

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	36.6%	127	市町村との関わり	36.6%	68	市町村との関わり	25.0%
120	第三者への相談機会の確保	43.9%	64	金銭管理の支援	51.2%	4	運営理念の啓発	32.1%
125	家族同士の交流促進	46.3%	22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	58.5%	49	緊急時の手当	42.9%
91	地域に出やすい周辺環境の整備	48.8%	133	ホーム機能の地域への還元	58.5%	69	地域の人達との交流の促進	42.9%
129	地域との連携	48.8%	85	緊急時の手当	61.0%	70	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	42.9%
134	人材育成への貢献	48.8%	130	地域の人達との交流の促進	61.0%			

【石川県】 (N=41GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	97.26%	56.34%	83.68%
自己評価共通	97.65%	51.41%	82.68%
外部評価	94.37%	63.38%	79.15%

【石川県】

上位5項目

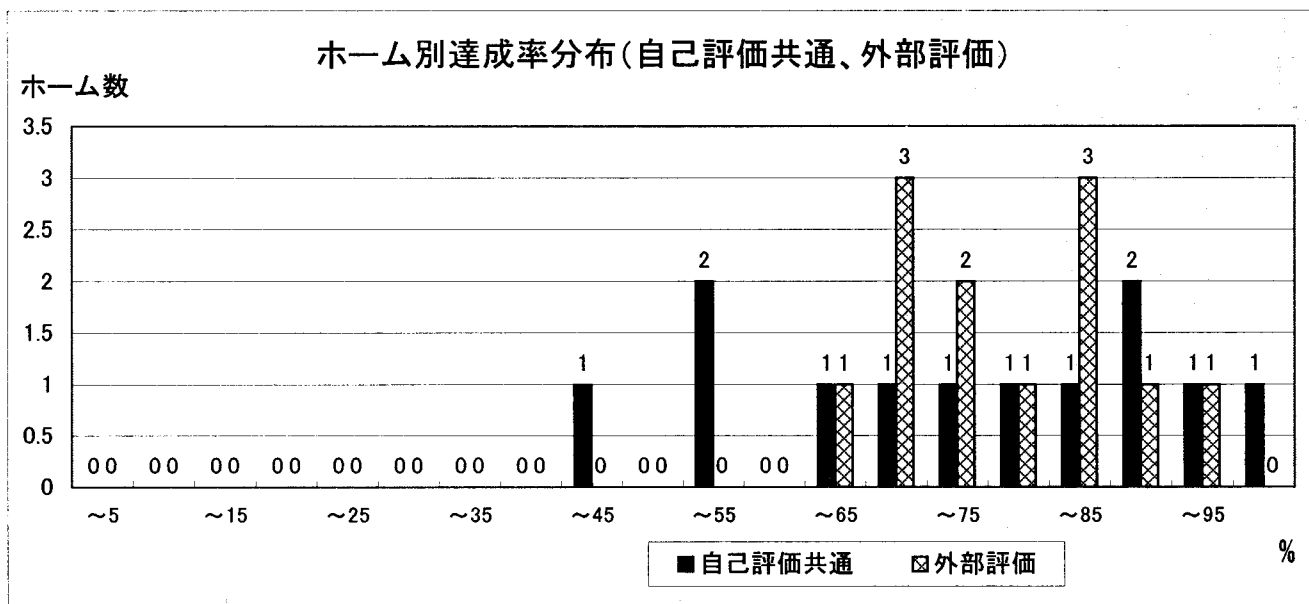
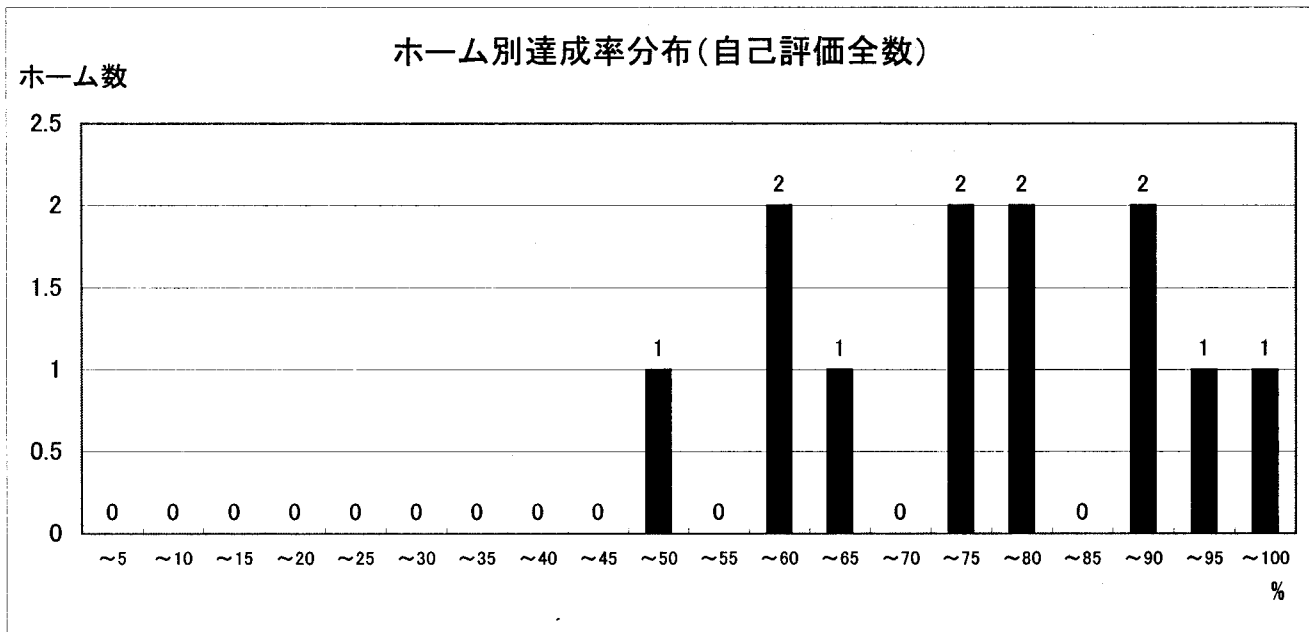
(N=41GH=70ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
34	自信の回復	100.0%	68	医療関係者への相談	100.0%	28	拘束のないケアの実践	100.0%
61	休息の支援	100.0%	44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	98.6%	38	プライドを大切にされた整容の支援	100.0%
68	医療関係者への相談	100.0%	109	退居の支援	98.6%	42	医療関係者への相談	100.0%
108	料金の内訳の明示と説明	100.0%	114	注意の必要な物品の保管・管理	98.6%	64	相談・苦情受付の明示	100.0%
113	ごみの処分	100.0%	4	権利・義務の明示	97.1%	3	権利・義務の明示	97.6%
16	五感への働きかけの工夫	98.6%	37	拘束のないケアの実践	97.1%	10	場所間違い等の防止策	97.6%
36	共に支えあう場面づくり	98.6%	122	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	97.1%	39	安眠の支援	97.6%
44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	98.6%				46	トラブルへの対応	97.6%
58	衣類の調節の支援	98.6%				60	ホーム内の衛生管理	97.6%
81	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	98.6%				63	調査等の訪問に対する対応	97.6%
109	退居の支援	98.6%						
114	注意の必要な物品の保管・管理	98.6%						
124	外泊時の家族との情報交換	98.6%						

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
125	家族同士の交流促進	24.3%	127	市町村との関わり	32.9%	68	市町村との関わり	26.8%
127	市町村との関わり	32.9%	5	運営理念の啓発	45.7%	4	運営理念の啓発	34.1%
5	運営理念の啓発	45.7%	85	緊急時の手当	45.7%	36	入居者一人ひとりの希望にあわせた入浴支援	46.3%
85	緊急時の手当	45.7%	130	地域の人達との交流の促進	52.9%	49	緊急時の手当	46.3%
129	地域との連携	48.6%	22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	57.1%	69	地域の人達との交流の促進	46.3%
			38	鍵をかけない工夫	57.1%			

【福井県】 (N=12GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	95.90%	47.76%	74.16%
自己評価共通	97.18%	43.66%	72.63%
外部評価	91.55%	61.97%	75.47%

【福井県】
上位5項目

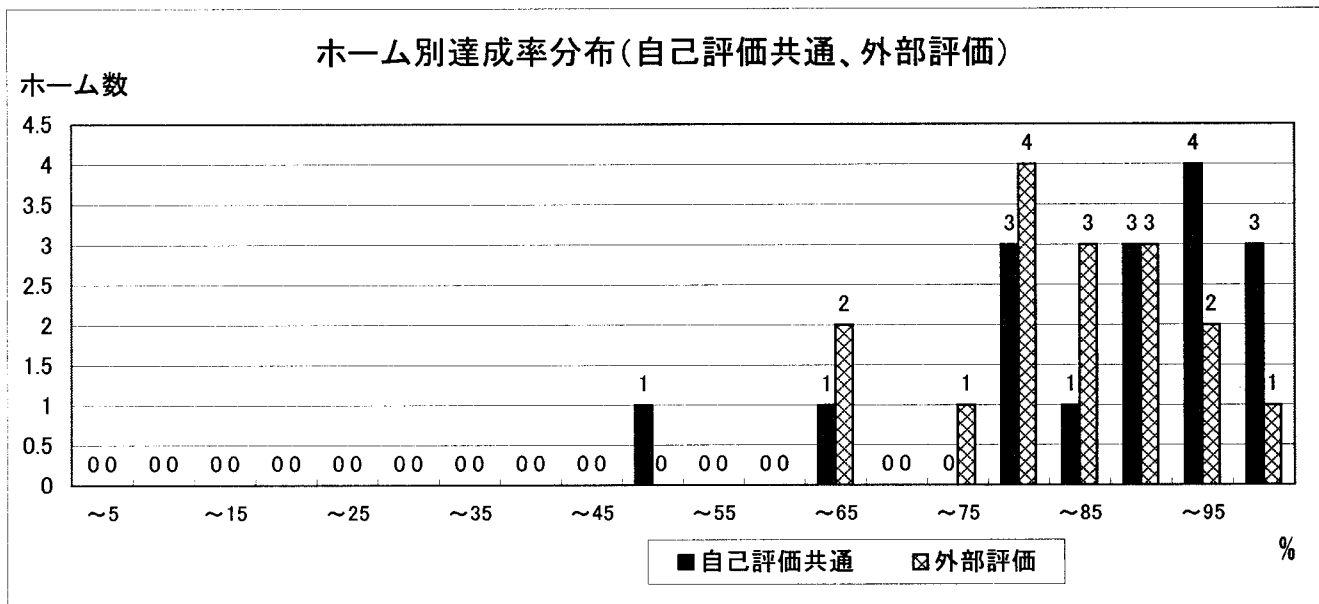
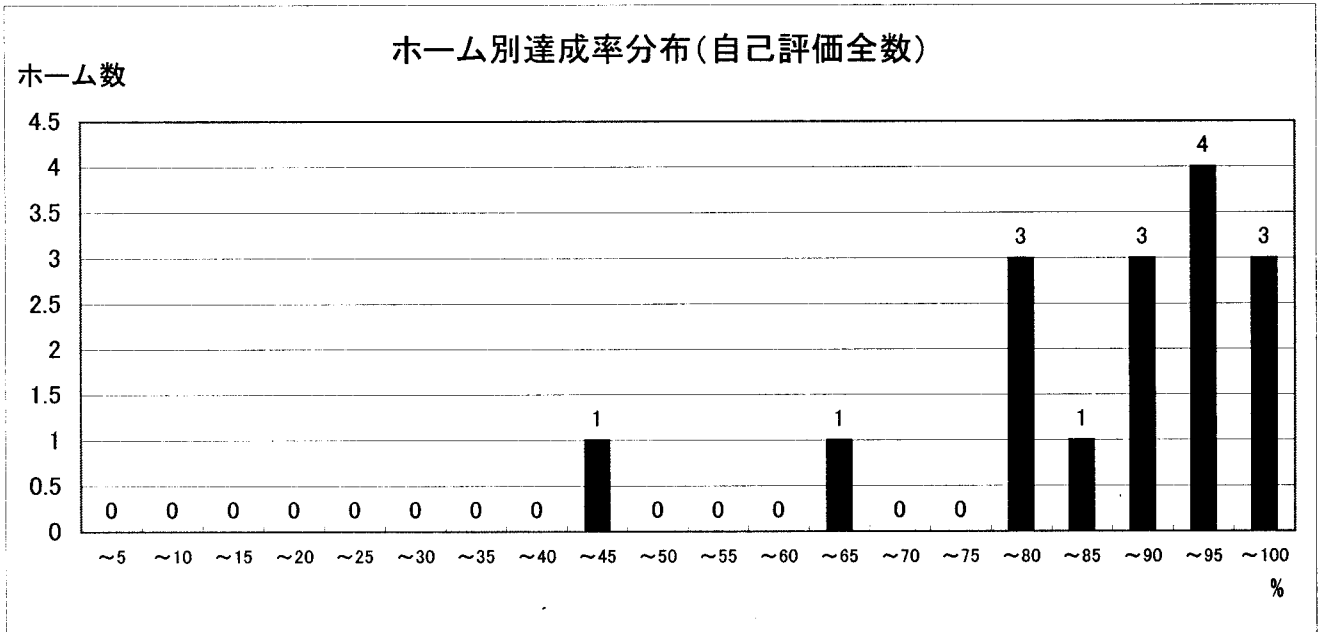
(N=12GH=18ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
13	場所間違い等の防止策	100.0%	13	場所間違い等の防止策	100.0%	11	音の大きさや光の強さに対する配慮	100.0%
68	医療関係者への相談	100.0%	68	医療関係者への相談	100.0%	35	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	100.0%
69	希望する医療機関での受診	100.0%	112	ホーム内の衛生管理	100.0%	37	理美容院の利用支援	100.0%
84	持病等の管理	100.0%	14	音の大きさや光の強さに対する配慮	94.4%	38	プライドを大切にした整容の支援	100.0%
108	料金の内訳の明示と説明	100.0%	15	換気・空調の配慮	94.4%	42	医療関係者への相談	100.0%
112	ホーム内の衛生管理	100.0%	17	時の見当識への配慮	94.4%	46	トラブルへの対応	100.0%
12	混乱や失敗を招かない環境づくり	94.4%	44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	94.4%	48	服薬の支援	100.0%
14	音の大きさや光の強さに対する配慮	94.4%	118	調査等の訪問に対する対応	94.4%	63	調査等の訪問に対する対応	100.0%
15	換気・空調の配慮	94.4%						
16	五感への働きかけの工夫	94.4%						
17	時の見当識への配慮	94.4%						
36	共に支えあう場面づくり	94.4%						
44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	94.4%						
58	衣類の調節の支援	94.4%						
61	休息の支援	94.4%						
70	痴呆に知見の深い医師の確保	94.4%						
78	トラブルへの対応	94.4%						
88	異変情報及び対応方法の家族との共有	94.4%						
118	調査等の訪問に対する対応	94.4%						

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
129	地域との連携	16.7%	5	運営理念の啓発	33.3%	68	市町村との関わり	16.7%
91	地域に出やすい周辺環境の整備	22.2%	6	気軽に入れる玄関まわり等の配慮	38.9%	4	運営理念の啓発	33.3%
125	家族同士の交流促進	22.2%	22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	38.9%	49	緊急時の手当	33.3%
120	第三者への相談機会の確保	27.8%	47	食事を楽しむことのできる支援	38.9%	69	地域の人達との交流の促進	33.3%
5	運営理念の啓発	33.3%	127	市町村との関わり	38.9%	70	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	33.3%
134	人材育成への貢献	33.3%						

【山梨県】 (N=16GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	100.00%	42.54%	84.54%
自己評価共通	100.00%	46.48%	84.38%
外部評価	95.77%	61.97%	81.51%

【山梨県】

上位5項目

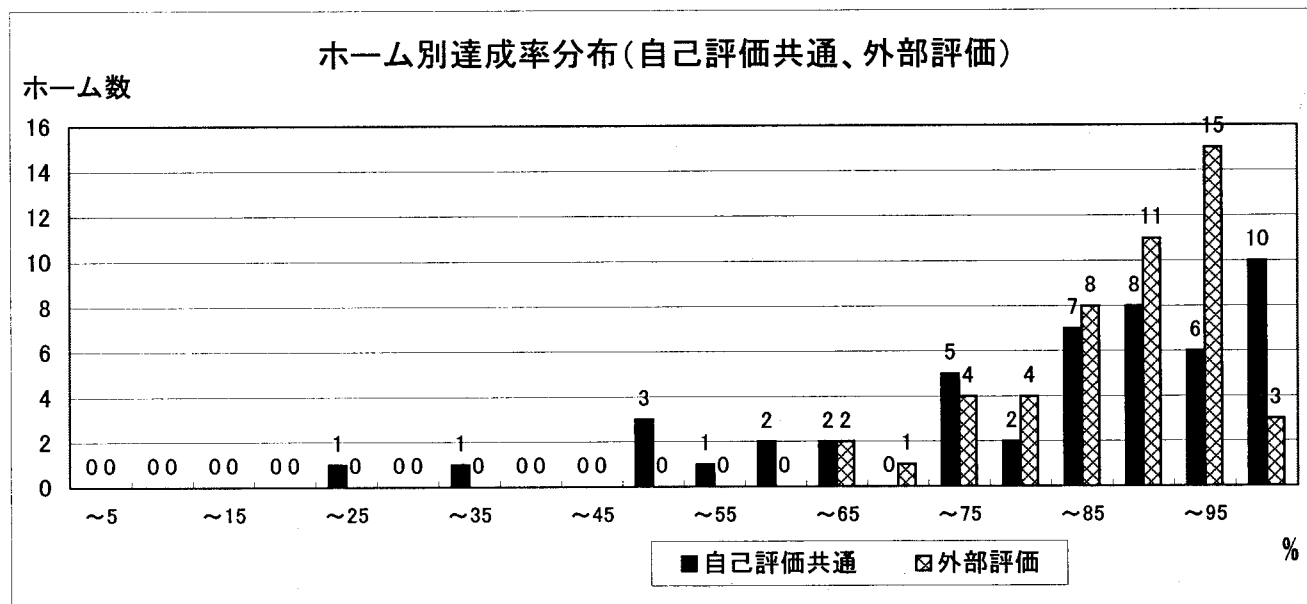
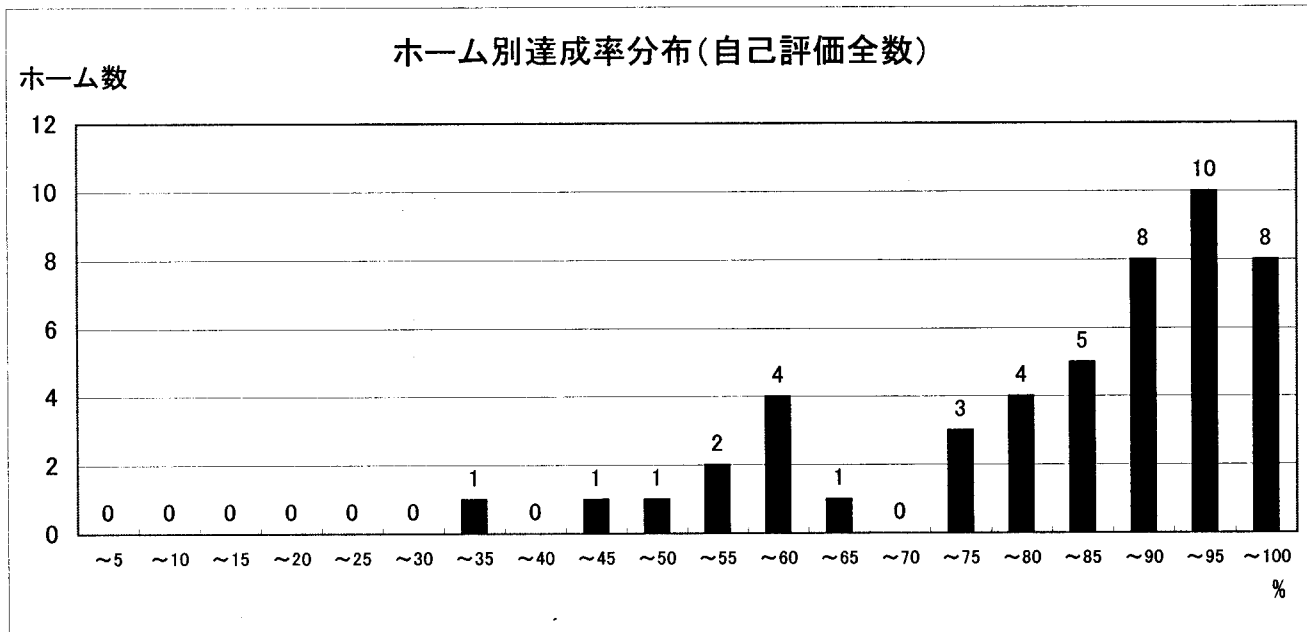
(N=16GH=18ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
4	権利・義務の明示	100.0%	4	権利・義務の明示	100.0%	16	介護計画の職員間での共有	100.0%
36	共に支えあう場面づくり	100.0%	37	拘束のないケアの実践	100.0%	19	個別の記録	100.0%
37	拘束のないケアの実践	100.0%	43	馴染みの食器の使用	100.0%	28	拘束のないケアの実践	100.0%
43	馴染みの食器の使用	100.0%	48	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	100.0%	30	馴染みの食器の使用	100.0%
48	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	100.0%	60	安眠の支援	100.0%	31	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	100.0%
49	状態にあわせた下着等の使い分け	100.0%	68	医療関係者への相談	100.0%	38	プライドを大切にされた整容の支援	100.0%
54	入浴時の不安や羞恥心等への配慮	100.0%	90	ホームに閉じこもらない生活の支援	100.0%	41	ホーム内の役割・楽しみごとの支援	100.0%
58	衣類の調節の支援	100.0%	101	入居者の状態に応じた職員の確保	100.0%	42	医療関係者への相談	100.0%
60	安眠の支援	100.0%	109	退居の支援	100.0%	52	家族の訪問支援	100.0%
61	休息の支援	100.0%	126	入居者の金銭管理	100.0%			
62	身辺を整える際の支援	100.0%						
68	医療関係者への相談	100.0%						
69	希望する医療機関での受診	100.0%						
77	入居者同士の支えあい支援	100.0%						
89	家族が通院介助を行った時の情報交換	100.0%						
90	ホームに閉じこもらない生活の支援	100.0%						
98	管理者による状況把握	100.0%						
101	入居者の状態に応じた職員の確保	100.0%						
108	料金の内訳の明示と説明	100.0%						
109	退居の支援	100.0%						
111	手洗い、うがい	100.0%						
126	入居者の金銭管理	100.0%						

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	22.2%	127	市町村との関わり	22.2%	68	市町村との関わり	25.0%
120	第三者への相談機会の確保	44.4%	22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	50.0%	61	注意の必要な物品の保管・管理	37.5%
22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	50.0%	64	金銭管理の支援	50.0%	4	運営理念の啓発	43.8%
64	金銭管理の支援	50.0%	85	緊急時の手当	50.0%	29	鍵をかけない工夫	43.8%
85	緊急時の手当	50.0%	130	地域の人達との交流の促進	50.0%	57	ストレスの解消策の実施	43.8%
130	地域の人達との交流の促進	50.0%						
134	人材育成への貢献	50.0%						

【長野県】 (N=48GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	98.51%	34.33%	80.91%
自己評価共通	100.00%	23.94%	79.94%
外部評価	97.18%	63.38%	85.06%

【長野県】
上位5項目

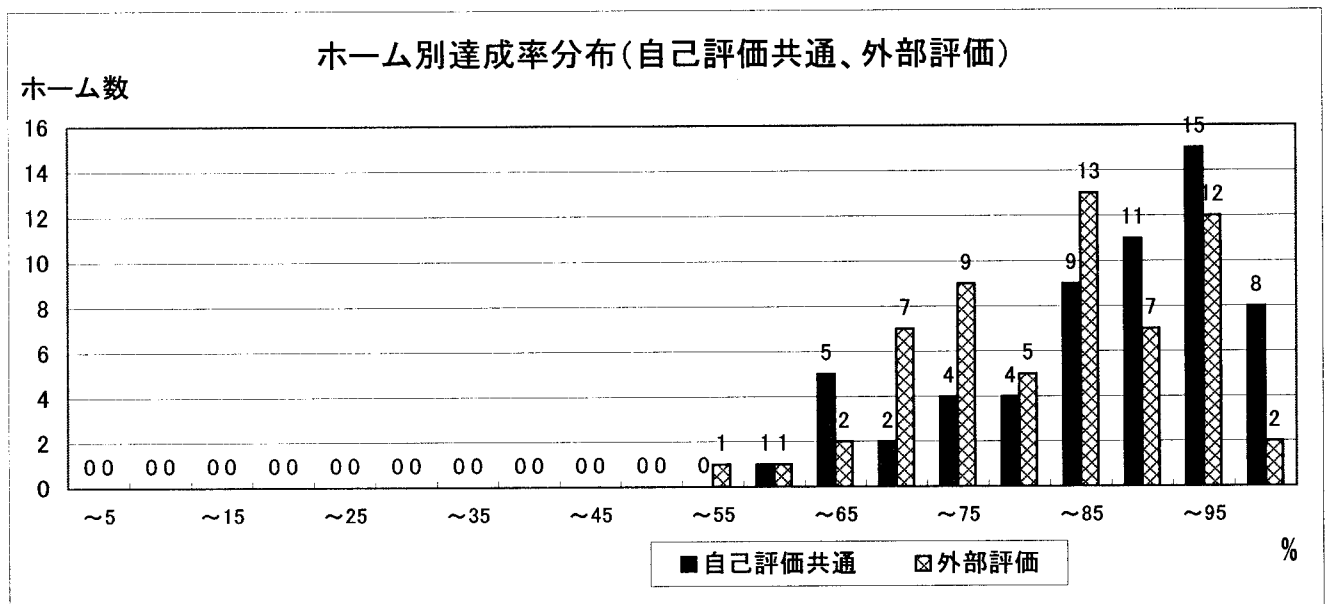
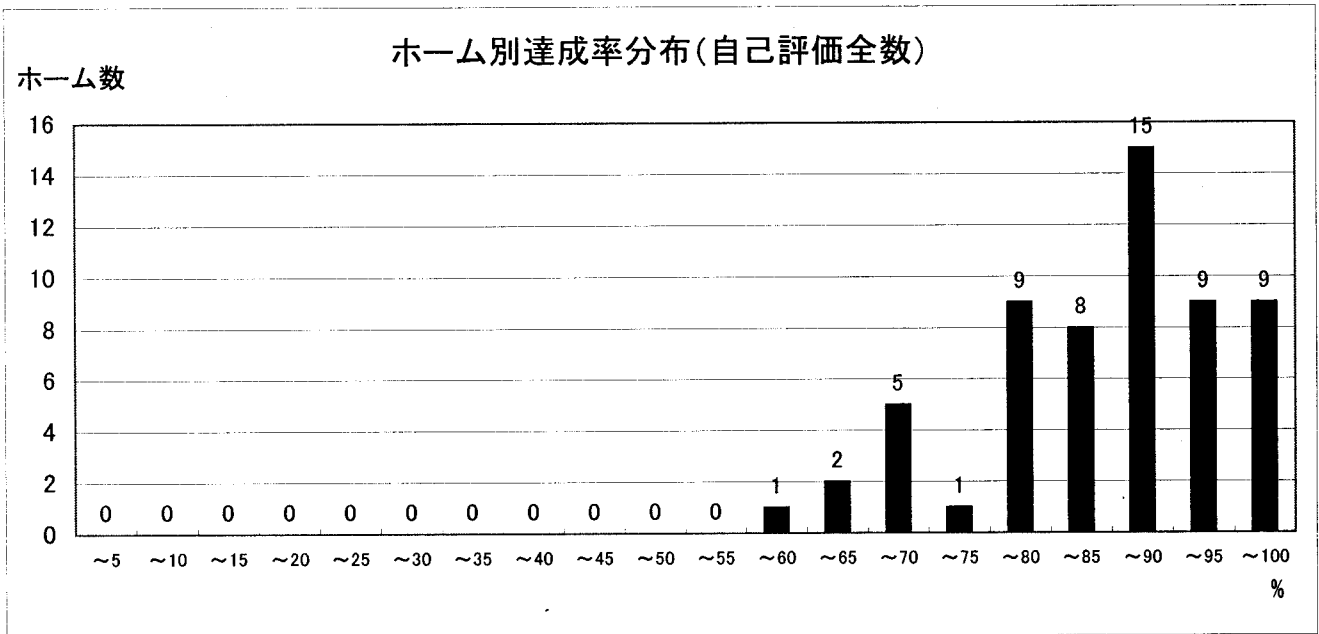
(N=48GH=55ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
49	状態にあわせた下着等の使い分け	100.0%	44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	96.4%	35	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	100.0%
113	ごみの処分	100.0%	78	トラブルへの対応	96.4%	38	プライドを大切にした整容の支援	100.0%
61	休息の支援	98.2%	47	食事を楽しむことのできる支援	94.5%	39	安眠の支援	100.0%
88	異変情報及び対応方法の家族との共有	98.2%	48	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	94.5%	63	調査等の訪問に対する対応	100.0%
108	料金の内訳の明示と説明	98.2%	112	ホーム内の衛生管理	94.5%	12	換気・空調の配慮	97.9%
124	外泊時の家族との情報交換	98.2%	114	注意の必要な物品の保管・管理	94.5%	23	職員の穏やかな態度	97.9%
						52	家族の訪問支援	97.9%
						60	ホーム内の衛生管理	97.9%

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
120	第三者への相談機会の確保	47.3%	28	職員の穏やかな態度	54.5%	49	緊急時の手当	52.1%
115	緊急時の対応の周知	52.7%	127	市町村との関わり	54.5%	50	感染症対策	58.3%
28	職員の穏やかな態度	54.5%	22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	56.4%	68	市町村との関わり	58.3%
127	市町村との関わり	54.5%	85	緊急時の手当	56.4%	17	介護計画への入居者・家族の意見の反映	64.6%
131	生活の拡充を支える近隣住民等への働きかけ	54.5%	5	運営理念の啓発	58.2%	4	運営理念の啓発	66.7%
			86	感染症対策	58.2%	36	入居者一人ひとりの希望にあわせた入浴支援	66.7%

【岐阜県】 (N=59GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	99.25%	59.70%	84.31%
自己評価共通	98.59%	57.75%	84.04%
外部評価	95.77%	53.52%	80.26%

【岐阜県】

上位5項目

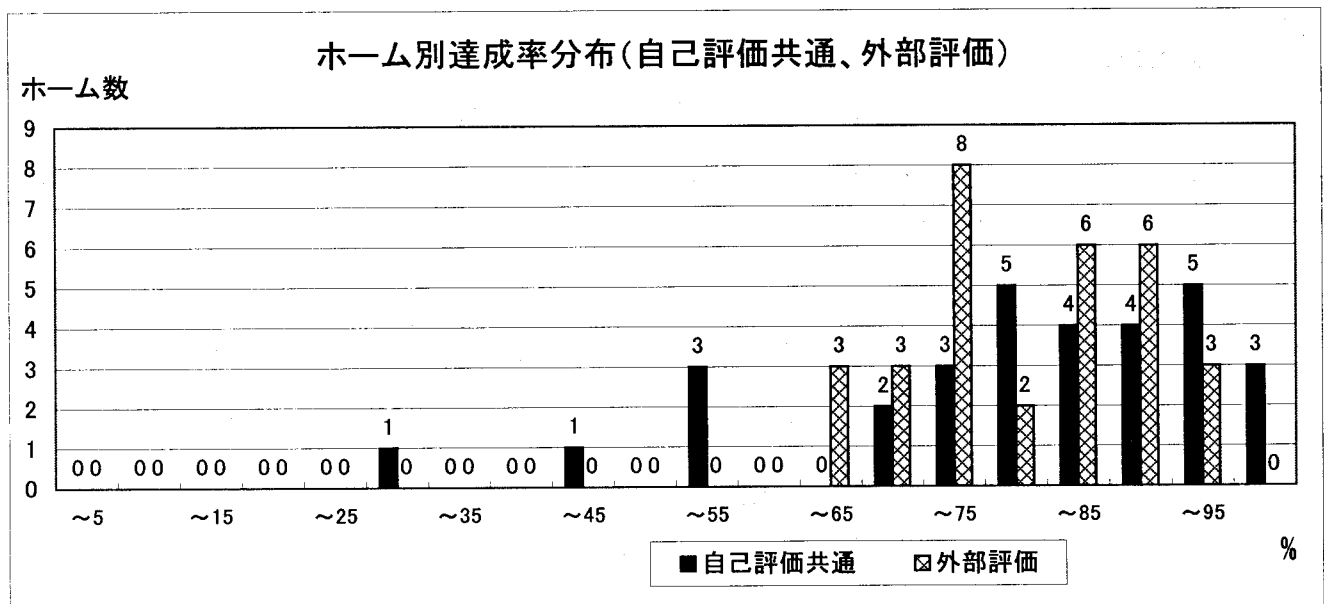
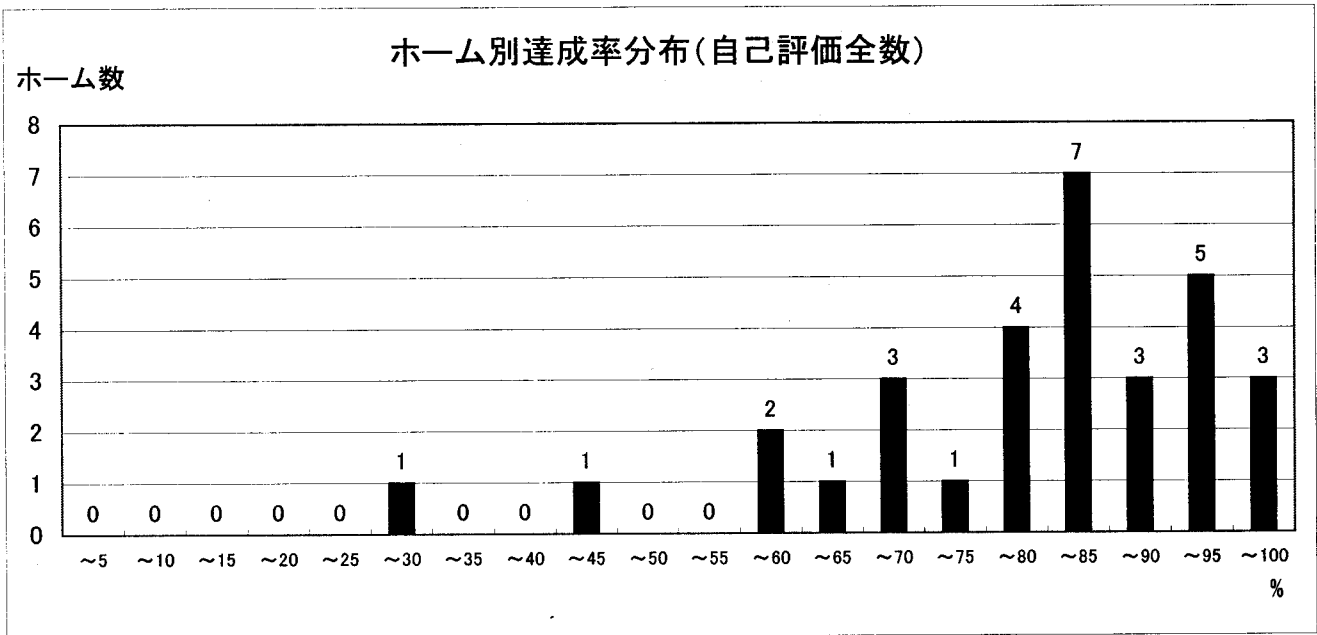
(N=59GH=77ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
88	異変情報及び対応方法の家族との共有	100.0%	68	医療関係者への相談	98.7%	63	調査等の訪問に対する対応	100.0%
41	献立の工夫	98.7%	112	ホーム内の衛生管理	98.7%	12	換気・空調の配慮	98.3%
52	入浴可否の見極め	98.7%	15	換気・空調の配慮	97.4%	38	プライドを大切にされた整容の支援	98.3%
61	休息の支援	98.7%	109	退居の支援	97.4%	42	医療関係者への相談	98.3%
68	医療関係者への相談	98.7%	114	注意の必要な物品の保管・管理	97.4%	20	確実な申し送り・情報伝達	96.6%
71	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関の確保	98.7%				34	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	96.6%
112	ホーム内の衛生管理	98.7%				39	安眠の支援	96.6%

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	33.8%	127	市町村との関わり	33.8%	68	市町村との関わり	30.5%
129	地域との連携	39.0%	5	運営理念の啓発	49.4%	4	運営理念の啓発	42.4%
125	家族同士の交流促進	45.5%	64	金銭管理の支援	50.6%	17	介護計画への入居者・家族の意見の反映	45.8%
5	運営理念の啓発	49.4%	130	地域の人達との交流の促進	54.5%	49	緊急時の手当	52.5%
64	金銭管理の支援	50.6%	22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	57.1%	36	入居者一人ひとりの希望にあわせた入浴支援	57.6%
95	家族の参加支援	50.6%	132	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	57.1%	40	金銭管理の支援	57.6%

【静岡県】 (N=31GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	100.00%	28.36%	78.27%
自己評価共通	100.00%	28.17%	77.76%
外部評価	94.37%	63.38%	78.83%

【静岡県】
上位5項目

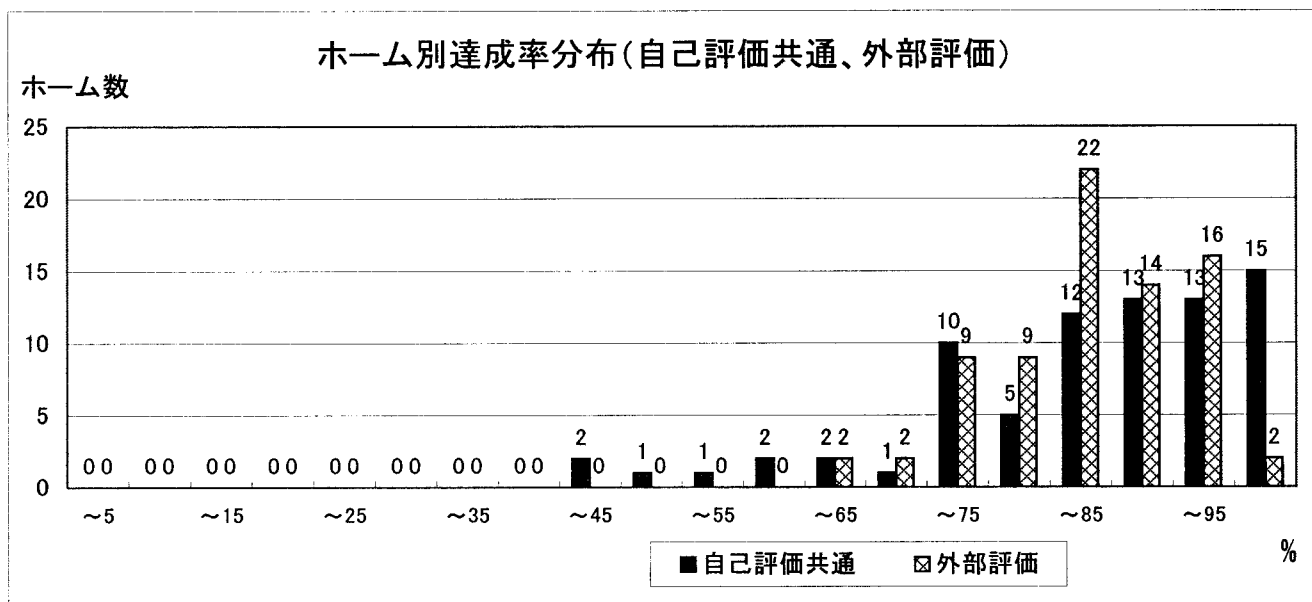
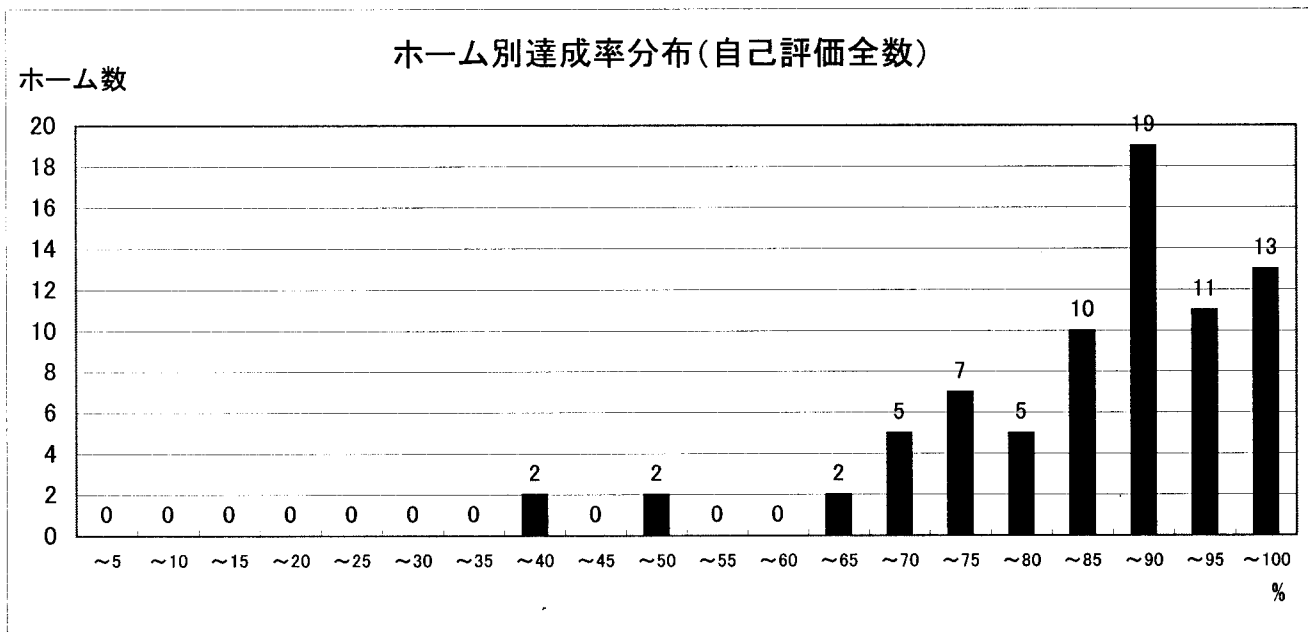
(N=31GH=51ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
69	希望する医療機関での受診	100.0%	17	時の見当識への配慮	98.0%	11	音の大きさや光の強さに対する配慮	100.0%
108	料金の内訳の明示と説明	100.0%	118	調査等の訪問に対する対応	96.1%	28	拘束のないケアの実践	100.0%
17	時の見当識への配慮	98.0%	13	場所間違い等の防止策	94.1%	42	医療関係者への相談	100.0%
34	自信の回復	98.0%	44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	94.1%	63	調査等の訪問に対する対応	100.0%
49	状態にあわせた下着等の使い分け	98.0%	68	医療関係者への相談	94.1%	12	換気・空調の配慮	96.8%
52	入浴可否の見極め	98.0%				38	プライドを大切にした整容の支援	96.8%
89	家族が通院介助を行った時の情報交換	98.0%						

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	27.5%	127	市町村との関わり	27.5%	68	市町村との関わり	25.8%
125	家族同士の交流促進	31.4%	5	運営理念の啓発	39.2%	4	運営理念の啓発	29.0%
5	運営理念の啓発	39.2%	85	緊急時の手当	41.2%	69	地域の人達との交流の促進	41.9%
85	緊急時の手当	41.2%	130	地域の人達との交流の促進	45.1%	17	介護計画への入居者・家族の意見の反映	45.2%
95	家族の参加支援	43.1%	132	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	45.1%	49	緊急時の手当	45.2%

【愛知県】 (N=76GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	100.00%	35.82%	83.04%
自己評価共通	100.00%	40.85%	82.82%
外部評価	97.18%	63.38%	83.38%

【愛知県】

上位5項目

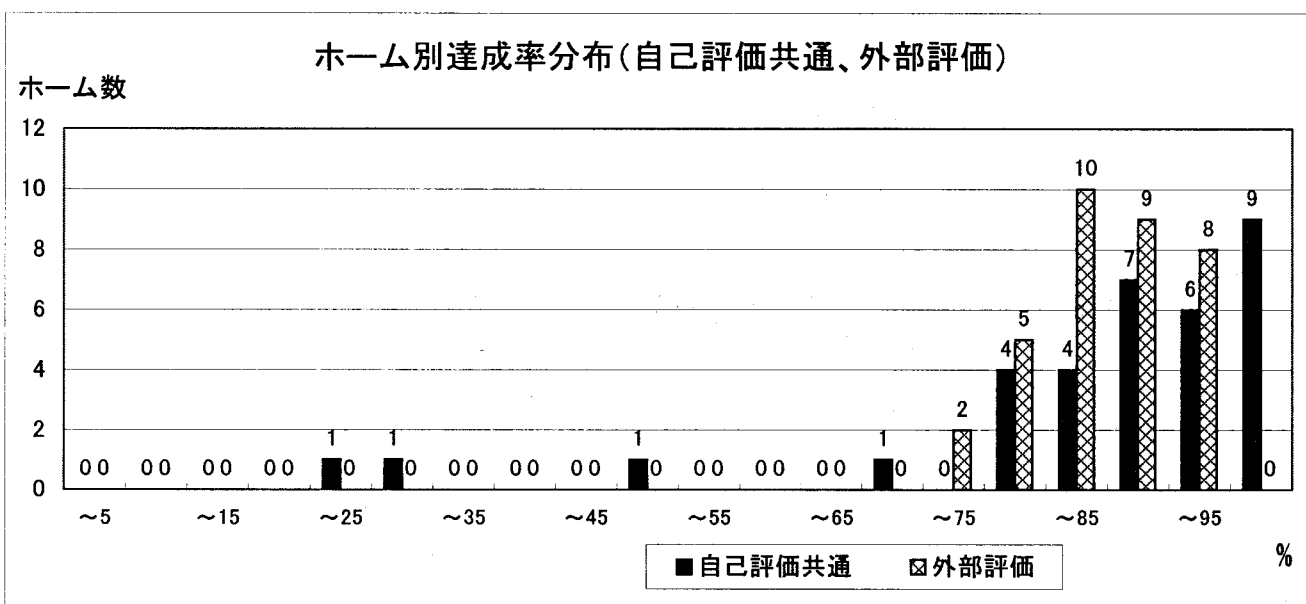
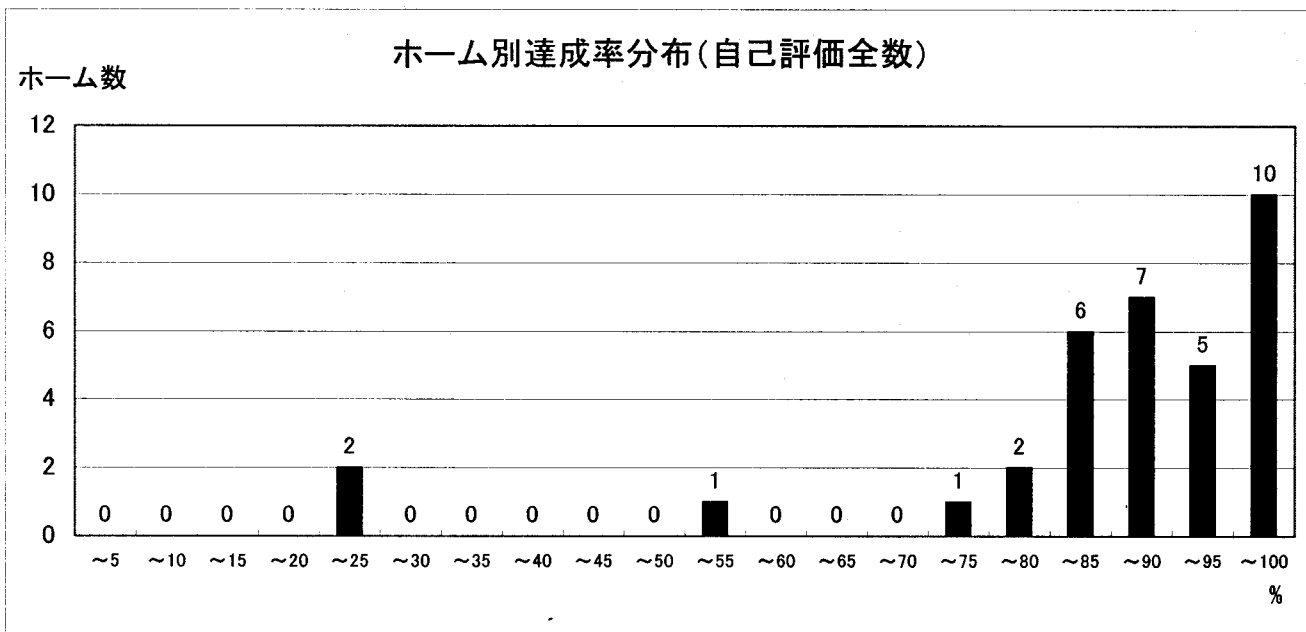
(N=76GH=109ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
52	入浴可否の見極め	100.0%	68	医療関係者への相談	97.2%	42	医療関係者への相談	100.0%
69	希望する医療機関での受診	99.1%	76	身体機能の維持	96.3%	46	トラブルへの対応	100.0%
81	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	99.1%	112	ホーム内の衛生管理	96.3%	38	プライドを大切にした整容の支援	98.7%
88	異変情報及び対応方法の家族との共有	99.1%	78	トラブルへの対応	95.4%	39	安眠の支援	98.7%
98	管理者による状況把握	98.2%	114	注意の必要な物品の保管・管理	95.4%	12	換気・空調の配慮	97.4%
108	料金の内訳の明示と説明	98.2%				45	身体機能の維持	97.4%
						63	調査等の訪問に対する対応	97.4%

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	43.1%	127	市町村との関わり	43.1%	68	市町村との関わり	38.2%
5	運営理念の啓発	45.9%	5	運営理念の啓発	45.9%	49	緊急時の手当	47.4%
125	家族同士の交流促進	49.5%	22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	53.2%	17	介護計画への入居者・家族の意見の反映	50.0%
120	第三者への相談機会の確保	50.5%	105	ストレスの解消策の実施	56.0%	4	運営理念の啓発	51.3%
22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	53.2%	85	緊急時の手当	58.7%	61	注意の必要な物品の保管・管理	60.5%
			103	継続的な研修の受講	58.7%			

【三重県】 (N=34GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	100.00%	21.64%	84.34%
自己評価共通	100.00%	22.54%	83.94%
外部評価	92.96%	71.83%	84.47%

【三重県】

上位5項目

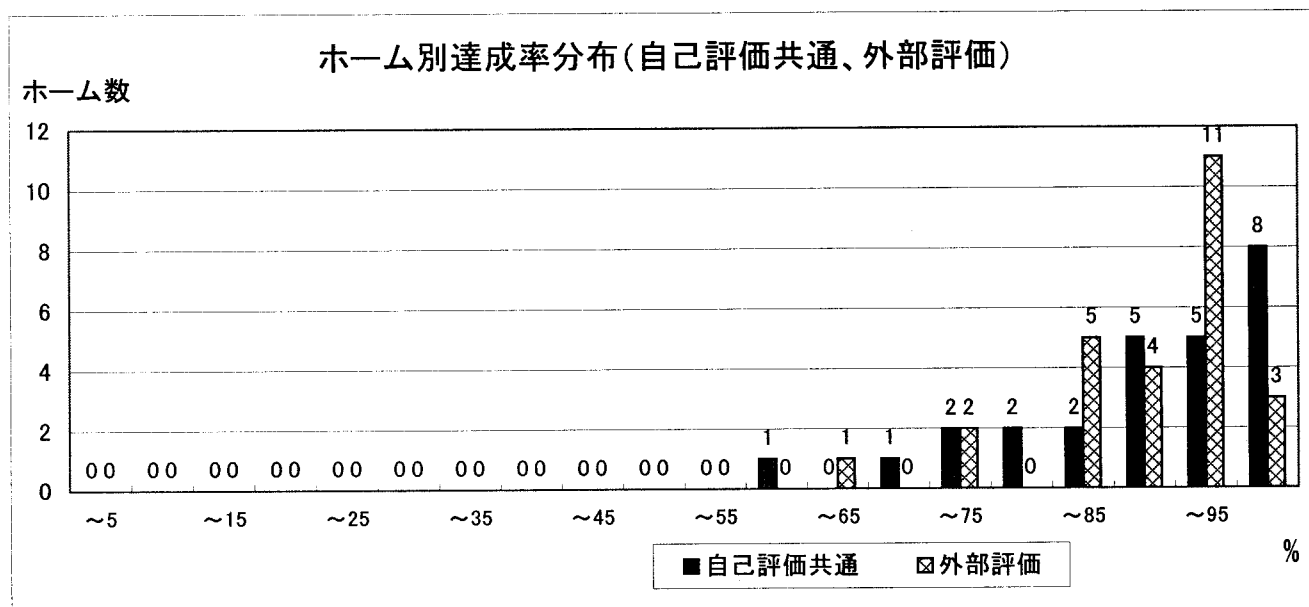
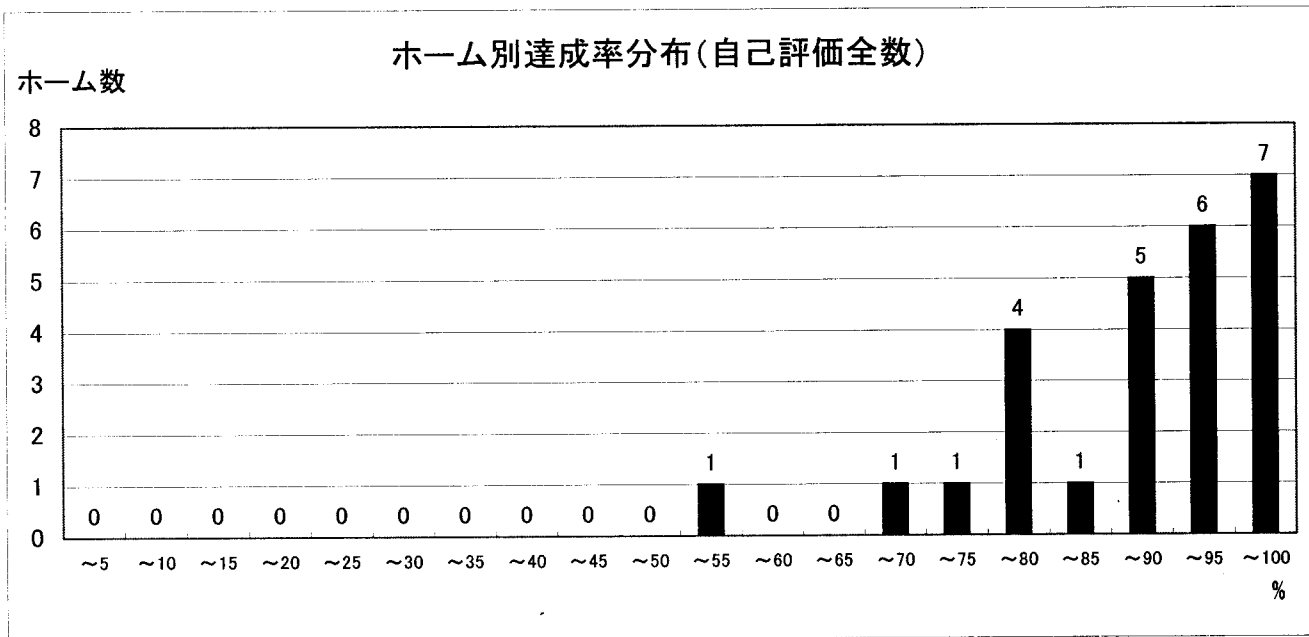
(N=34GH=47ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
54	入浴時の不安や羞恥心等への配慮	100.0%	109	退居の支援	100.0%	19	個別の記録	100.0%
71	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関の確保	100.0%	7	家庭的な共用空間づくり	97.9%	20	確実な申し送り・情報伝達	100.0%
98	管理者による状況把握	100.0%	68	医療関係者への相談	97.9%	39	安眠の支援	100.0%
108	料金の内訳の明示と説明	100.0%	6	気軽に入れる玄関まわり等の配慮	95.7%	42	医療関係者への相談	100.0%
109	退居の支援	100.0%	17	時の見当識への配慮	95.7%	46	トラブルへの対応	100.0%
			44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	95.7%	58	入居者の決定のための検討	100.0%
			48	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	95.7%			
			50	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	95.7%			
			78	トラブルへの対応	95.7%			
			80	口腔内の清潔保持	95.7%			
			112	ホーム内の衛生管理	95.7%			

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	36.2%	127	市町村との関わり	36.2%	68	市町村との関わり	26.5%
129	地域との連携	42.6%	130	地域の人達との交流の促進	48.9%	2	運営理念の明示	50.0%
130	地域の人達との交流の促進	48.9%	132	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	66.0%	4	運営理念の啓発	55.9%
40	献立づくりや調理等への入居者の参画	59.6%	38	鍵をかけない工夫	68.1%	62	事故の報告書と活用	55.9%
91	地域に出やすい周辺環境の整備	59.6%	5	運営理念の啓発	70.2%	69	地域の人達との交流の促進	55.9%
134	人材育成への貢献	59.6%	64	金銭管理の支援	70.2%	70	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	55.9%
			85	緊急時の手当	70.2%			

【滋賀県】 (N=26GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	99.25%	52.24%	87.21%
自己評価共通	100.00%	57.75%	87.38%
外部評価	95.77%	60.56%	87.05%

【滋賀県】

上位5項目

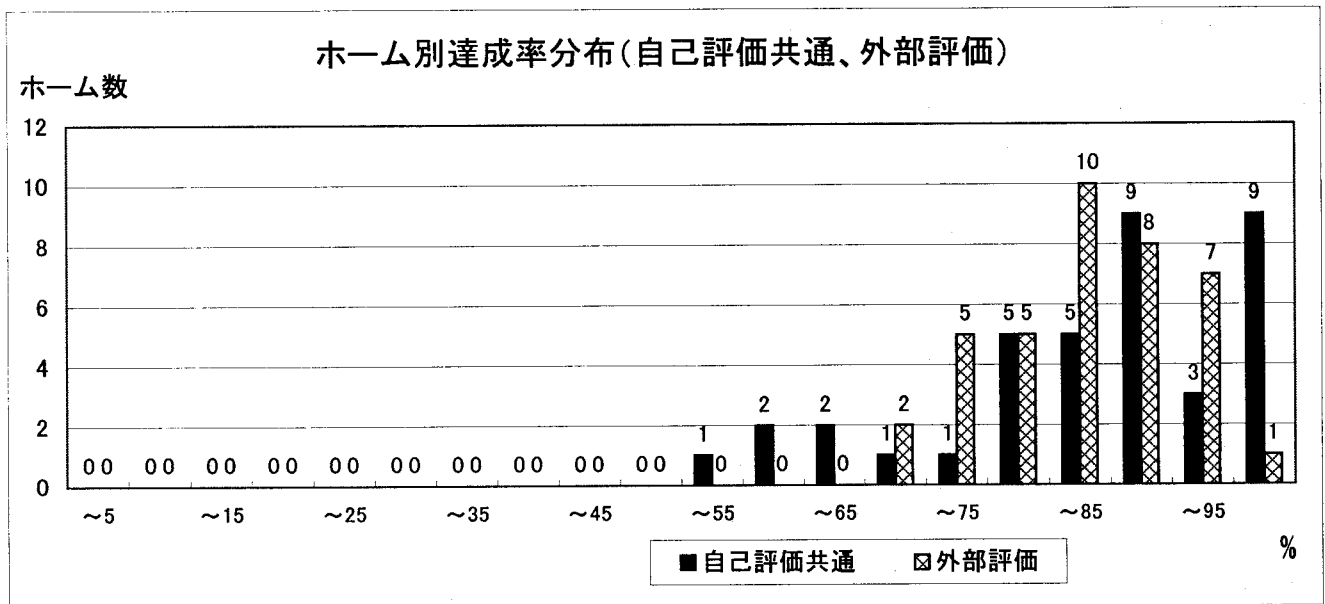
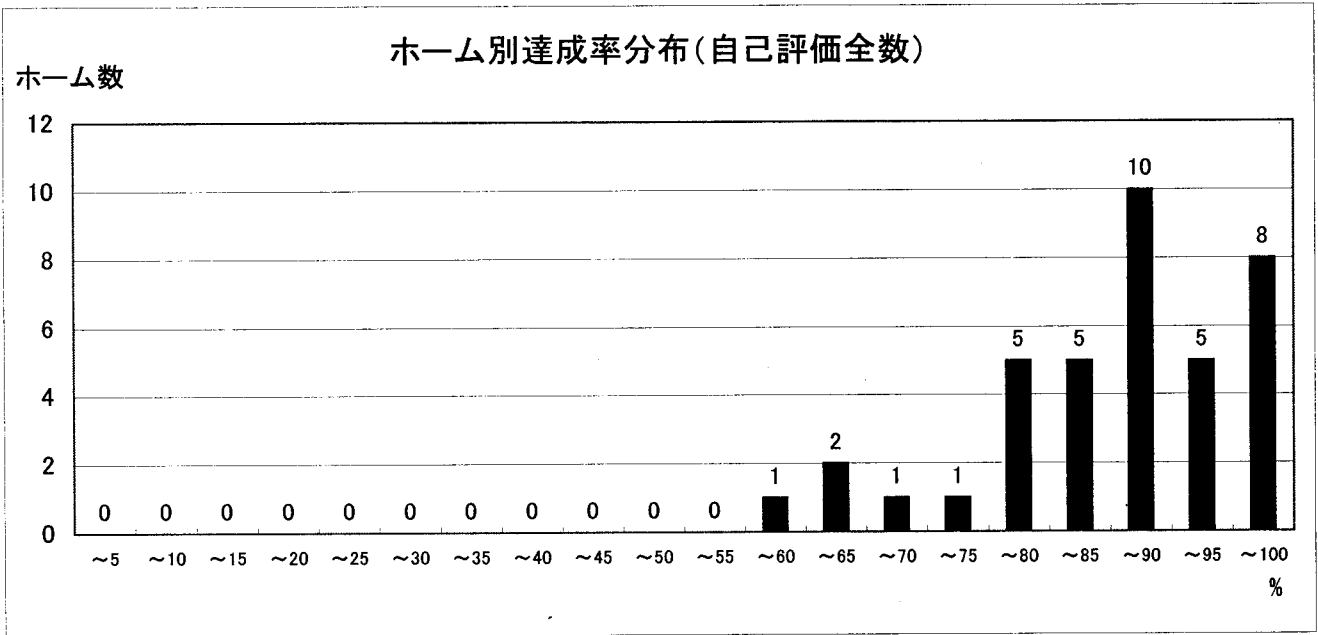
(N=26GH=34ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
12	混乱や失敗を招かない環境づくり	100.0%	24	個別の記録	100.0%	13	時の見当識への配慮	100.0%
24	個別の記録	100.0%	25	確実な申し送り・情報伝達	100.0%	25	入居者のペースの尊重	100.0%
25	確実な申し送り・情報伝達	100.0%	94	家族の訪問支援	100.0%	27	一人でできることへの配慮	100.0%
41	献立の工夫	100.0%	109	退居の支援	100.0%	31	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	100.0%
52	入浴可否の見極め	100.0%	118	調査等の訪問に対する対応	100.0%	37	理美容院の利用支援	100.0%
58	衣類の調節の支援	100.0%	122	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	100.0%	38	プライドを大切にされた整容の支援	100.0%
59	生活場面に合わせたその人らしい服装支援	100.0%				39	安眠の支援	100.0%
61	休息の支援	100.0%				46	トラブルへの対応	100.0%
67	馴染みのならわし等を楽しむ支援	100.0%				63	調査等の訪問に対する対応	100.0%
69	希望する医療機関での受診	100.0%				67	入居者の金銭管理	100.0%
94	家族の訪問支援	100.0%						
108	料金の内訳の明示と説明	100.0%						
109	退居の支援	100.0%						
118	調査等の訪問に対する対応	100.0%						
122	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	100.0%						
124	外泊時の家族との情報交換	100.0%						

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
105	ストレスの解消策の実施	50.0%	105	ストレスの解消策の実施	50.0%	49	緊急時の手当	50.0%
106	職員の休憩場所の確保	52.9%	127	市町村との関わり	55.9%	4	運営理念の啓発	57.7%
115	緊急時の対応の周知	52.9%	5	運営理念の啓発	58.8%	2	運営理念の明示	61.5%
127	市町村との関わり	55.9%	132	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	61.8%	56	継続的な研修の受講	61.5%
131	生活の拡充を支える近隣住民等への働きかけ	55.9%	103	継続的な研修の受講	64.7%	68	市町村との関わり	61.5%

【京都府】 (N=38GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	100.00%	57.46%	84.89%
自己評価共通	100.00%	50.70%	83.65%
外部評価	95.77%	66.20%	82.91%

【京都府】
上位5項目

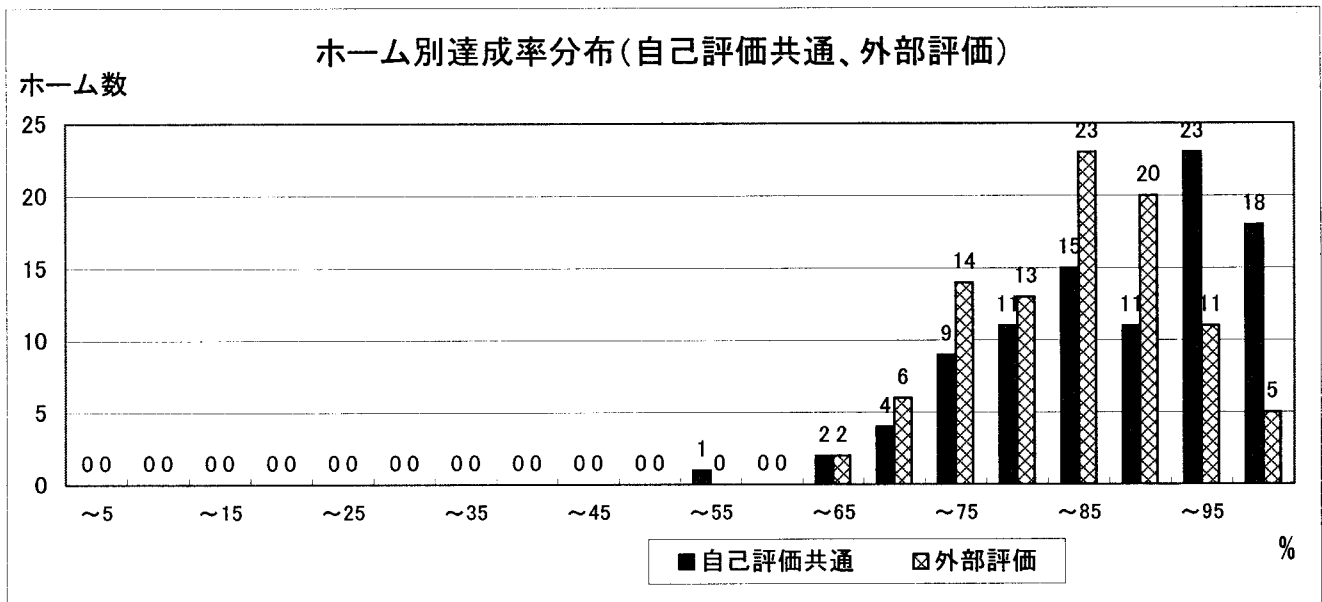
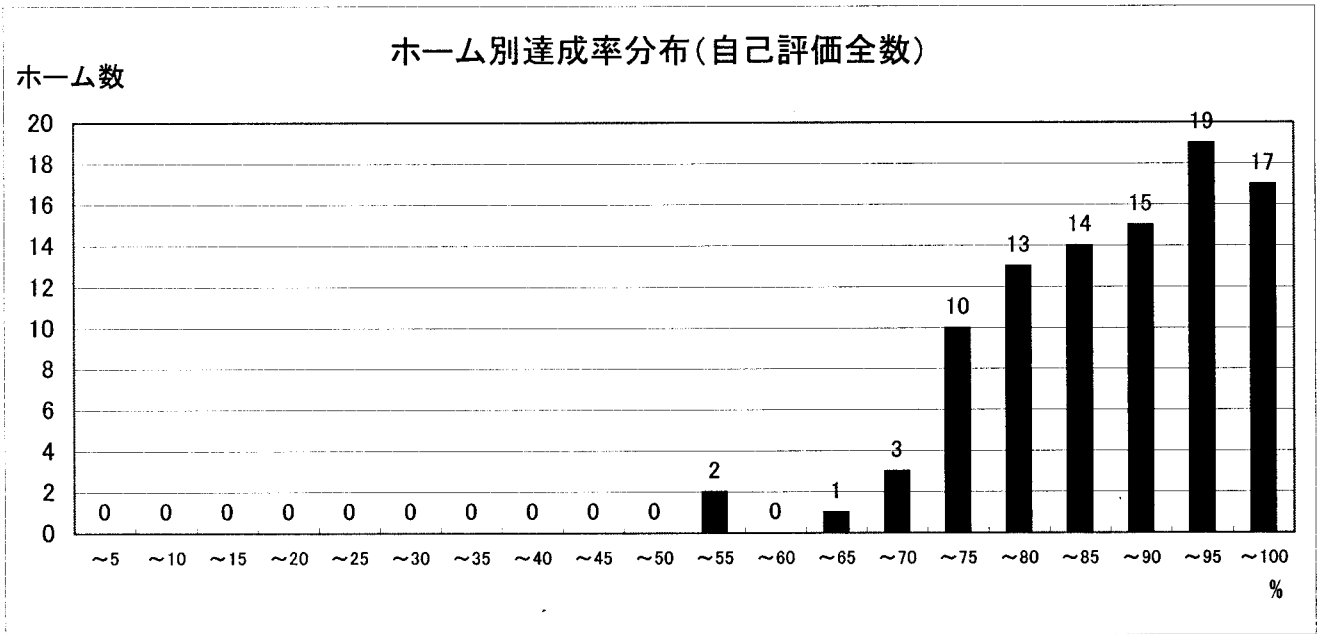
(N=38GH=44ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
34	自信の回復	100.0%	44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	100.0%	28	拘束のないケアの実践	100.0%
36	共に支えあう場面づくり	100.0%	68	医療関係者への相談	100.0%	34	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	100.0%
41	献立の工夫	100.0%	17	時の見当識への配慮	97.7%	38	プライドを大切にした整容の支援	100.0%
44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	100.0%	37	拘束のないケアの実践	97.7%	46	トラブルへの対応	100.0%
49	状態にあわせた下着等の使い分け	100.0%	48	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	97.7%	59	退居の支援	100.0%
52	入浴可否の見極め	100.0%	60	安眠の支援	97.7%			
61	休息の支援	100.0%	78	トラブルへの対応	97.7%			
68	医療関係者への相談	100.0%	109	退居の支援	97.7%			
69	希望する医療機関での受診	100.0%	116	事故の報告書と活用	97.7%			
98	管理者による状況把握	100.0%						
94	家族の訪問支援	100.0%						
112	ホーム内の衛生管理	100.0%						
118	調査等の訪問に対する対応	100.0%						

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	38.6%	22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	38.6%	68	市町村との関わり	36.8%
120	第三者への相談機会の確保	50.0%	85	緊急時の手当	52.3%	4	運営理念の啓発	44.7%
85	緊急時の手当	52.3%	127	市町村との関わり	54.5%	17	介護計画への入居者・家族の意見の反映	47.4%
125	家族同士の交流促進	52.3%	105	ストレスの解消策の実施	56.8%	49	緊急時の手当	55.3%
127	市町村との関わり	54.5%	130	地域の人達との交流の促進	56.8%	56	継続的な研修の受講	57.9%
						69	地域の人達との交流の促進	57.9%

【大阪府】 (N=94GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	100.00%	50.75%	84.94%
自己評価共通	100.00%	50.70%	85.52%
外部評価	95.77%	60.56%	82.02%

【大阪府】
上位5項目

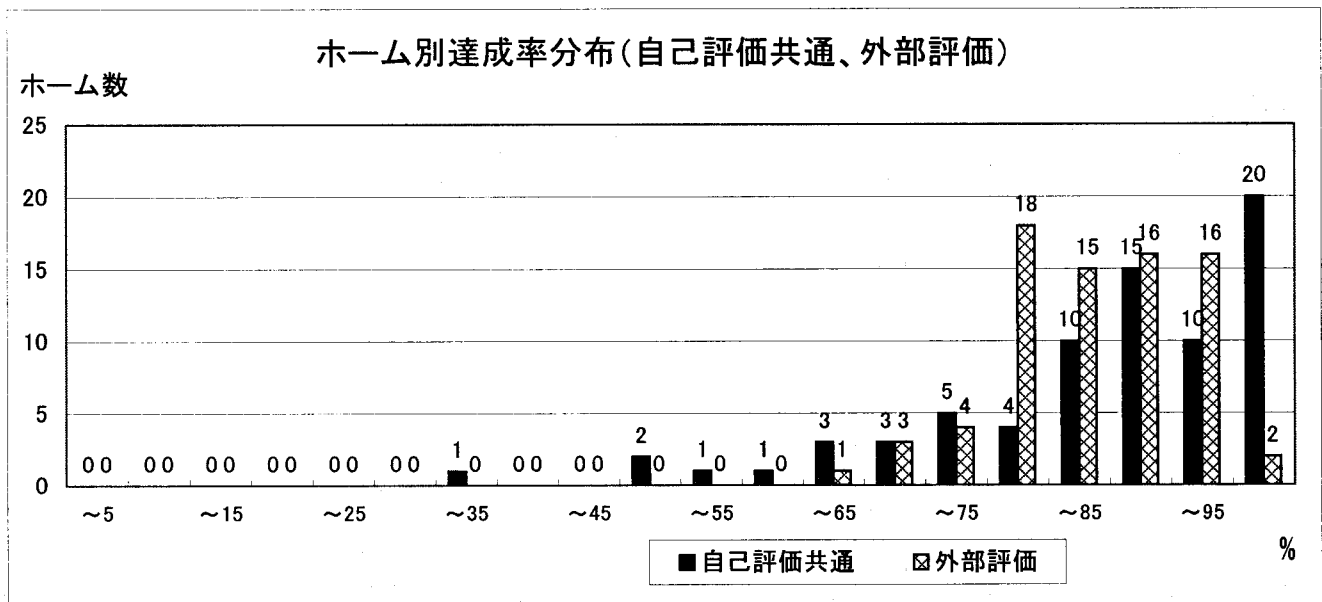
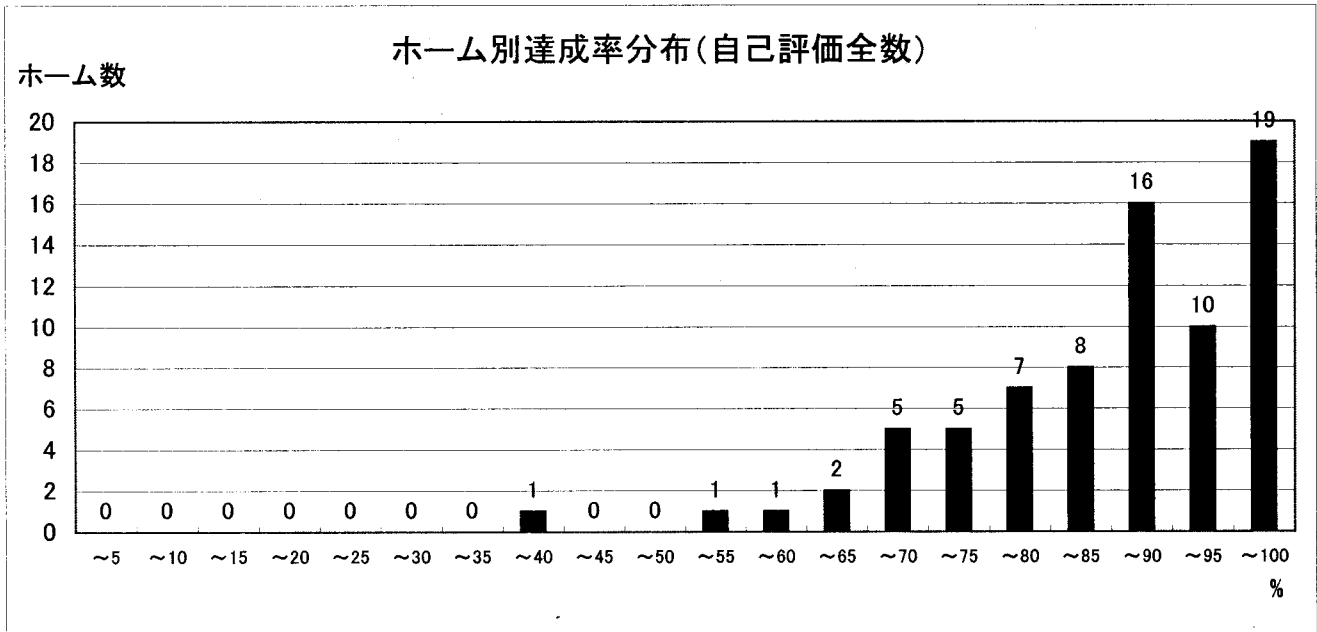
(N=94GH=136ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
15	換気・空調の配慮	99.3%	15	換気・空調の配慮	99.3%	42	医療関係者への相談	100.0%
52	入浴可否の見極め	99.3%	68	医療関係者への相談	99.3%	63	調査等の訪問に対する対応	100.0%
68	医療関係者への相談	99.3%	112	ホーム内の衛生管理	99.3%	28	拘束のないケアの実践	97.9%
112	ホーム内の衛生管理	99.3%	114	注意の必要な物品の保管・管理	99.3%	60	ホーム内の衛生管理	97.9%
114	注意の必要な物品の保管・管理	99.3%	17	時の見当識への配慮	97.8%	46	トラブルへの対応	96.8%
			44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	97.8%			
			57	プライドを大切にした整容の支援	97.8%			

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	47.1%	127	市町村との関わり	47.1%	68	市町村との関わり	36.2%
125	家族同士の交流促進	48.5%	5	運営理念の啓発	51.5%	4	運営理念の啓発	45.7%
134	人材育成への貢献	50.7%	132	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	58.8%	29	鍵をかけない工夫	55.3%
5	運営理念の啓発	51.5%	64	金銭管理の支援	59.6%	2	運営理念の明示	58.5%
120	第三者への相談機会の確保	52.9%	85	緊急時の手当	62.5%	70	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	59.6%
129	地域との連携	52.9%						

【兵庫県】 (N=75GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	100.00%	36.94%	84.62%
自己評価共通	100.00%	33.80%	84.04%
外部評価	97.18%	63.38%	83.44%

【兵庫県】

上位5項目

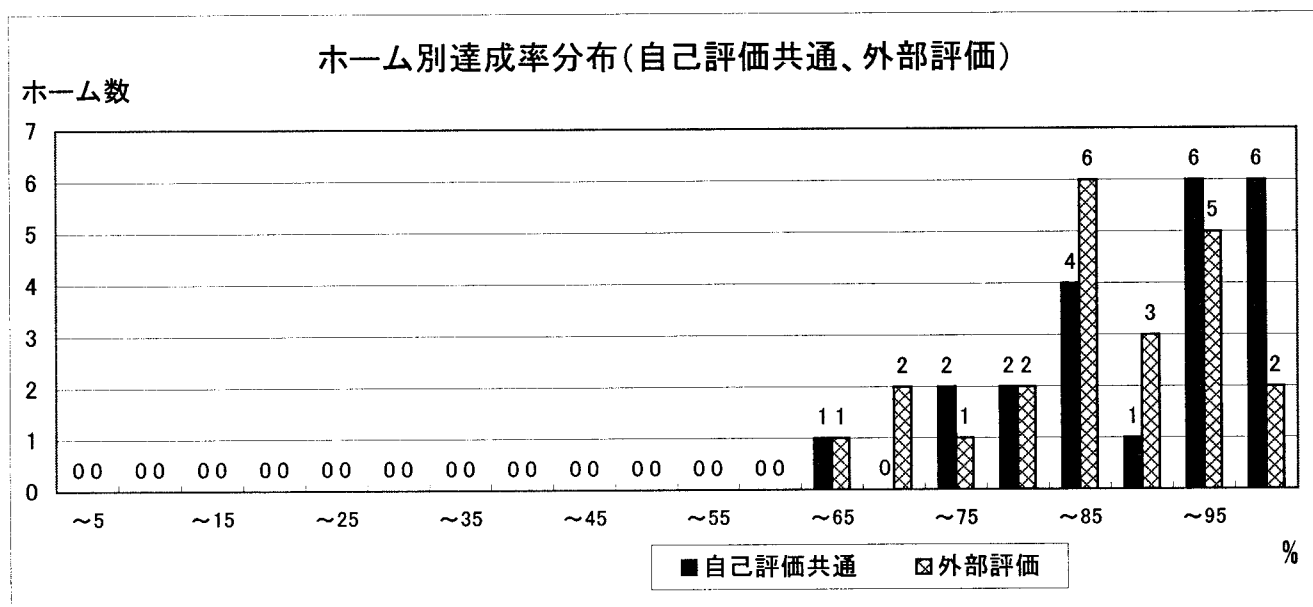
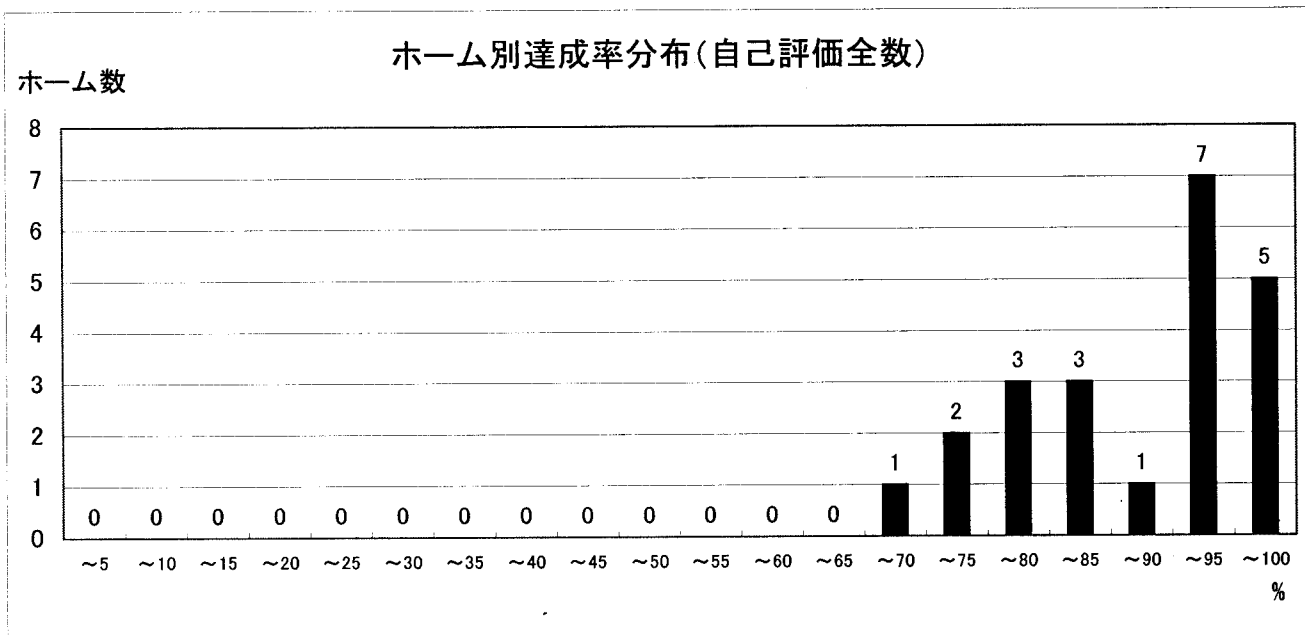
(N=75GH=134ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
49	状態にあわせた下着等の使い分け	99.3%	68	医療関係者への相談	99.3%	42	医療関係者への相談	100.0%
68	医療関係者への相談	99.3%	112	ホーム内の衛生管理	99.3%	38	プライドを大切にした整容の支援	98.7%
69	希望する医療機関での受診	99.3%	109	退居の支援	98.5%	58	入居者の決定のための検討	98.7%
112	ホーム内の衛生管理	99.3%	78	トラブルへの対応	97.8%	63	調査等の訪問に対する対応	98.7%
34	自信の回復	98.5%	48	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	97.0%	34	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	96.0%
88	異変情報及び対応方法の家族との共有	98.5%				46	トラブルへの対応	96.0%
109	退居の支援	98.5%				59	退居の支援	96.0%
113	ごみの処分	98.5%						

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	38.1%	127	市町村との関わり	38.1%	68	市町村との関わり	45.3%
120	第三者への相談機会の確保	47.8%	5	運営理念の啓発	56.0%	4	運営理念の啓発	56.0%
40	献立づくりや調理等への入居者の参画	52.2%	130	地域の人達との交流の促進	56.0%	49	緊急時の手当	57.3%
129	地域との連携	54.5%	85	緊急時の手当	59.0%	5	気軽に入れる玄関まわり等の配慮	61.3%
5	運営理念の啓発	56.0%	105	ストレスの解消策の実施	60.4%	2	運営理念の明示	64.0%
130	地域の人達との交流の促進	56.0%						

【奈良県】 (N=22GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	97.76%	68.66%	87.18%
自己評価共通	98.59%	64.79%	87.26%
外部評価	97.18%	64.79%	83.55%

【奈良県】
上位5項目

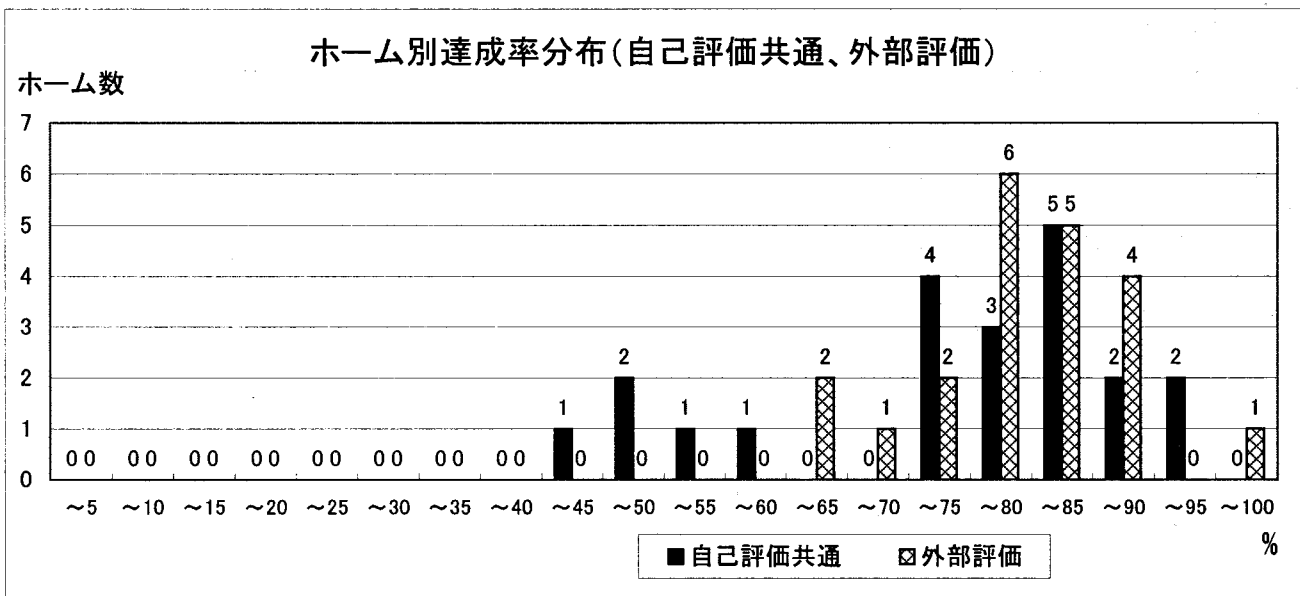
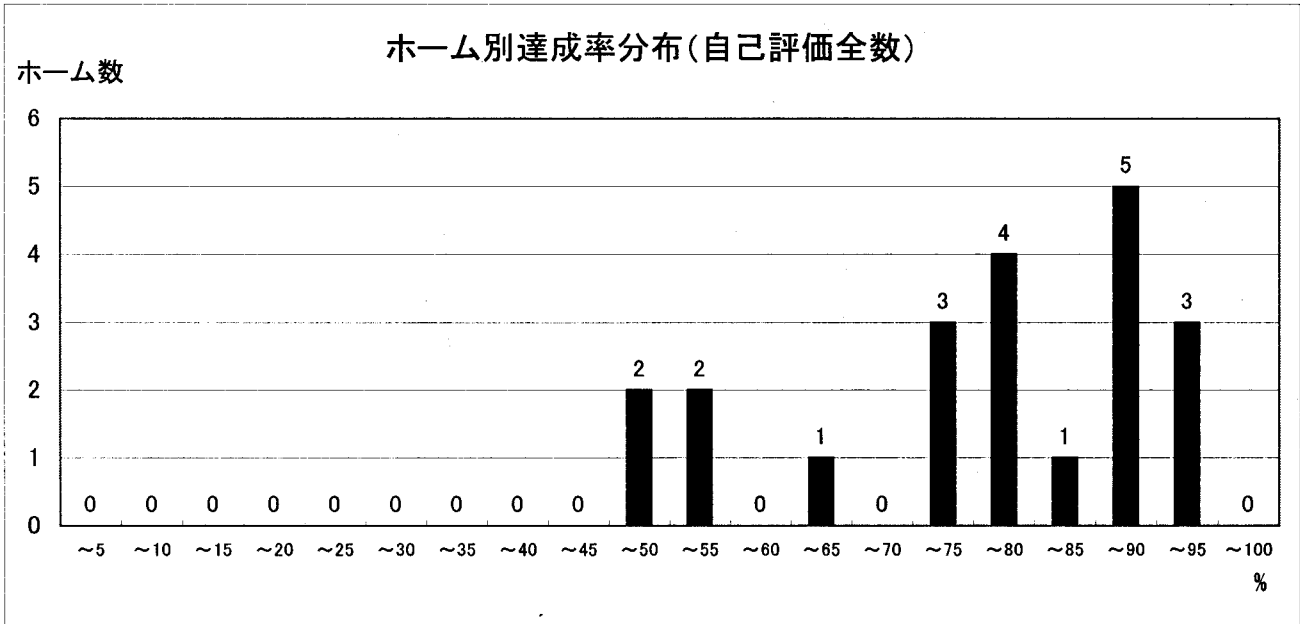
(N=22GH=31ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
1	理念の具体化及び運営理念の共有	100.0%	1	理念の具体化及び運営理念の共有	100.0%	3	権利・義務の明示	100.0%
13	場所間違い等の防止策	100.0%	13	場所間違い等の防止策	100.0%	20	確実な申し送り・情報伝達	100.0%
16	五感への働きかけの工夫	100.0%	17	時の見当識への配慮	100.0%	25	入居者のペースの尊重	100.0%
17	時の見当識への配慮	100.0%	24	個別の記録	100.0%	32	個別の栄養摂取状況の把握	100.0%
24	個別の記録	100.0%	25	確実な申し送り・情報伝達	100.0%	34	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	100.0%
25	確実な申し送り・情報伝達	100.0%	50	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	100.0%	38	プライドを大切にした整容の支援	100.0%
29	入居者が感情表現できるような働きかけ	100.0%	57	プライドを大切にした整容の支援	100.0%	46	トラブルへの対応	100.0%
41	献立の工夫	100.0%	68	医療関係者への相談	100.0%	58	入居者の決定のための検討	100.0%
49	状態にあわせた下着等の使い分け	100.0%	78	トラブルへの対応	100.0%	60	ホーム内の衛生管理	100.0%
50	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	100.0%	94	家族の訪問支援	100.0%			
52	入浴可否の見極め	100.0%	96	責任者の協働	100.0%			
55	個性を尊重したおしゃれの支援	100.0%	107	入居者の決定のための検討	100.0%			
57	プライドを大切にした整容の支援	100.0%	109	退居の支援	100.0%			
58	衣類の調節の支援	100.0%	112	ホーム内の衛生管理	100.0%			
59	生活場面にあわせたその人らしい服装支援	100.0%	122	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	100.0%			
68	医療関係者への相談	100.0%						
69	希望する医療機関での受診	100.0%						
79	身体の清潔保持	100.0%						
81	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	100.0%						
88	異変情報及び対応方法の家族との共有	100.0%						
94	家族の訪問支援	100.0%						
96	責任者の協働	100.0%						
98	管理者による状況把握	100.0%						
102	グループホームケアに適した人材の採用	100.0%						
107	入居者の決定のための検討	100.0%						
108	料金の内訳の明示と説明	100.0%						
109	退居の支援	100.0%						
111	手洗い、うがい	100.0%						
112	ホーム内の衛生管理	100.0%						
122	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	100.0%						
124	外泊時の家族との情報交換	100.0%						
128	在宅介護支援センター等との連携	100.0%						

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	25.8%	127	市町村との関わり	25.8%	68	市町村との関わり	18.2%
120	第三者への相談機会の確保	32.3%	130	地域の人達との交流の促進	54.8%	69	地域の人達との交流の促進	54.5%
134	人材育成への貢献	41.9%	5	運営理念の啓発	58.1%	8	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり	59.1%
91	地域に出やすい周辺環境の整備	54.8%	64	金銭管理の支援	58.1%	41	ホーム内の役割・楽しみごとの支援	59.1%
92	入居者の行きたいところへの訪問支援	54.8%	30	入居者一人ひとりの過去の経験を活かしたケア	61.3%	56	継続的な研修の受講	59.1%
130	地域の人達との交流の促進	54.8%	103	継続的な研修の受講	61.3%			

【和歌山県】 (N=21GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	93.28%	46.27%	75.59%
自己評価共通	94.37%	40.85%	73.59%
外部評価	95.77%	63.38%	79.21%

【和歌山県】

上位5項目

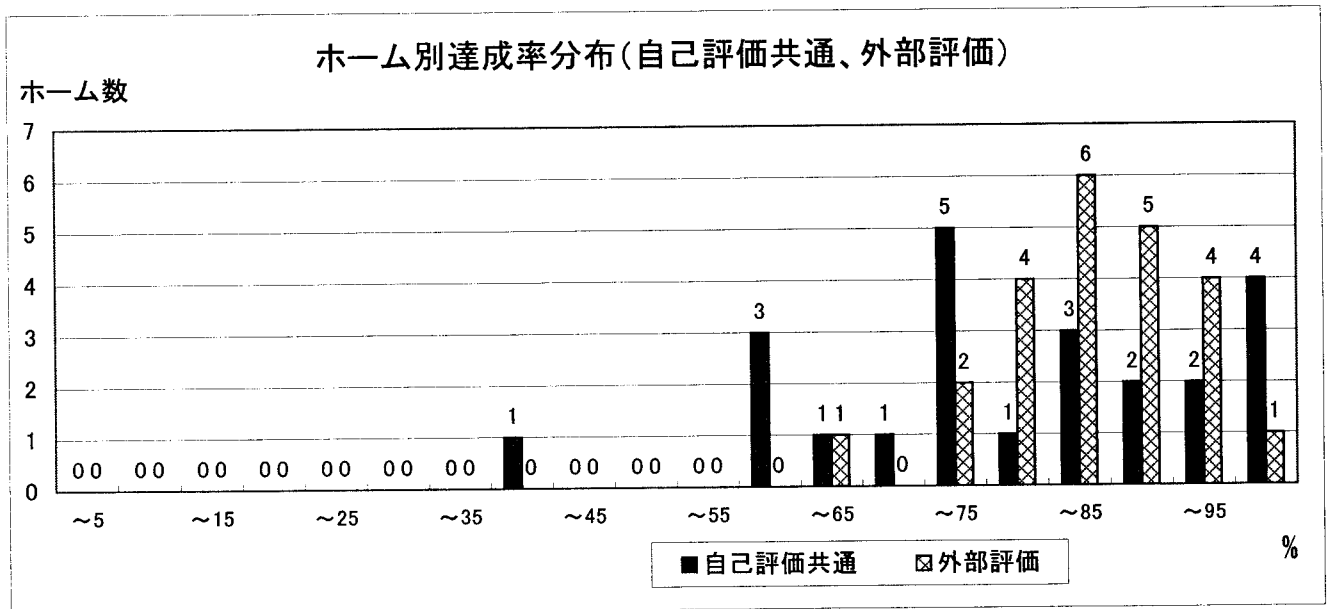
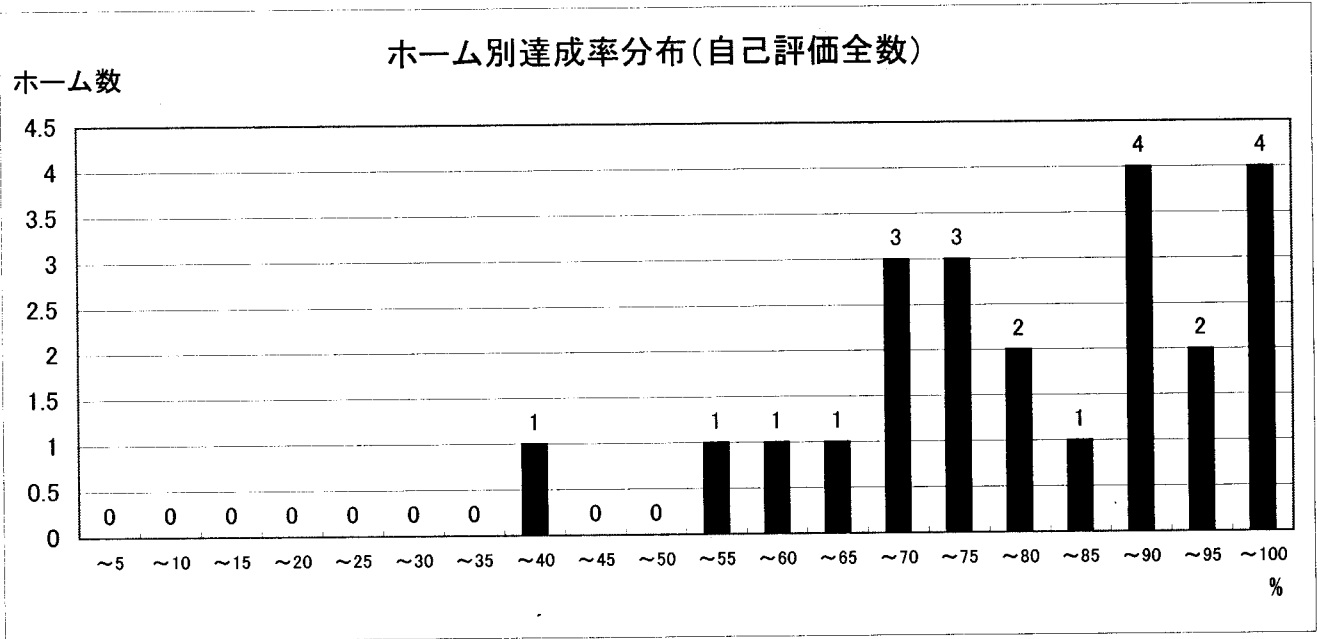
(N=21GH=28ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
31	入居者一人ひとりとのコミュニケーション	100.0%	25	確実な申し送り・情報伝達	96.4%	3	権利・義務の明示	100.0%
49	状態にあわせた下着等の使い分け	100.0%	68	医療関係者への相談	96.4%	27	一人でできることへの配慮	100.0%
52	入浴可否の見極め	100.0%	109	退居の支援	96.4%	39	安眠の支援	100.0%
124	外泊時の家族との情報交換	100.0%	112	ホーム内の衛生管理	96.4%	42	医療関係者への相談	100.0%
25	確実な申し送り・情報伝達	96.4%	8	共用空間における居場所の確保	92.9%	59	退居の支援	100.0%
29	入居者が感情表現できるような働きかけ	96.4%	17	時の見当識への配慮	92.9%	63	調査等の訪問に対する対応	100.0%
46	食事のペースを乱さない配慮	96.4%	24	個別の記録	92.9%	16	介護計画の職員間での共有	95.2%
54	入浴時の不安や羞恥心等への配慮	96.4%	57	プライドを大切にした整容の支援	92.9%	21	チームケアのための会議	95.2%
68	医療関係者への相談	96.4%	96	責任者の協働	92.9%	31	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	95.2%
69	希望する医療機関での受診	96.4%				37	理美容院の利用支援	95.2%
88	異変情報及び対応方法の家族との共有	96.4%				40	金銭管理の支援	95.2%
108	料金の内訳の明示と説明	96.4%				45	身体機能の維持	95.2%
109	退居の支援	96.4%				46	トラブルへの対応	95.2%
110	入退居時のダメージの防止策	96.4%						
112	ホーム内の衛生管理	96.4%						
113	ごみの処分	96.4%						

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	17.9%	127	市町村との関わり	17.9%	4	運営理念の啓発	14.3%
91	地域に出やすい周辺環境の整備	25.0%	85	緊急時の手当	28.6%	68	市町村との関わり	19.0%
129	地域との連携	25.0%	5	運営理念の啓発	35.7%	49	緊急時の手当	38.1%
85	緊急時の手当	28.6%	105	ストレスの解消策の実施	35.7%	70	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	38.1%
120	第三者への相談機会の確保	28.6%	32	入居者のペースの尊重	39.3%	17	介護計画への入居者・家族の意見の反映	42.9%

【鳥取県】 (N=23GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	98.51%	35.07%	77.76%
自己評価共通	98.59%	35.21%	77.04%
外部評価	95.77%	63.38%	82.79%

【鳥取県】

上位5項目

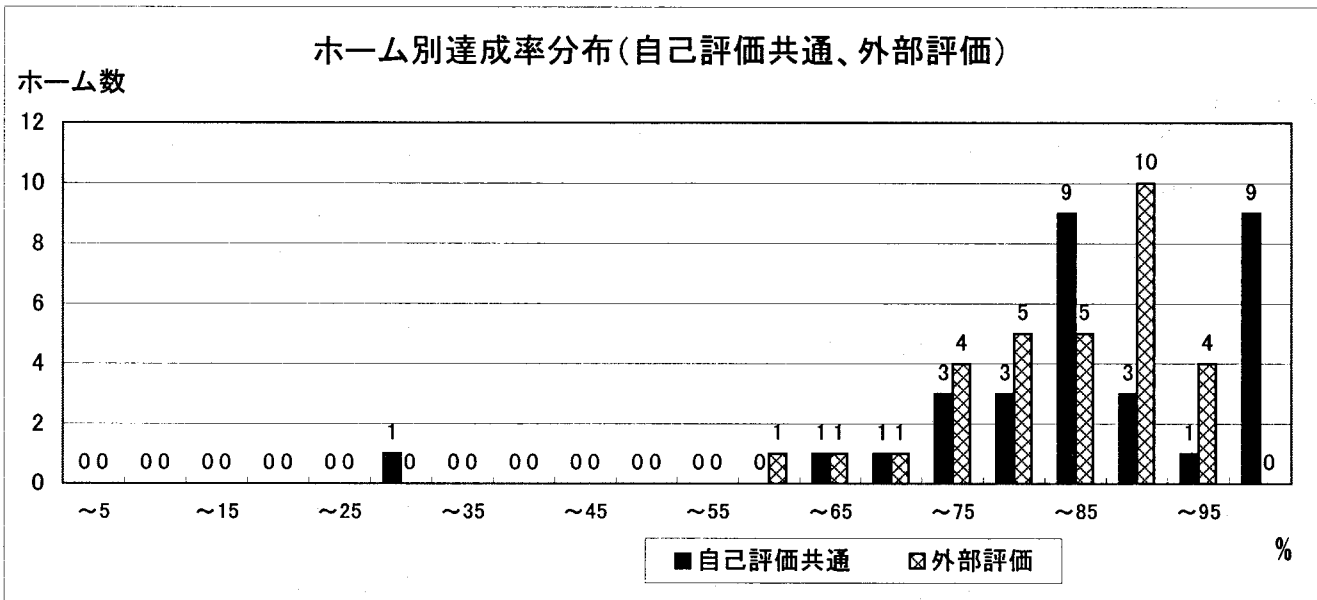
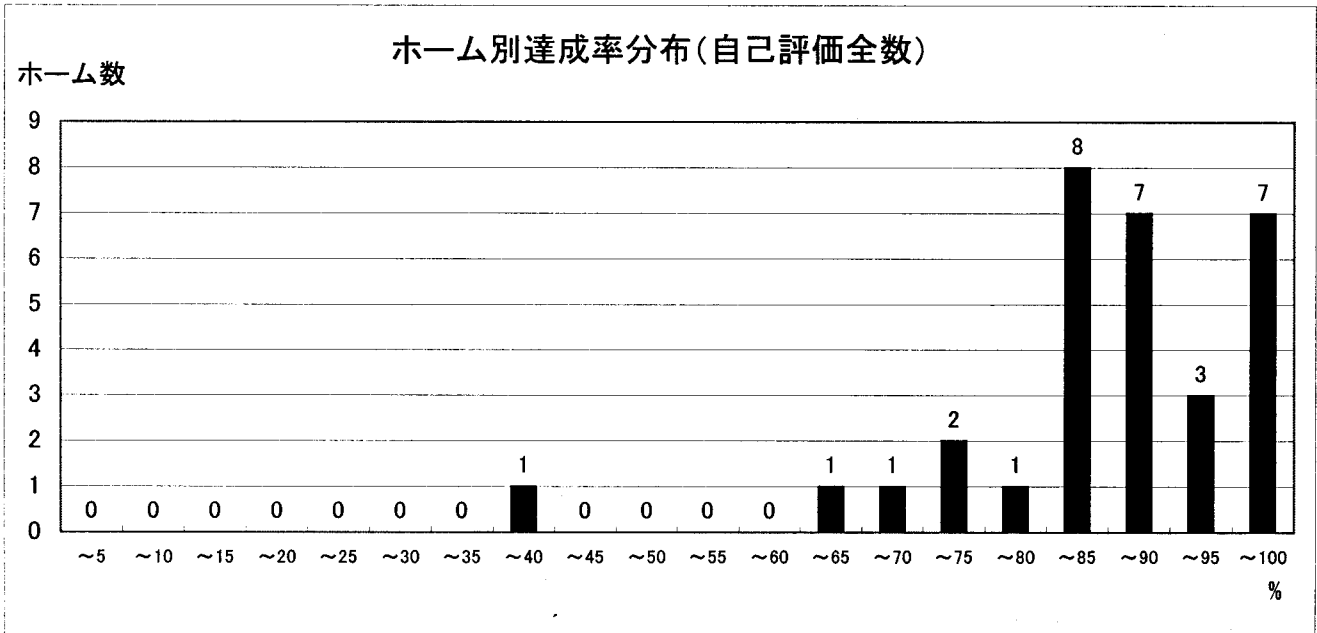
(N=23GH=28ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
13	場所間違い等の防止策	100.0%	13	場所間違い等の防止策	100.0%	16	介護計画の職員間での共有	100.0%
17	時の見当識への配慮	100.0%	17	時の見当識への配慮	100.0%	21	チームケアのための会議	100.0%
34	自信の回復	100.0%	114	注意の必要な物品の保管・管理	100.0%	35	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	100.0%
36	共に支えあう場面づくり	100.0%	37	拘束のないケアの実践	96.4%	42	医療関係者への相談	100.0%
69	希望する医療機関での受診	100.0%	47	食事を楽しむことのできる支援	96.4%	46	トラブルへの対応	100.0%
88	異変情報及び対応方法の家族との共有	100.0%	57	プライドを大切にした整容の支援	96.4%	59	退居の支援	100.0%
89	家族が通院介助を行った時の情報交換	100.0%	118	調査等の訪問に対する対応	96.4%	60	ホーム内の衛生管理	100.0%
114	注意の必要な物品の保管・管理	100.0%				61	注意の必要な物品の保管・管理	100.0%
						63	調査等の訪問に対する対応	100.0%

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	32.1%	127	市町村との関わり	32.1%	4	運営理念の啓発	47.8%
5	運営理念の啓発	35.7%	5	運営理念の啓発	35.7%	36	入居者一人ひとりの希望にあわせた入浴支援	47.8%
105	ストレスの解消策の実施	35.7%	105	ストレスの解消策の実施	35.7%	69	地域の人達との交流の促進	47.8%
91	地域に出やすい周辺環境の整備	39.3%	103	継続的な研修の受講	39.3%	68	市町村との関わり	52.2%
103	継続的な研修の受講	39.3%	85	緊急時の手当	42.9%	17	介護計画への入居者・家族の意見の反映	56.5%
125	家族同士の交流促進	39.3%				57	ストレスの解消策の実施	56.5%
131	生活の拡充を支える近隣住民等への働きかけ	39.3%						
85	緊急時の手当	42.9%						

【島根県】 (N=31GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	100.00%	36.57%	84.56%
自己評価共通	100.00%	29.58%	83.61%
外部評価	92.96%	59.15%	81.42%

【島根県】
上位5項目

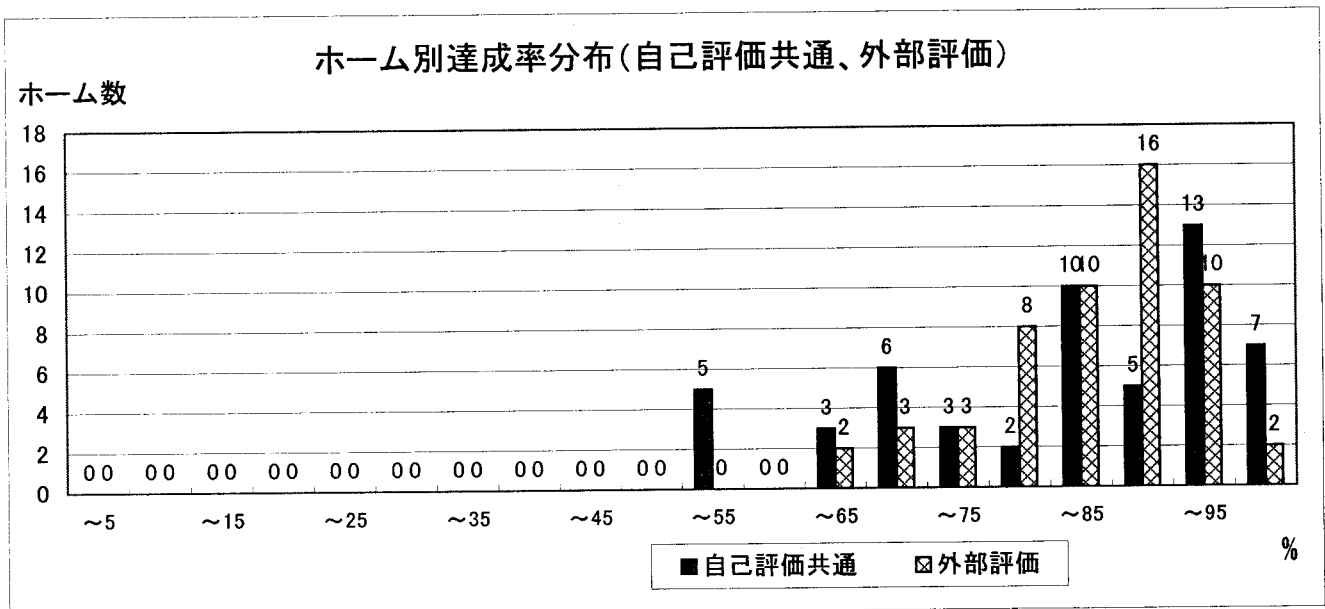
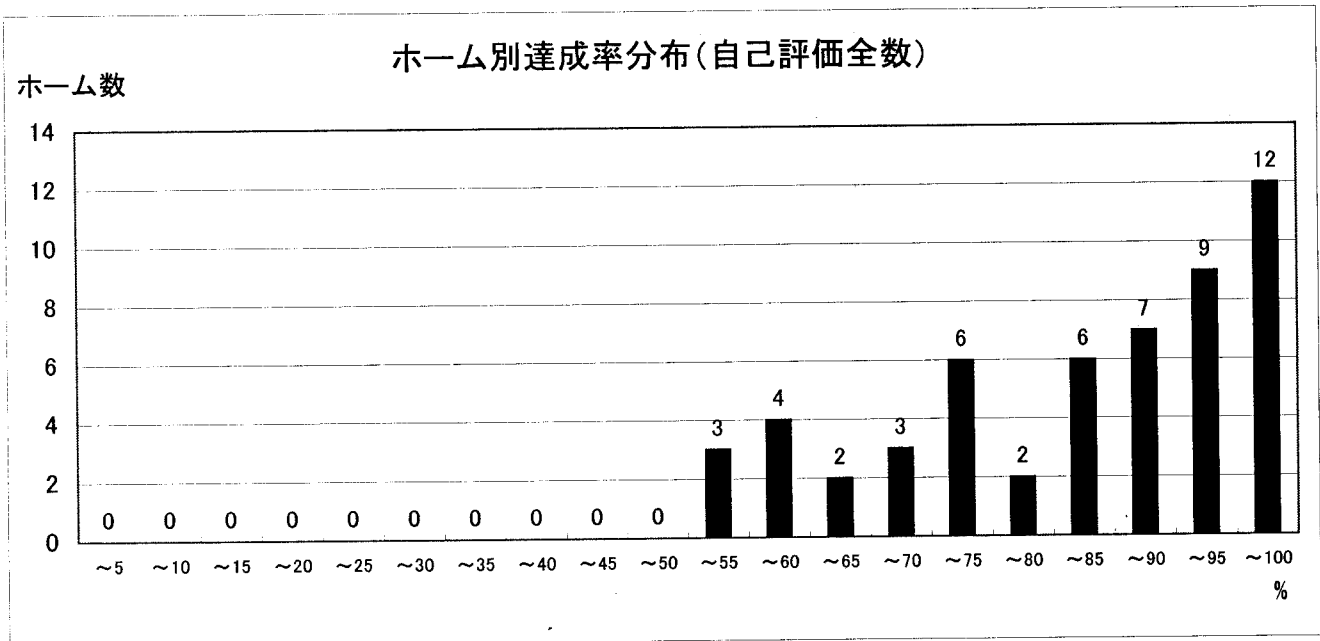
(N=31GH=39ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
4	権利・義務の明示	100.0%	4	権利・義務の明示	100.0%	23	職員の穏やかな態度	100.0%
10	建物の外周りや空間の活用	100.0%	66	ホーム内の役割・楽しみごとの支援	100.0%	42	医療関係者への相談	100.0%
16	五感への働きかけの工夫	100.0%	57	プライドを大切にした整容の支援	97.4%	28	拘束のないケアの実践	96.8%
36	共に支えあう場面づくり	100.0%	68	医療関係者への相談	97.4%	38	プライドを大切にした整容の支援	96.8%
61	休息の支援	100.0%	107	入居者の決定のための検討	97.4%	41	ホーム内の役割・楽しみごとの支援	96.8%
66	ホーム内の役割・楽しみごとの支援	100.0%	109	退居の支援	97.4%	60	ホーム内の衛生管理	96.8%
69	希望する医療機関での受診	100.0%	112	ホーム内の衛生管理	97.4%			
110	入退居時のダメージの防止策	100.0%						

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	35.9%	127	市町村との関わり	35.9%	68	市町村との関わり	45.2%
120	第三者への相談機会の確保	43.6%	5	運営理念の啓発	56.4%	4	運営理念の啓発	58.1%
40	献立づくりや調理等への入居者の参画	53.8%	23	介護計画の見直し	61.5%	18	介護計画の見直し	58.1%
63	買い物の支援	53.8%	85	緊急時の手当	61.5%	56	継続的な研修の受講	61.3%
5	運営理念の啓発	56.4%	132	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	61.5%	15	個別具体的な介護計画	64.5%
						33	食事を楽しむことのできる支援	64.5%
						49	緊急時の手当	64.5%
						57	ストレスの解消策の実施	64.5%
						64	相談・苦情受付の明示	64.5%
						70	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	64.5%

【広島県】 (N=54GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	100.00%	50.75%	81.58%
自己評価共通	100.00%	51.17%	81.23%
外部評価	98.59%	60.56%	83.49%

【広島県】
上位5項目

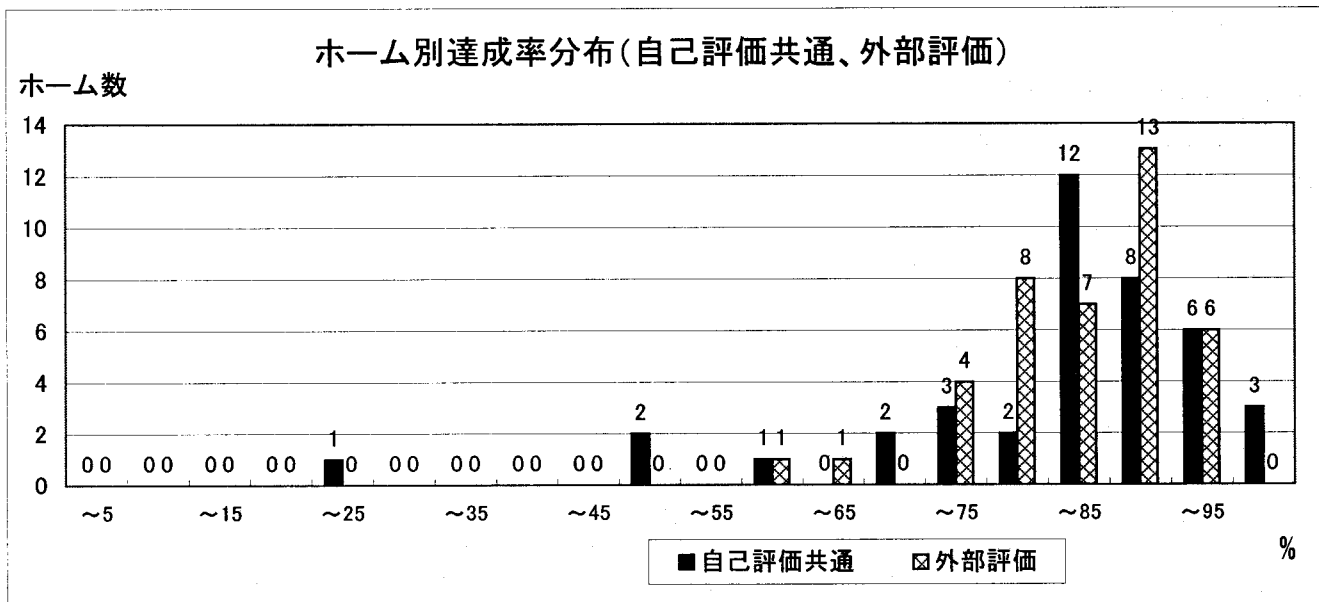
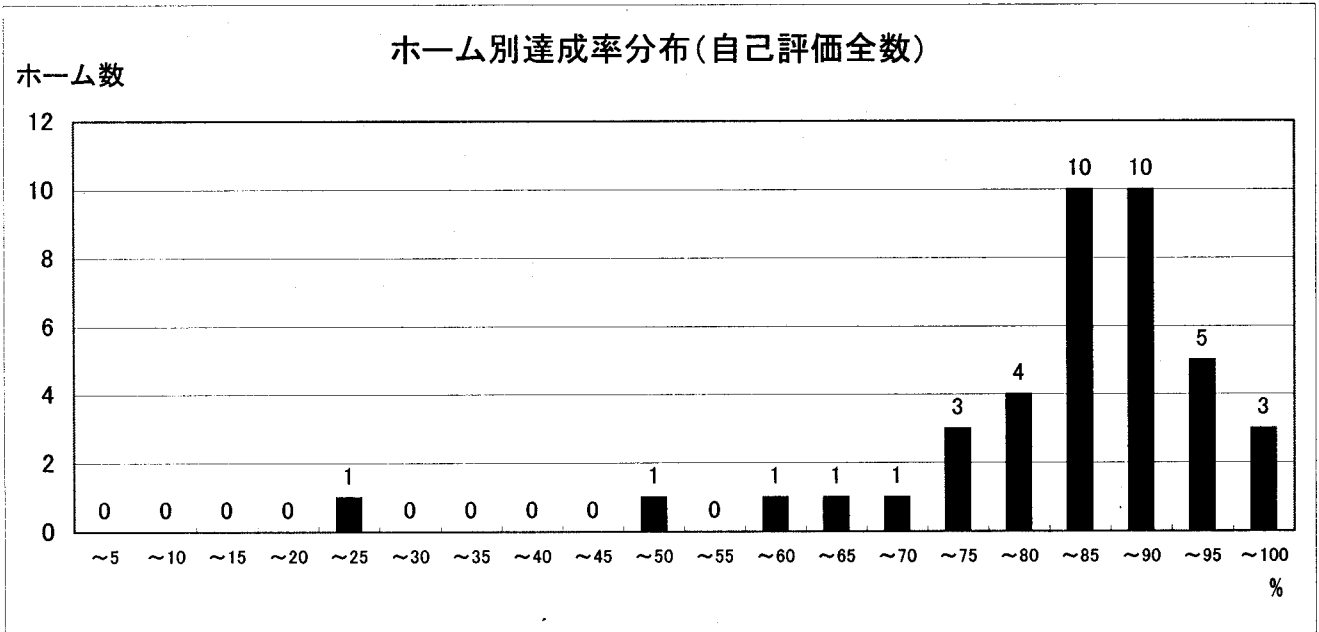
(N=54GH=89ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
68	医療関係者への相談	100.0%	68	医療関係者への相談	100.0%	28	拘束のないケアの実践	100.0%
113	ごみの処分	100.0%	37	拘束のないケアの実践	98.9%	38	プライドを大切にした整容の支援	98.1%
37	拘束のないケアの実践	98.9%	74	定期健康診断の支援	96.6%	42	医療関係者への相談	98.1%
49	状態にあわせた下着等の使い分け	98.9%	109	退居の支援	96.6%	59	退居の支援	98.1%
69	希望する医療機関での受診	98.9%	126	入居者の金銭管理	96.6%	12	換気・空調の配慮	96.3%
						27	一人でできることへの配慮	96.3%
						39	安眠の支援	96.3%
						46	トラブルへの対応	96.3%
						53	責任者の協働	96.3%
						63	調査等の訪問に対する対応	96.3%

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	25.8%	127	市町村との関わり	25.8%	68	市町村との関わり	35.2%
120	第三者への相談機会の確保	50.6%	85	緊急時の手当	51.7%	49	緊急時の手当	44.4%
85	緊急時の手当	51.7%	22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	55.1%	4	運営理念の啓発	59.3%
106	職員の休憩場所の確保	53.9%	130	地域の人達との交流の促進	56.2%	17	介護計画への入居者・家族の意見の反映	63.0%
22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	55.1%	103	継続的な研修の受講	57.3%	36	入居者一人ひとりの希望にあわせた入浴支援	63.0%
						71	ホーム機能の地域への還元	63.0%

【山口県】 (N=40GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	98.51%	21.64%	80.89%
自己評価共通	98.59%	21.13%	80.32%
外部評価	94.37%	59.15%	82.46%

【山口県】

上位5項目

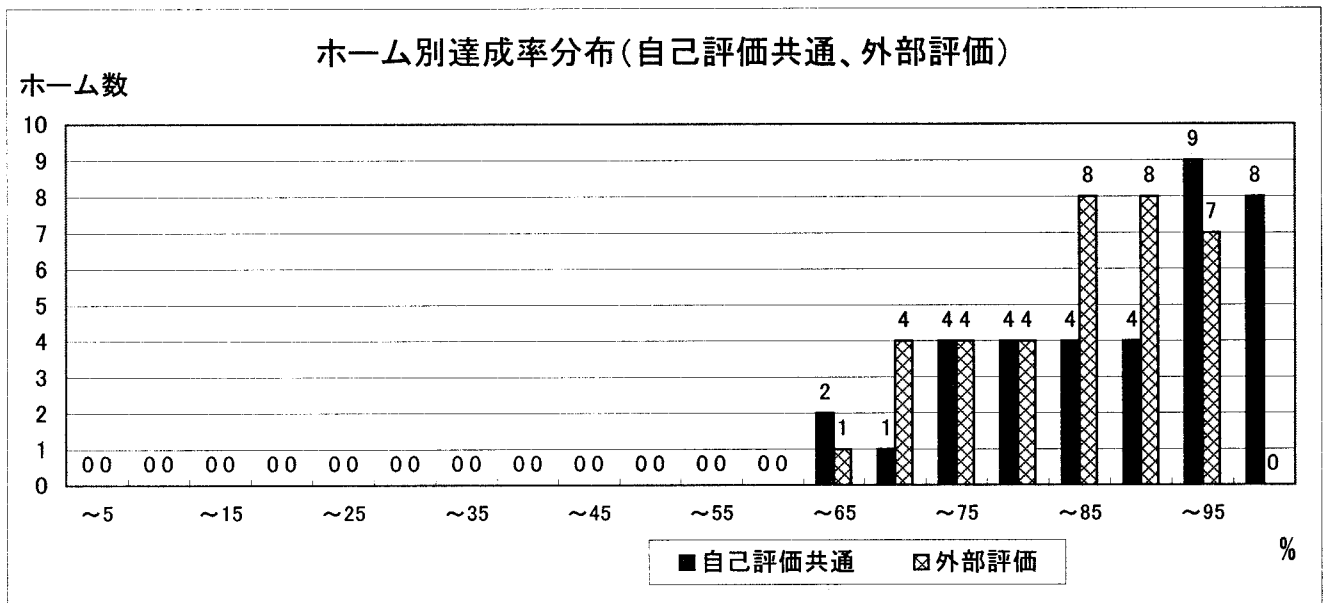
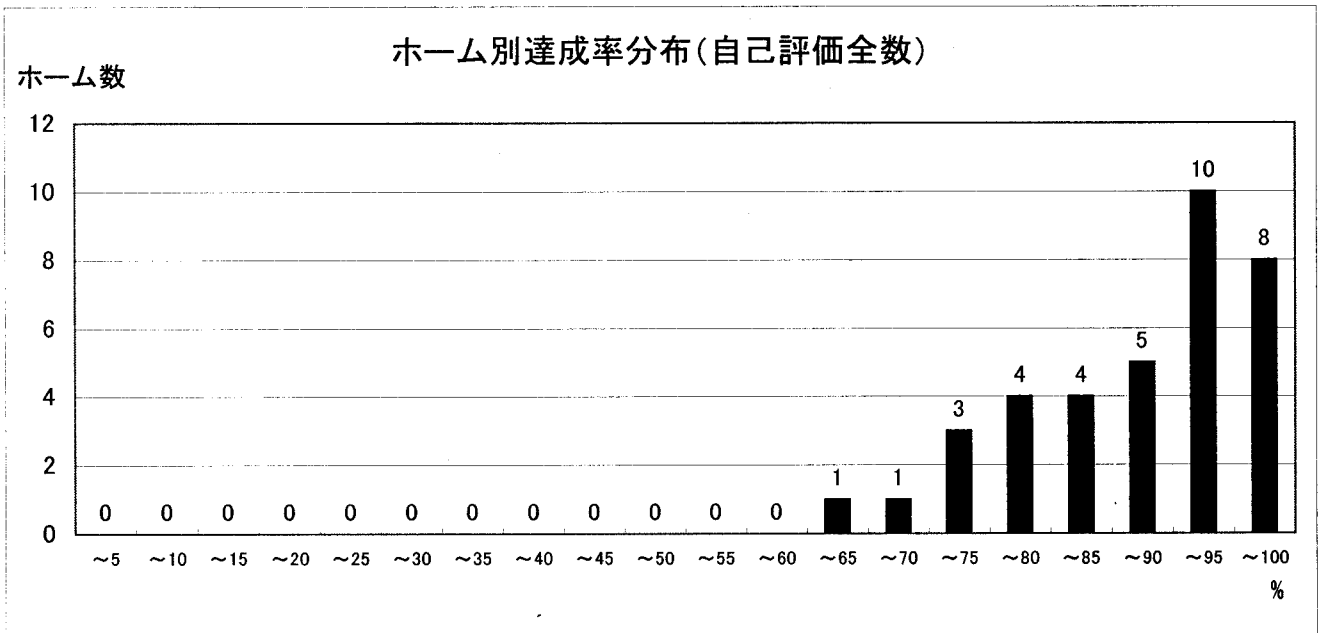
(N=40GH=48ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
16	五感への働きかけの工夫	100.0%	15	換気・空調の配慮	97.9%	28	拘束のないケアの実践	100.0%
49	状態にあわせた下着等の使い分け	100.0%	57	プライドを大切にした整容の支援	97.9%	38	プライドを大切にした整容の支援	100.0%
98	管理者による状況把握	100.0%	78	トラブルへの対応	97.9%	39	安眠の支援	100.0%
15	換気・空調の配慮	97.9%	114	注意の必要な物品の保管・管理	97.9%	59	退居の支援	100.0%
36	共に支えあう場面づくり	97.9%	17	時の見当識への配慮	95.8%	60	ホーム内の衛生管理	100.0%
42	食べる意欲を引き出す働きかけ	97.9%	37	拘束のないケアの実践	95.8%	63	調査等の訪問に対する対応	100.0%
54	入浴時の不安や羞恥心等への配慮	97.9%	44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	95.8%			
57	プライドを大切にした整容の支援	97.9%	112	ホーム内の衛生管理	95.8%			
79	身体の清潔保持	97.9%						
88	異変情報及び対応方法の家族との共有	97.9%						
108	料金の内訳の明示と説明	97.9%						
113	ごみの処分	97.9%						
114	注意の必要な物品の保管・管理	97.9%						

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
120	第三者への相談機会の確保	27.1%	127	市町村との関わり	27.1%	68	市町村との関わり	30.0%
127	市町村との関わり	27.1%	130	地域の人達との交流の促進	45.8%	4	運営理念の啓発	37.5%
129	地域との連携	41.7%	43	馴染みの食器の使用	47.9%	36	入居者一人ひとりの希望にあわせた入浴支援	40.0%
130	地域の人達との交流の促進	45.8%	132	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	50.0%	70	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	55.0%
43	馴染みの食器の使用	47.9%	5	運営理念の啓発	52.1%	49	緊急時の手当	57.5%
			64	金銭管理の支援	52.1%			

【徳島県】 (N=36GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	100.00%	63.43%	86.99%
自己評価共通	100.00%	62.91%	86.16%
外部評価	94.37%	64.79%	81.53%

【徳島県】

上位5項目

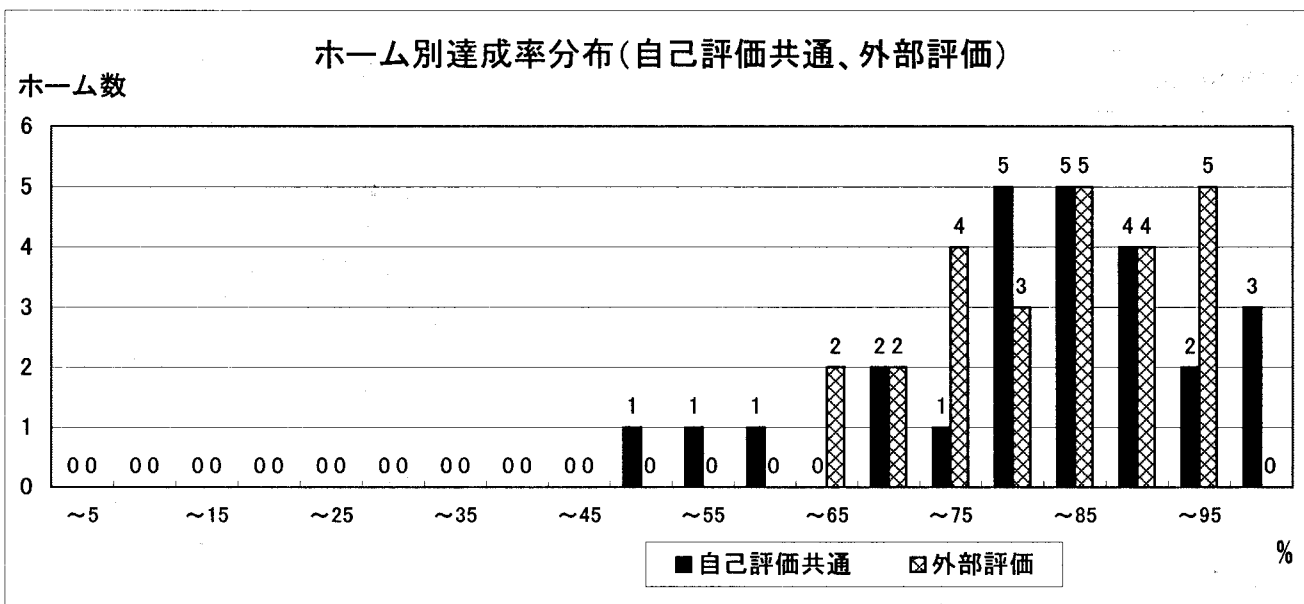
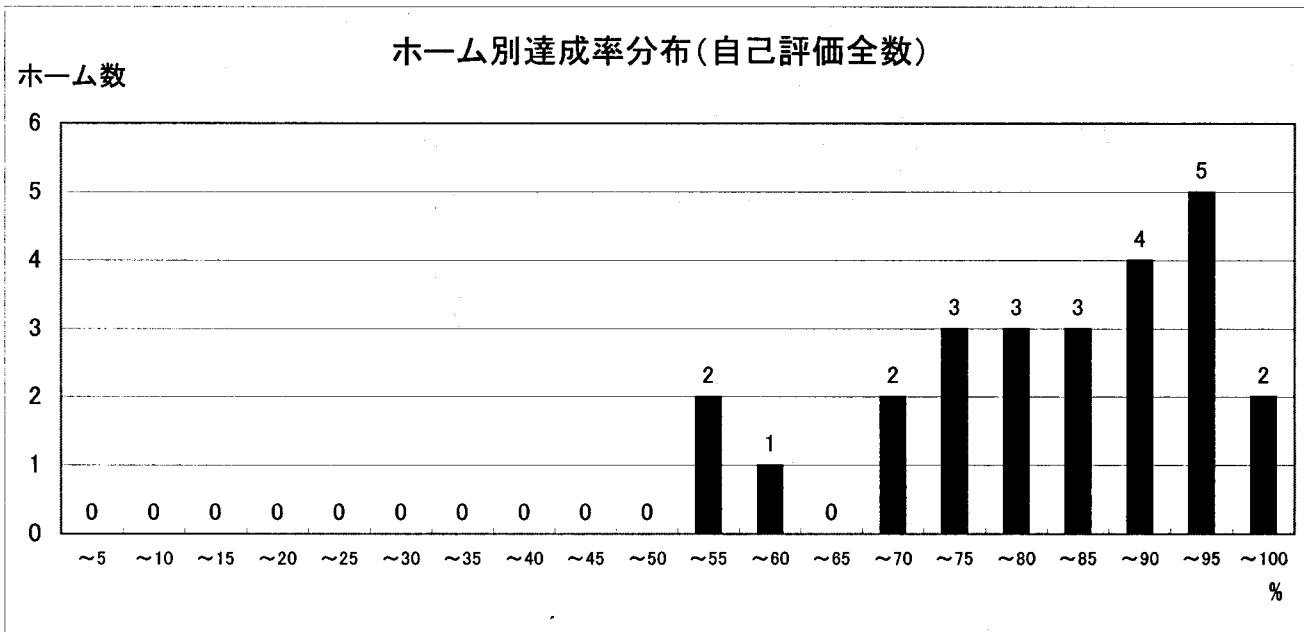
(N=36GH=57ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
49	状態にあわせた下着等の使い分け	100.0%	56	理美容院の利用支援	100.0%	42	医療関係者への相談	100.0%
52	入浴可否の見極め	100.0%	57	プライドを大切にした整容の支援	100.0%	46	トラブルへの対応	100.0%
55	個性を尊重したおしゃれの支援	100.0%	69	医療関係者への相談	100.0%	60	ホーム内の衛生管理	100.0%
56	理美容院の利用支援	100.0%	109	退居の支援	100.0%	63	調査等の訪問に対する対応	100.0%
57	プライドを大切にした整容の支援	100.0%	112	ホーム内の衛生管理	100.0%	11	音の大きさや光の強さに対する配慮	97.2%
68	医療関係者への相談	100.0%				12	換気・空調の配慮	97.2%
69	希望する医療機関での受診	100.0%				28	拘束のないケアの実践	97.2%
71	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関の確保	100.0%				35	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	97.2%
72	入院受入れ医療機関の確保	100.0%				38	プライドを大切にした整容の支援	97.2%
89	家族が通院介助を行った時の情報交換	100.0%				39	安眠の支援	97.2%
98	管理者による状況把握	100.0%				41	ホーム内の役割・楽しみごとの支援	97.2%
108	料金の内訳の明示と説明	100.0%				59	退居の支援	97.2%
109	退居の支援	100.0%						
112	ホーム内の衛生管理	100.0%						
113	ごみの処分	100.0%						
124	外泊時の家族との情報交換	100.0%						

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
5	運営理念の啓発	47.4%	5	運営理念の啓発	47.4%	68	市町村との関わり	33.3%
127	市町村との関わり	47.4%	127	市町村との関わり	47.4%	70	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	52.8%
129	地域との連携	49.1%	132	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	61.4%	2	運営理念の明示	55.6%
40	献立づくりや調理等への入居者の参画	50.9%	123	族への日常の様子に関する情報提供	64.9%	3	権利・義務の明示	55.6%
125	家族同士の交流促進	50.9%	22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	66.7%	4	運営理念の啓発	58.3%

【香川県】 (N=25GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	100.00%	50.75%	80.56%
自己評価共通	100.00%	46.48%	79.75%
外部評価	92.96%	63.38%	80.06%

【香川県】
上位5項目

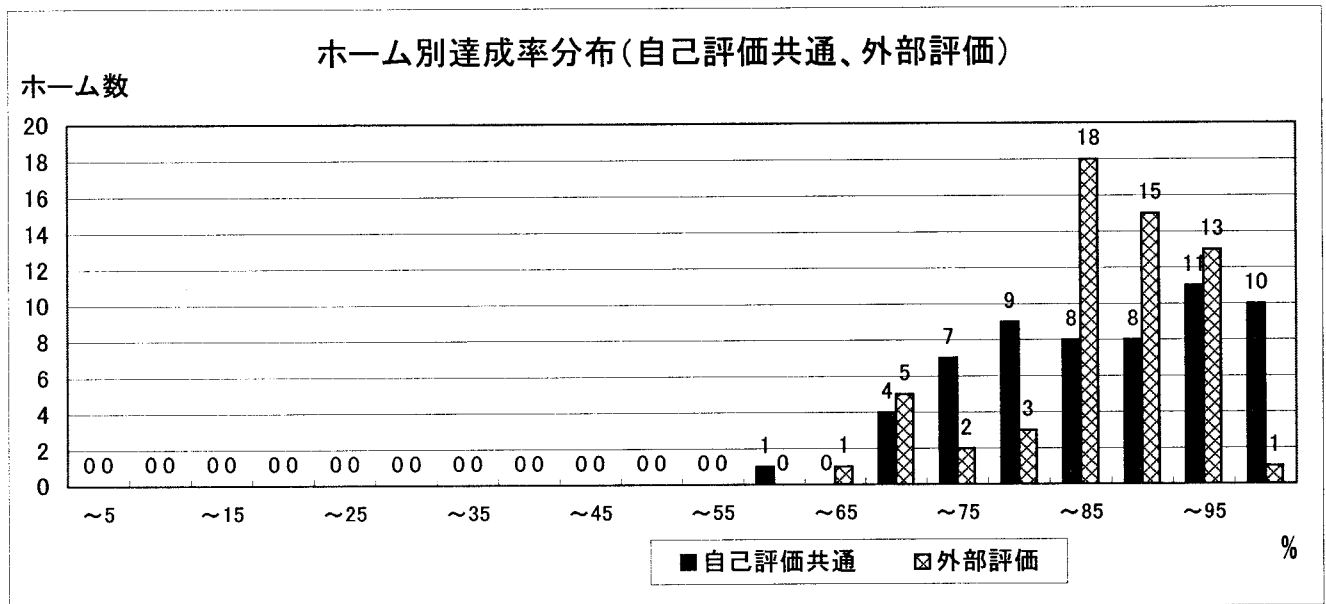
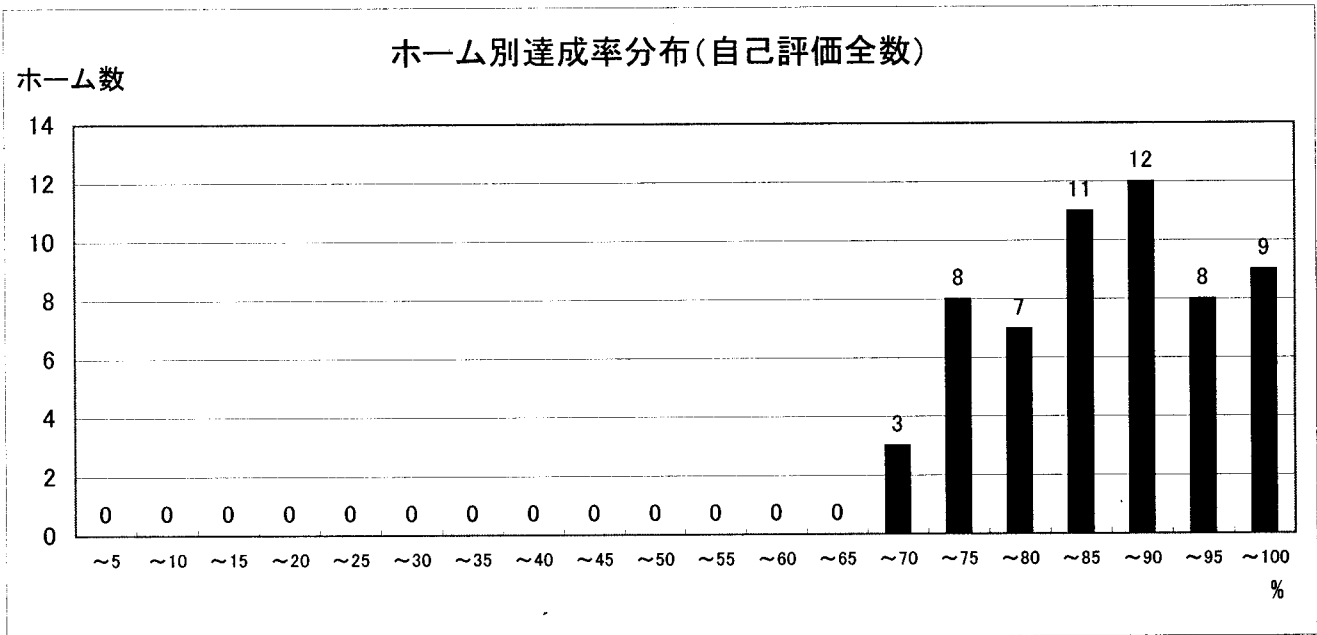
(N=25GH=37ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
15	換気・空調の配慮	100.0%	15	換気・空調の配慮	100.0%	22	入居者一人ひとりの尊重	100.0%
31	入居者一人ひとりとのコミュニケーション	100.0%	60	安眠の支援	100.0%	38	プライドを大切にした整容の支援	100.0%
49	状態にあわせた下着等の使い分け	100.0%	68	医療関係者への相談	100.0%	39	安眠の支援	100.0%
52	入浴可否の見極め	100.0%	118	調査等の訪問に対する対応	100.0%	42	医療関係者への相談	100.0%
54	入浴時の不安や羞恥心等への配慮	100.0%	37	拘束のないケアの実践	97.3%	46	トラブルへの対応	100.0%
60	安眠の支援	100.0%	47	食事を楽しむことのできる支援	97.3%	47	口腔内の清潔保持	100.0%
68	医療関係者への相談	100.0%	50	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	97.3%	52	家族の訪問支援	100.0%
69	希望する医療機関での受診	100.0%	78	トラブルへの対応	97.3%	63	調査等の訪問に対する対応	100.0%
72	入院受入れ医療機関の確保	100.0%				3	権利・義務の明示	96.0%
88	異変情報及び対応方法の家族との共有	100.0%				12	換気・空調の配慮	96.0%
108	料金の内訳の明示と説明	100.0%				23	職員の穏やかな態度	96.0%
111	手洗い、うがい	100.0%				28	拘束のないケアの実践	96.0%
118	調査等の訪問に対する対応	100.0%				34	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	96.0%
						35	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	96.0%
						43	早期退院に向けた医療機関との連携	96.0%
						45	身体機能の維持	96.0%
						48	服薬の支援	96.0%
						53	責任者の協働	96.0%
						60	ホーム内の衛生管理	96.0%
						65	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	96.0%

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	32.4%	127	市町村との関わり	32.4%	68	市町村との関わり	20.0%
5	運営理念の啓発	37.8%	5	運営理念の啓発	37.8%	4	運営理念の啓発	40.0%
129	地域との連携	43.2%	105	ストレスの解消策の実施	48.6%	49	緊急時の手当	44.0%
104	OJT（職場での働きながらの学習）の確保	45.9%	85	緊急時の手当	56.8%	29	鍵をかけない工夫	52.0%
134	人材育成への貢献	45.9%	130	地域の人達との交流の促進	56.8%	8	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり	56.0%
			133	ホーム機能の地域への還元	56.8%	36	入居者一人ひとりの希望にあわせた入浴支援	56.0%
						56	継続的な研修の受講	56.0%

【愛媛県】 (N=58GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	100.00%	65.67%	84.61%
自己評価共通	100.00%	59.15%	84.08%
外部評価	97.18%	63.38%	84.46%

【愛媛県】

上位5項目

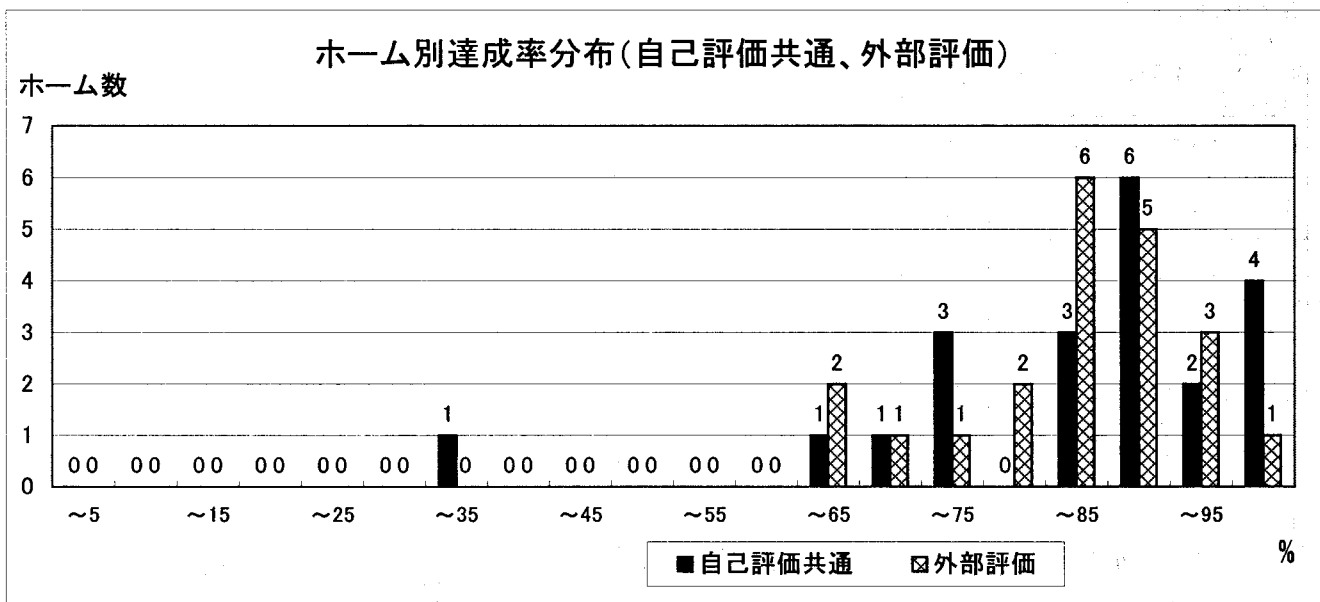
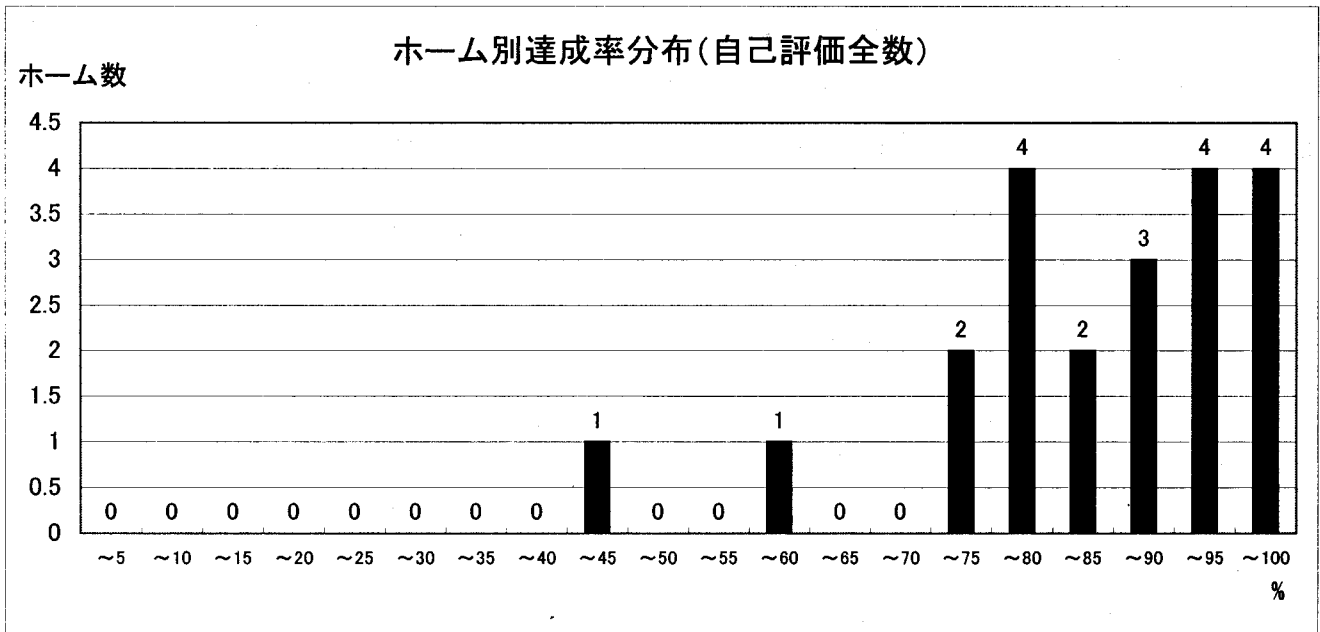
(N=58GH=103ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
16	五感への働きかけの工夫	100.0%	112	ホーム内の衛生管理	100.0%	38	プライドを大切にした整容の支援	100.0%
49	状態にあわせた下着等の使い分け	100.0%	4	権利・義務の明示	99.0%	42	医療関係者への相談	100.0%
112	ホーム内の衛生管理	100.0%	68	医療関係者への相談	99.0%	19	個別の記録	98.3%
113	ごみの処分	100.0%	109	退居の支援	99.0%	28	拘束のないケアの実践	98.3%
124	外泊時の家族との情報交換	100.0%	37	拘束のないケアの実践	98.1%	46	トラブルへの対応	98.3%
						52	家族の訪問支援	98.3%

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
5	運営理念の啓発	39.8%	5	運営理念の啓発	39.8%	4	運営理念の啓発	44.8%
22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	44.7%	22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	44.7%	68	市町村との関わり	44.8%
127	市町村との関わり	44.7%	127	市町村との関わり	44.7%	17	介護計画への入居者・家族の意見の反映	60.3%
129	地域との連携	44.7%	105	ストレスの解消策の実施	51.5%	49	緊急時の手当	62.1%
106	職員の休憩場所の確保	47.6%	85	緊急時の手当	53.4%	50	感染症対策	62.1%

【高知県】 (N=21GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	99.25%	42.54%	83.05%
自己評価共通	100.00%	32.39%	82.15%
外部評価	95.77%	63.38%	82.36%

【高知県】
上位5項目

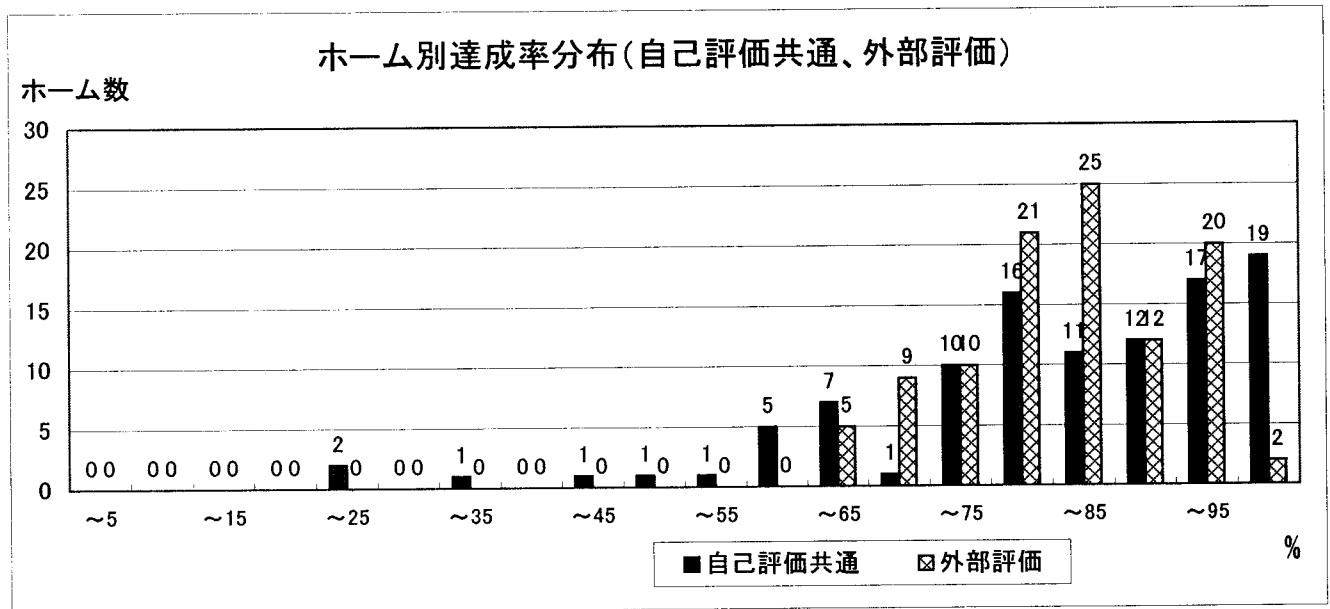
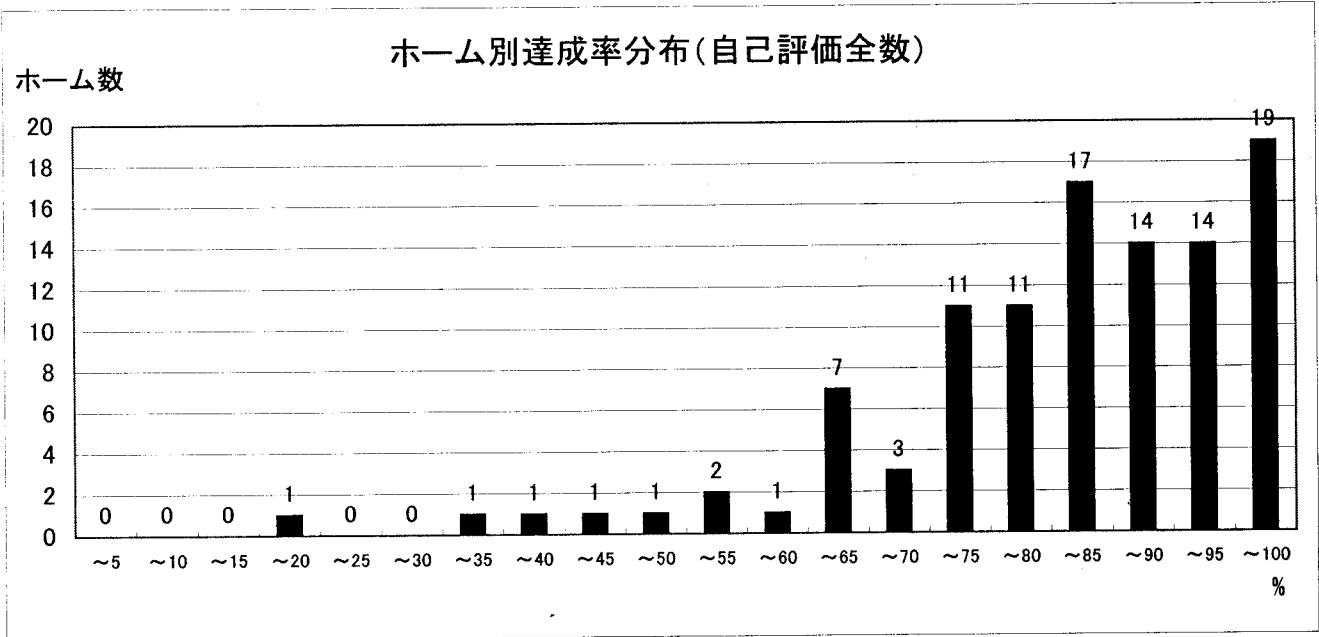
(N=21GH=28ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
4	権利・義務の明示	100.0%	4	権利・義務の明示	100.0%	13	時の見当識への配慮	100.0%
17	時の見当識への配慮	100.0%	17	時の見当識への配慮	100.0%	28	拘束のないケアの実践	100.0%
38	鍵をかけない工夫	100.0%	38	鍵をかけない工夫	100.0%	31	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	100.0%
49	状態にあわせた下着等の使い分け	100.0%	57	プライドを大切にした整容の支援	100.0%	34	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	100.0%
52	入浴可否の見極め	100.0%	68	医療関係者への相談	100.0%	35	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	100.0%
55	個性を尊重したおしゃれの支援	100.0%	109	退居の支援	100.0%	38	プライドを大切にした整容の支援	100.0%
57	プライドを大切にした整容の支援	100.0%	112	ホーム内の衛生管理	100.0%	39	安眠の支援	100.0%
61	休息の支援	100.0%	126	入居者の金銭管理	100.0%	42	医療関係者への相談	100.0%
68	医療関係者への相談	100.0%				43	早期退院に向けた医療機関との連携	100.0%
69	希望する医療機関での受診	100.0%				52	家族の訪問支援	100.0%
81	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	100.0%						
88	異変情報及び対応方法の家族との共有	100.0%						
89	家族が通院介助を行った時の情報交換	100.0%						
108	料金の内訳の明示と説明	100.0%						
109	退居の支援	100.0%						
112	ホーム内の衛生管理	100.0%						
113	ごみの処分	100.0%						
121	苦情への迅速な対応	100.0%						
126	入居者の金銭管理	100.0%						

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	35.7%	127	市町村との関わり	35.7%	68	市町村との関わり	14.3%
85	緊急時の手当	42.9%	85	緊急時の手当	42.9%	69	地域の人達との交流の促進	42.9%
131	生活の拡充を支える近隣住民等への働きかけ	46.4%	105	ストレスの解消策の実施	53.6%	49	緊急時の手当	47.6%
63	買い物の支援	50.0%	5	運営理念の啓発	57.1%	4	運営理念の啓発	52.4%
2	運営理念の実現	53.6%	103	継続的な研修の受講	57.1%	56	継続的な研修の受講	52.4%
104	OJT（職場での働きながらの学習）の確保	53.6%						
105	ストレスの解消策の実施	53.6%						
115	緊急時の対応の周知	53.6%						

【福岡県】 (N=104GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	100.00%	19.78%	81.12%
自己評価共通	100.00%	22.54%	80.47%
外部評価	97.18%	63.38%	81.13%

【福岡県】

上位5項目

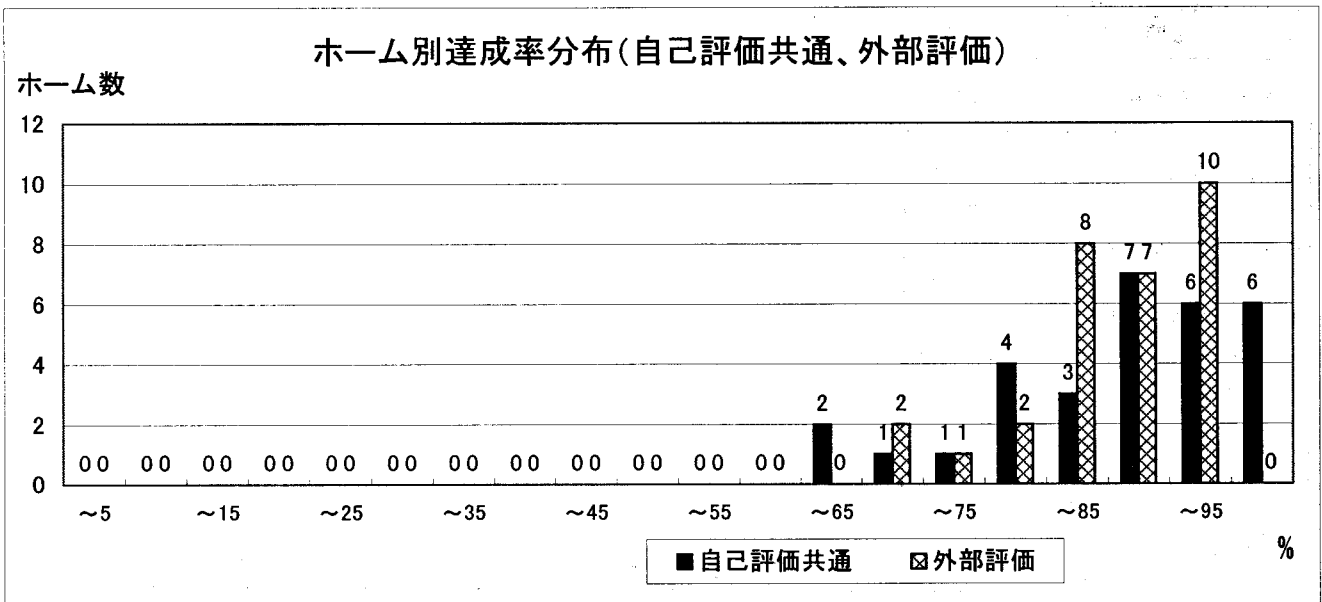
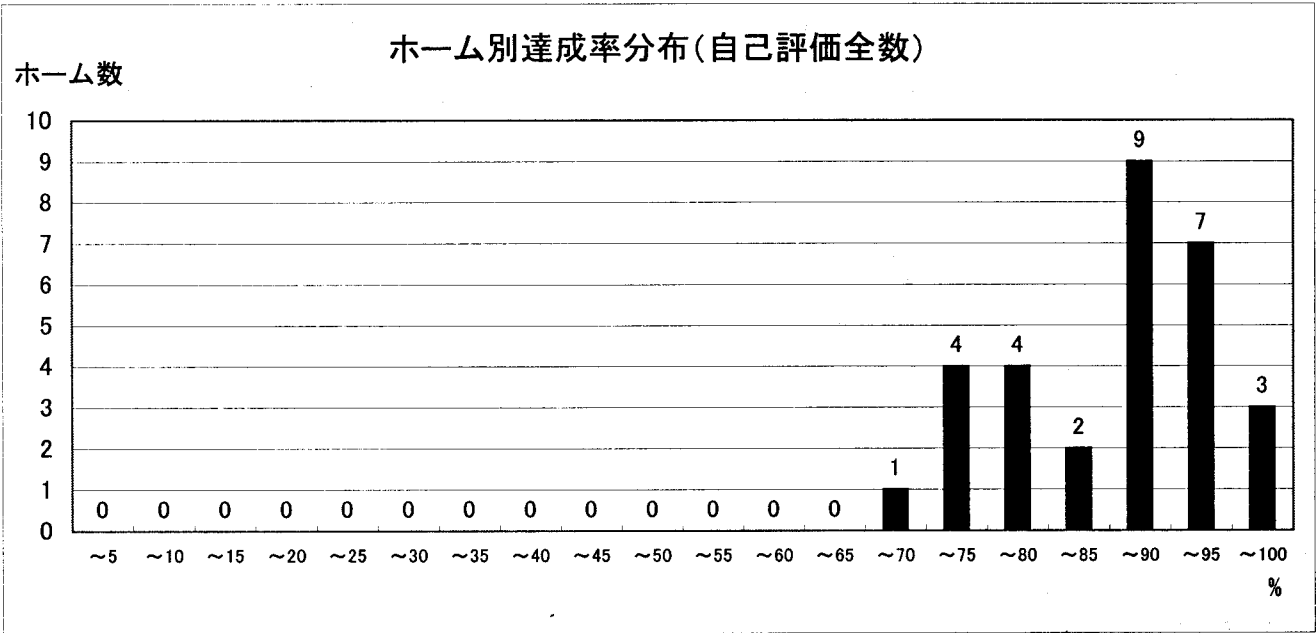
(N=104GH=150ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
69	希望する医療機関での受診	99.3%	15	換気・空調の配慮	98.0%	42	医療関係者への相談	99.0%
49	状態にあわせた下着等の使い分け	98.7%	68	医療関係者への相談	96.0%	46	トラブルへの対応	99.0%
52	入浴可否の見極め	98.7%	126	入居者の金銭管理	96.0%	28	拘束のないケアの実践	98.1%
15	換気・空調の配慮	98.0%	74	定期健康診断の支援	94.0%	43	早期退院に向けた医療機関との連携	97.1%
88	異変情報及び対応方法の家族との共有	96.7%	78	トラブルへの対応	93.3%	63	調査等の訪問に対する対応	97.1%
98	管理者による状況把握	96.7%	101	入居者の状態に応じた職員の確保	93.3%			
108	料金の内訳の明示と説明	96.7%						

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	32.0%	127	市町村との関わり	32.0%	68	市町村との関わり	29.8%
5	運営理念の啓発	40.0%	5	運営理念の啓発	40.0%	4	運営理念の啓発	45.2%
105	ストレスの解消策の実施	47.3%	105	ストレスの解消策の実施	47.3%	49	緊急時の手当	52.9%
125	家族同士の交流促進	48.0%	85	緊急時の手当	50.7%	69	地域の人達との交流の促進	53.8%
129	地域との連携	48.7%	130	地域の人達との交流の促進	51.3%	61	注意の必要な物品の保管・管理	54.8%

【佐賀県】 (N=30GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	98.51%	67.91%	85.56%
自己評価共通	100.00%	64.79%	85.68%
外部評価	94.37%	69.01%	85.40%

【佐賀県】

上位5項目

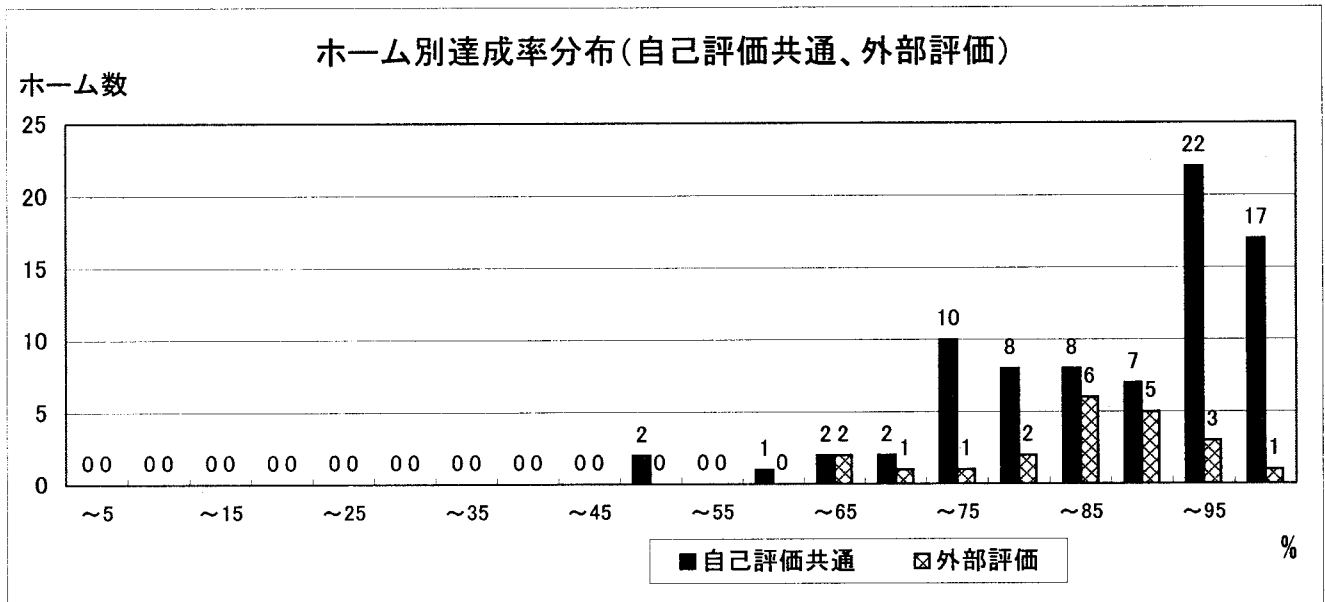
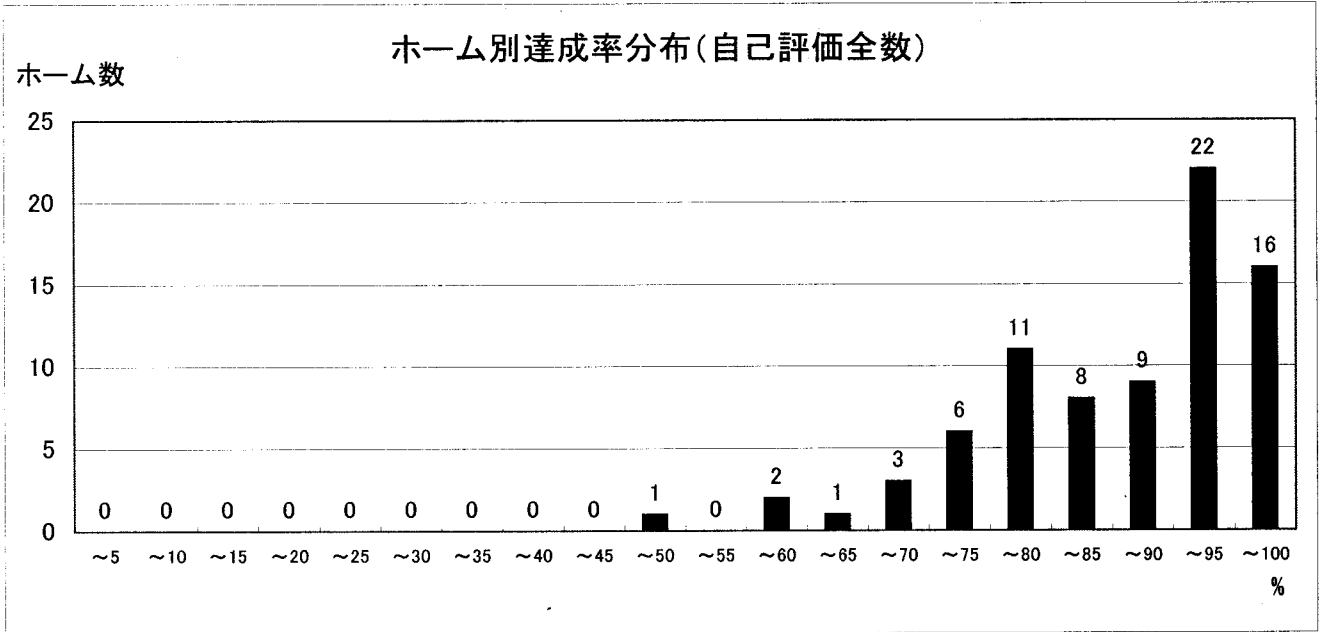
(N=30GH=41ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
12	混乱や失敗を招かない環境づくり	100.0%	17	時の見当識への配慮	100.0%	28	拘束のないケアの実践	100.0%
17	時の見当識への配慮	100.0%	44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	100.0%	38	プライドを大切にした整容の支援	100.0%
31	入居者一人ひとりとのコミュニケーション	100.0%	68	医療関係者への相談	100.0%	46	トラブルへの対応	100.0%
34	自信の回復	100.0%	96	責任者の協働	100.0%	58	入居者の決定のための検討	100.0%
36	共に支えあう場面づくり	100.0%	112	ホーム内の衛生管理	100.0%	60	ホーム内の衛生管理	100.0%
44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	100.0%	114	注意の必要な物品の保管・管理	100.0%	63	調査等の訪問に対する対応	100.0%
49	状態にあわせた下着等の使い分け	100.0%						
68	医療関係者への相談	100.0%						
69	希望する医療機関での受診	100.0%						
71	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関の確保	100.0%						
78	トラブルへの対応	100.0%						
96	責任者の協働	100.0%						
108	料金の内訳の明示と説明	100.0%						
112	ホーム内の衛生管理	100.0%						
113	ごみの処分	100.0%						
114	注意の必要な物品の保管・管理	100.0%						

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	43.9%	127	市町村との関わり	43.9%	4	運営理念の啓発	20.0%
130	地域の人達との交流の促進	43.9%	130	地域の人達との交流の促進	43.9%	68	市町村との関わり	36.7%
5	運営理念の啓発	48.8%	5	運営理念の啓発	48.8%	69	地域の人達との交流の促進	43.3%
120	第三者への相談機会の確保	48.8%	85	緊急時の手当	51.2%	49	緊急時の手当	56.7%
129	地域との連携	48.8%	64	金銭管理の支援	63.4%	70	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	66.7%

【長崎県】 (N=79GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	100.00%	48.51%	85.76%
自己評価共通	100.00%	45.07%	85.32%
外部評価	97.18%	59.15%	85.31%

【長崎県】

上位5項目

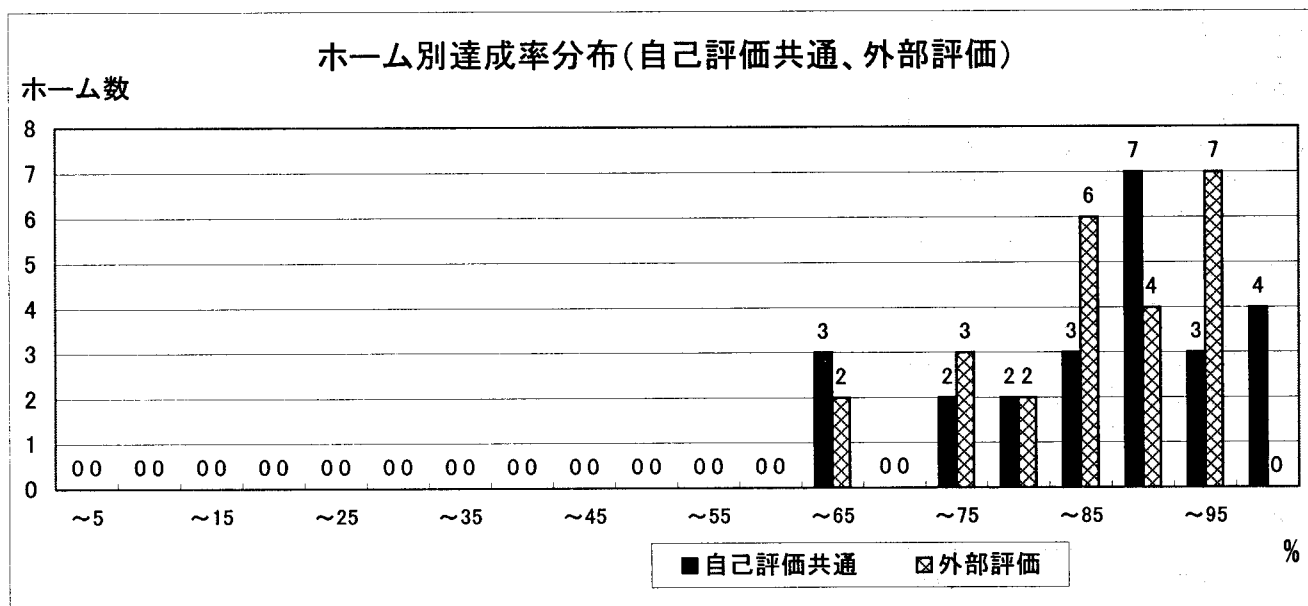
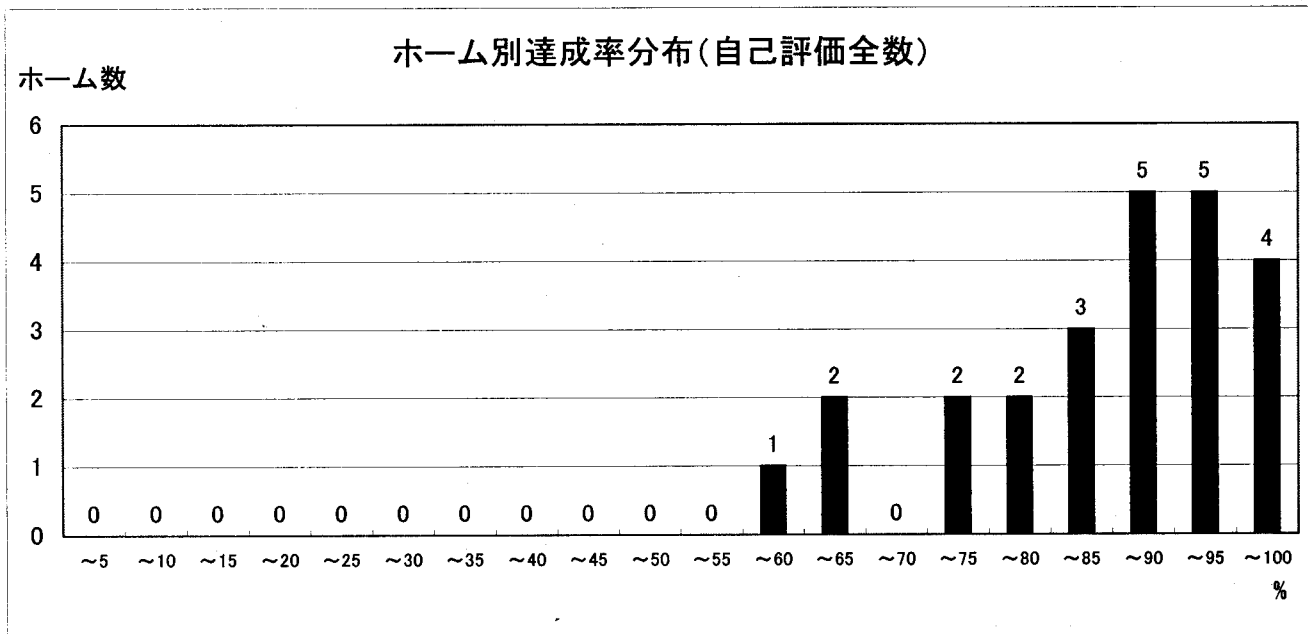
(N=79GH=93ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	100.0%	44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	100.0%	27	一人でできることへの配慮	98.7%
49	状態にあわせた下着等の使い分け	100.0%	57	プライドを大切にした整容の支援	97.8%	42	医療関係者への相談	98.7%
52	入浴可否の見極め	100.0%	68	医療関係者への相談	97.8%	46	トラブルへの対応	98.7%
69	希望する医療機関での受診	98.9%	80	口腔内の清潔保持	97.8%	28	拘束のないケアの実践	97.5%
88	異変情報及び対応方法の家族との共有	98.9%	126	入居者の金銭管理	97.8%	52	家族の訪問支援	97.5%
113	ごみの処分	98.9%				63	調査等の訪問に対する対応	97.5%

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
120	第三者への相談機会の確保	41.9%	127	市町村との関わり	43.0%	68	市町村との関わり	41.8%
127	市町村との関わり	43.0%	5	運営理念の啓発	46.2%	4	運営理念の啓発	51.9%
5	運営理念の啓発	46.2%	22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	58.1%	2	運営理念の明示	59.5%
131	生活の拡充を支える近隣住民等への働きかけ	47.3%	85	緊急時の手当	58.1%	49	緊急時の手当	59.5%
125	家族同士の交流促進	55.9%	132	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	60.2%	17	介護計画への入居者・家族の意見の反映	63.3%

【大分県】 (N=24GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	100.00%	59.70%	84.02%
自己評価共通	100.00%	60.56%	83.60%
外部評価	94.37%	63.38%	83.27%

【大分県】

上位5項目

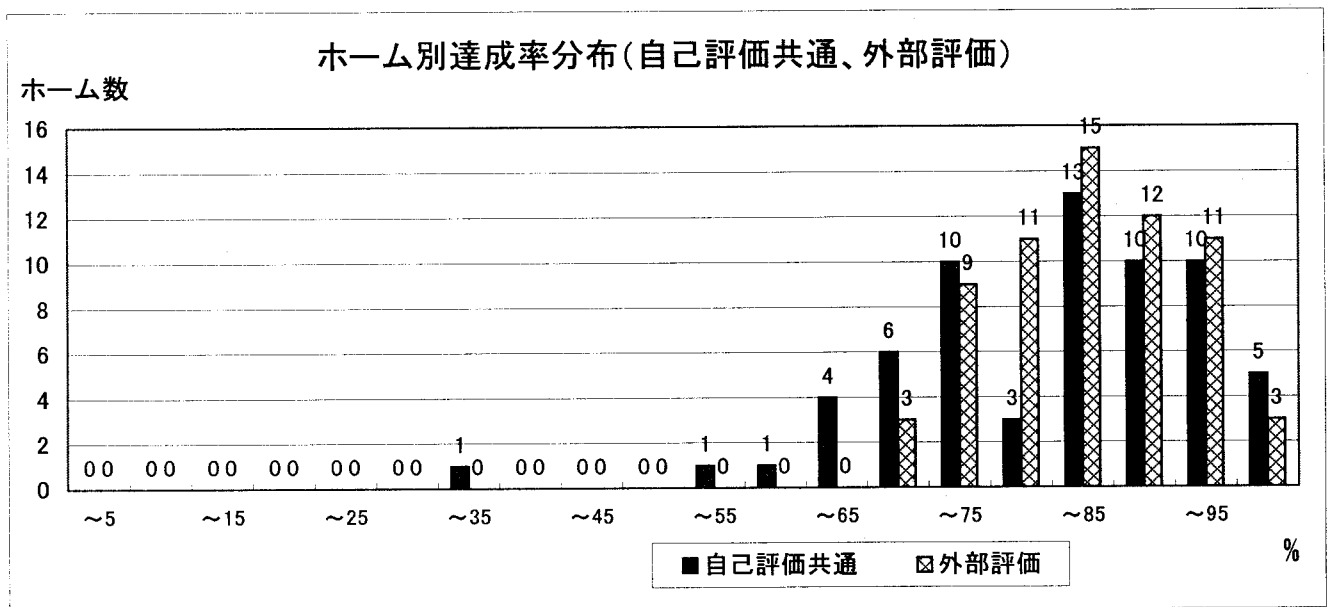
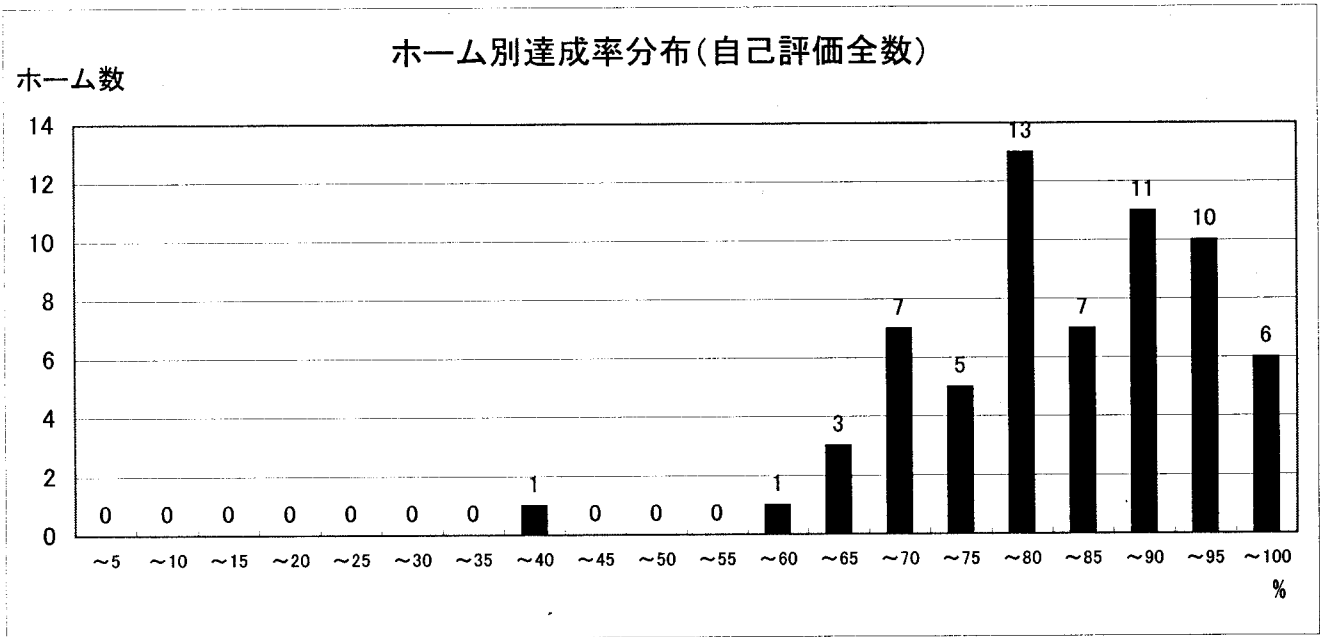
(N=24GH=33ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
17	時の見当識への配慮	100.0%	17	時の見当識への配慮	100.0%	6	家庭的な共用空間づくり	100.0%
25	確実な申し送り・情報伝達	100.0%	25	確実な申し送り・情報伝達	100.0%	20	確実な申し送り・情報伝達	100.0%
29	入居者が感情表現できるような働きかけ	100.0%	37	拘束のないケアの実践	100.0%	22	入居者一人ひとりの尊重	100.0%
31	入居者一人ひとりとのコミュニケーション	100.0%	44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	100.0%	23	職員の穏やかな態度	100.0%
37	拘束のないケアの実践	100.0%	50	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	100.0%	28	拘束のないケアの実践	100.0%
39	入居者の状況の把握	100.0%	57	プライドを大切にした整容の支援	100.0%	38	プライドを大切にした整容の支援	100.0%
44	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	100.0%	60	安眠の支援	100.0%	39	安眠の支援	100.0%
49	状態にあわせた下着等の使い分け	100.0%	78	トラブルへの対応	100.0%	42	医療関係者への相談	100.0%
50	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	100.0%	83	服薬の支援	100.0%	43	早期退院に向けた医療機関との連携	100.0%
52	入浴可否の見極め	100.0%	109	退居の支援	100.0%	46	トラブルへの対応	100.0%
57	プライドを大切にした整容の支援	100.0%						
60	安眠の支援	100.0%						
61	休息の支援	100.0%						
69	希望する医療機関での受診	100.0%						
79	身体の清潔保持	100.0%						
83	服薬の支援	100.0%						
89	家族が通院介助を行った時の情報交換	100.0%						
108	料金の内訳の明示と説明	100.0%						
109	退居の支援	100.0%						
113	ごみの処分	100.0%						
124	外泊時の家族との情報交換	100.0%						

下位10項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	27.3%	127	市町村との関わり	27.3%	68	市町村との関わり	29.2%
91	地域に出やすい周辺環境の整備	36.4%	130	地域の人達との交流の促進	45.5%	4	運営理念の啓発	37.5%
120	第三者への相談機会の確保	39.4%	5	運営理念の啓発	48.5%	17	介護計画への入居者・家族の意見の反映	54.2%
130	地域の人達との交流の促進	45.5%	132	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	51.5%	33	食事を楽しむことのできる支援	58.3%
5	運営理念の啓発	48.5%	22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	60.6%	69	地域の人達との交流の促進	58.3%
			53	入居者一人ひとりの希望にあわせた入浴支援	60.6%			

【宮崎県】 (N=64GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	99.25%	35.07%	80.67%
自己評価共通	98.59%	30.99%	79.80%
外部評価	95.77%	69.01%	82.90%

【宮崎県】

上位5項目

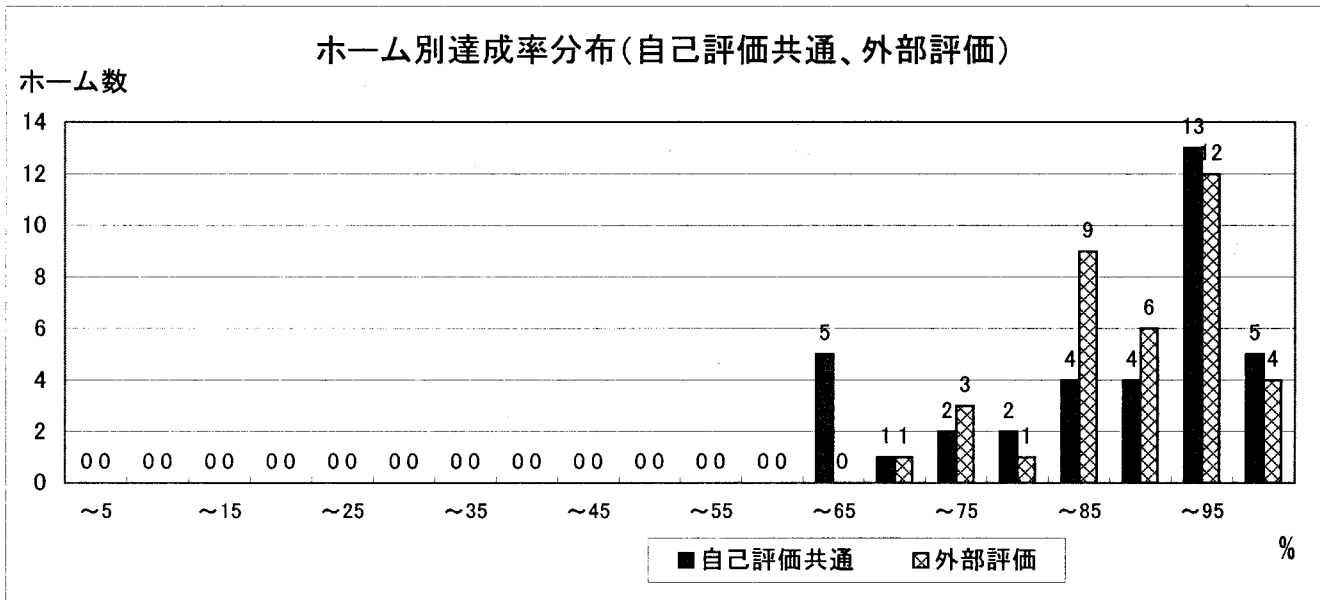
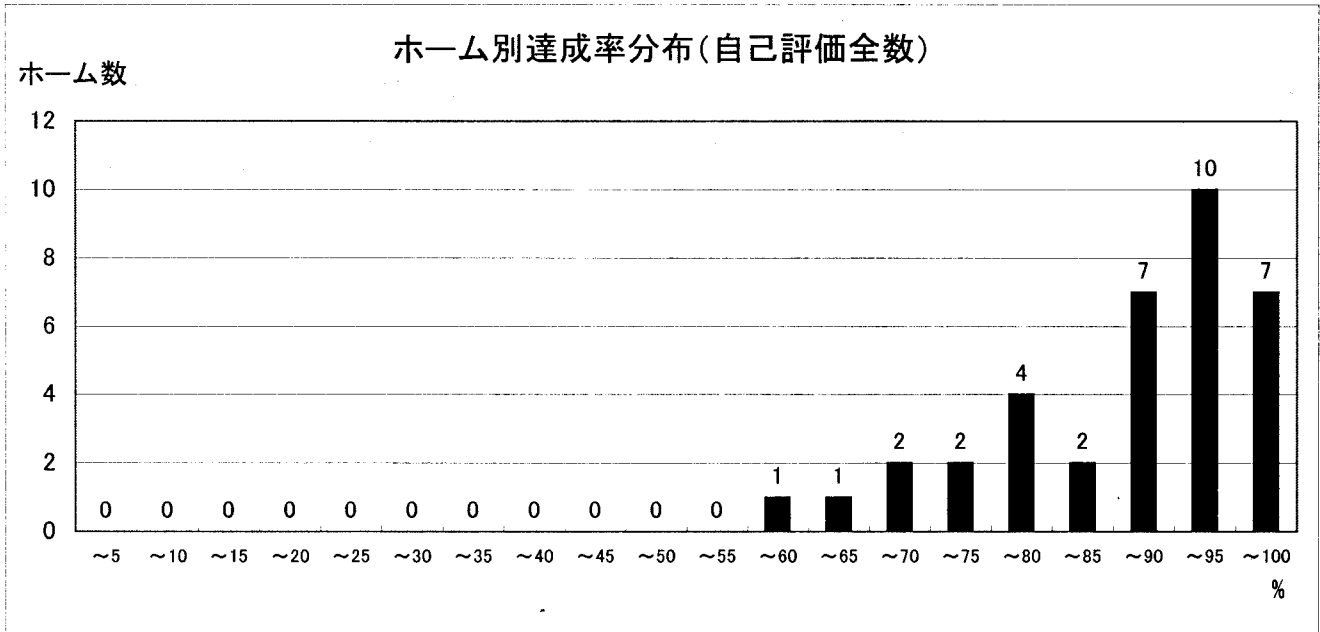
(N=64GH=95ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
52	入浴可否の見極め	100.0%	57	プライドを大切にした整容の支援	98.9%	34	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	100.0%
49	状態にあわせた下着等の使い分け	98.9%	68	医療関係者への相談	97.9%	38	プライドを大切にした整容の支援	100.0%
57	プライドを大切にした整容の支援	98.9%	109	退居の支援	97.9%	58	入居者の決定のための検討	98.4%
124	外泊時の家族との情報交換	98.9%	112	ホーム内の衛生管理	97.9%	60	ホーム内の衛生管理	98.4%
42	食べる意欲を引き出す働きかけ	97.9%	4	権利・義務の明示	95.8%	63	調査等の訪問に対する対応	98.4%
68	医療関係者への相談	97.9%						
108	料金の内訳の明示と説明	97.9%						
109	退居の支援	97.9%						
112	ホーム内の衛生管理	97.9%						

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	34.7%	127	市町村との関わり	34.7%	68	市町村との関わり	39.1%
120	第三者への相談機会の確保	36.8%	5	運営理念の啓発	48.4%	4	運営理念の啓発	45.3%
134	人材育成への貢献	47.4%	85	緊急時の手当	48.4%	49	緊急時の手当	45.3%
5	運営理念の啓発	48.4%	105	ストレスの解消策の実施	48.4%	17	介護計画への入居者・家族の意見の反映	54.7%
85	緊急時の手当	48.4%	22	介護計画への入居者・家族の意見の反映	53.7%	70	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	60.9%
91	地域に出やすい周辺環境の整備	48.4%						
105	ストレスの解消策の実施	48.4%						
125	家族同士の交流促進	48.4%						
129	地域との連携	48.4%						

【鹿児島県】 (N=36GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	100.00%	57.84%	86.02%
自己評価共通	100.00%	61.97%	84.90%
外部評価	97.18%	67.61%	86.54%

【鹿児島県】

上位5項目

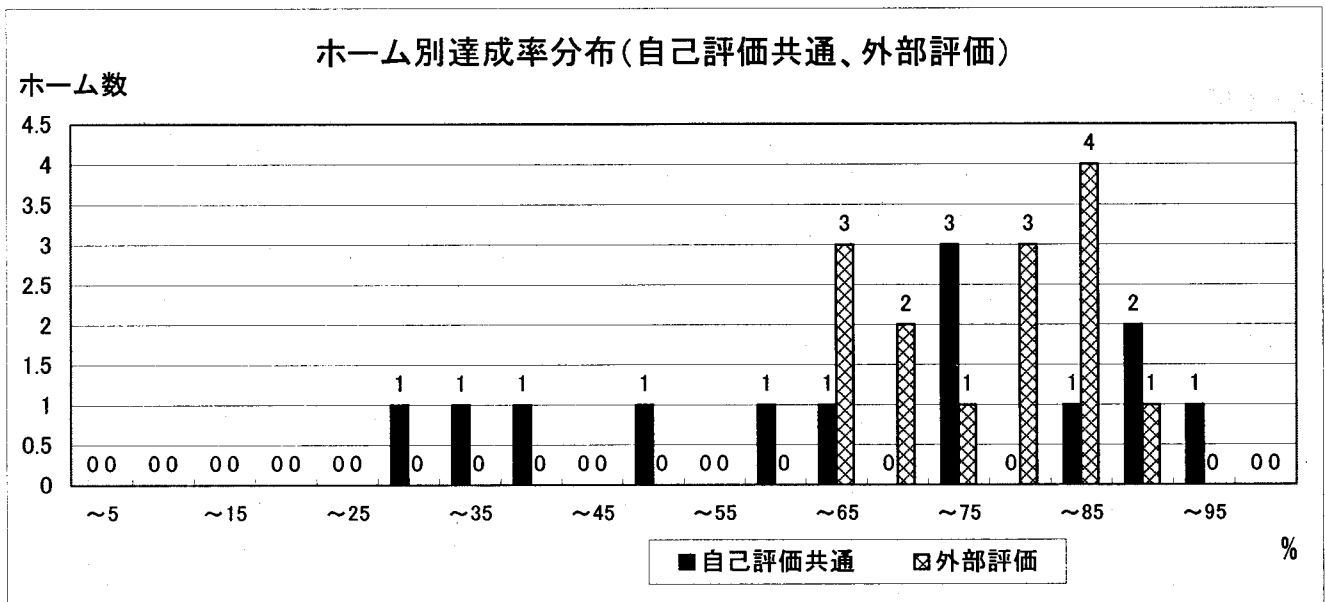
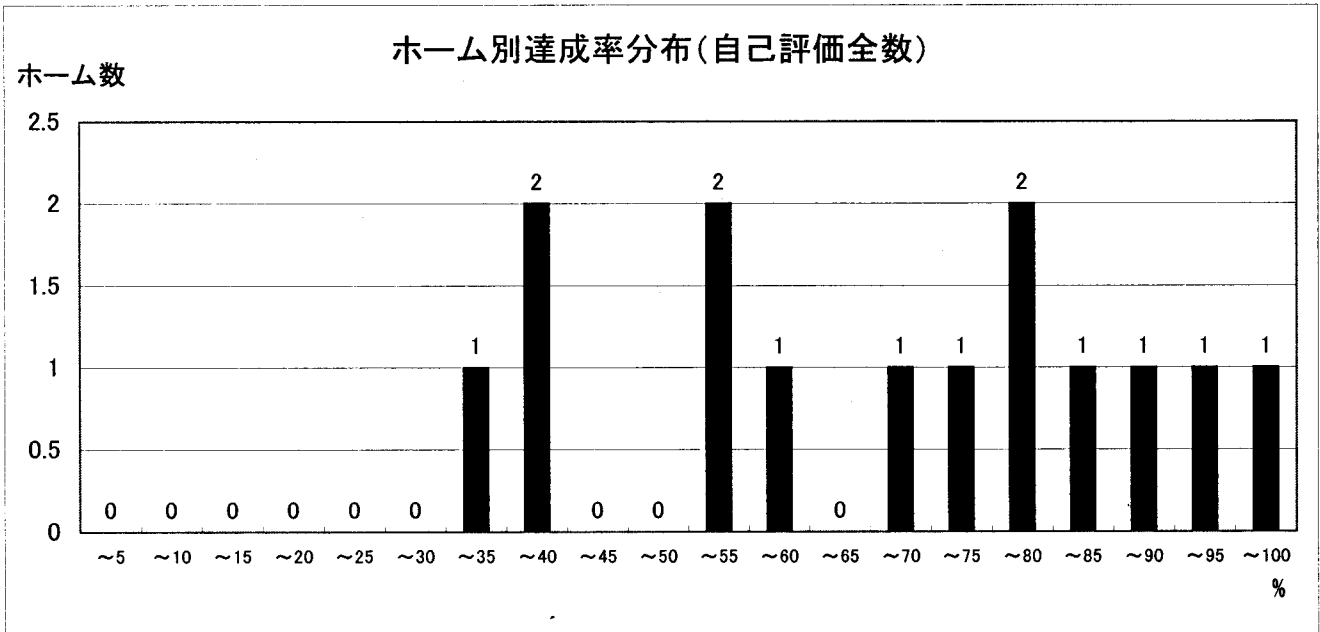
(N=36GH=45ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
37	拘束のないケアの実践	100.0%	37	拘束のないケアの実践	100.0%	28	拘束のないケアの実践	100.0%
49	状態にあわせた下着等の使い分け	100.0%	68	医療関係者への相談	100.0%	38	プライドを大切にした整容の支援	100.0%
52	入浴可否の見極め	100.0%	78	トラブルへの対応	100.0%	11	音の大きさや光の強さに対する配慮	97.2%
58	衣類の調節の支援	100.0%	13	場所間違い等の防止策	97.8%	16	介護計画の職員間での共有	97.2%
68	医療関係者への相談	100.0%	15	換気・空調の配慮	97.8%	19	個別の記録	97.2%
69	希望する医療機関での受診	100.0%	48	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	97.8%	34	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	97.2%
70	痴呆に知見の深い医師の確保	100.0%	56	理美容院の利用支援	97.8%	37	理美容院の利用支援	97.2%
72	入院受入れ医療機関の確保	100.0%	57	プライドを大切にした整容の支援	97.8%	42	医療関係者への相談	97.2%
79	身体の清潔保持	100.0%	107	入居者の決定のための検討	97.8%	46	トラブルへの対応	97.2%
81	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	100.0%	112	ホーム内の衛生管理	97.8%	63	調査等の訪問に対する対応	97.2%
88	異変情報及び対応方法の家族との共有	100.0%	61	注意の必要な物品の保管・管理	97.8%			
113	ごみの処分	100.0%						

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
127	市町村との関わり	24.4%	127	市町村との関わり	24.4%	68	市町村との関わり	41.7%
5	運営理念の啓発	44.4%	5	運営理念の啓発	44.4%	49	緊急時の手当	50.0%
129	地域との連携	46.7%	132	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	57.8%	4	運営理念の啓発	63.9%
125	家族同士の交流促進	48.9%	9	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり	62.2%	36	入居者一人ひとりの希望にあわせた入浴支援	63.9%
106	職員の休憩場所の確保	55.6%	85	緊急時の手当	62.2%	69	地域の人達との交流の促進	63.9%

【沖縄県】 (N=14GH)



	最大値	最小値	平均値
自己評価	97.01%	31.34%	66.18%
自己評価共通	94.37%	28.17%	64.41%
外部評価	87.32%	60.56%	74.85%

【沖縄県】

上位5項目

(N=14GH=14ユニット)

自己評価全数項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
49	状態にあわせた下着等の使い分け	100.0%	107	入居者の決定のための検討	100.0%	3	権利・義務の明示	100.0%
52	入浴可否の見極め	100.0%	118	調査等の訪問に対する対応	100.0%	13	時の見当識への配慮	100.0%
88	異変情報及び対応方法の家族との共有	100.0%	4	権利・義務の明示	92.9%	34	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	100.0%
107	入居者の決定のための検討	100.0%	17	時の見当識への配慮	92.9%	38	プライドを大切にした整容の支援	100.0%
108	料金の内訳の明示と説明	100.0%	68	医療関係者への相談	92.9%	46	トラブルへの対応	100.0%
118	調査等の訪問に対する対応	100.0%	101	入居者の状態に応じた職員の確保	92.9%	52	家族の訪問支援	100.0%
			114	注意の必要な物品の保管・管理	92.9%	60	ホーム内の衛生管理	100.0%
						63	調査等の訪問に対する対応	100.0%

下位5項目

自己評価項目			自己評価共通項目			外部評価項目		
自己項目No.	項目見出し	達成率	自己項目No.	項目見出し	達成率	外部項目No.	項目見出し	達成率
5	運営理念の啓発	21.4%	5	運営理念の啓発	21.4%	68	市町村との関わり	7.1%
63	買い物の支援	21.4%	85	緊急時の手当	21.4%	49	緊急時の手当	28.6%
85	緊急時の手当	21.4%	105	ストレスの解消策の実施	21.4%	70	周辺施設等の理解・協力への働きかけ	28.6%
105	ストレスの解消策の実施	21.4%	27	入居者一人ひとりの尊重	28.6%	17	介護計画への入居者・家族の意見の反映	35.7%
120	第三者への相談機会の確保	21.4%	43	馴染みの食器の使用	28.6%	24	入居者一人ひとりの過去の経験を活かしたケア	35.7%
			127	市町村との関わり	28.6%	50	感染症対策	35.7%